福山市上下水道局

２０２６年度

一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事

実 施 設 計 書

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

工事概要	放流ゲート築造工　　一式

特　記　仕　様　書

第１章 総則

第１節 適用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局施設部施設整備課の発注する工事に適用する。

第２節 留意事項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「福山市下水道構造標準図」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-〔(公社)日本下水道協会〕」、「広島県土木工事共通仕様書（令和8年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第３条に基づき、契約締結後１４日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降４０日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第３節 事業損失防止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意をはらい施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

第４節 主任（監理）技術者の配置等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等

   専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

   ①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）
   ②工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
   ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

   なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理)技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理)技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

   ④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間
2. 主任（監理）技術者の変更の特例

   次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

   ①技術者の死亡、傷病、出産、育児、介護による就業不能、または退職等の真にやむを得ない理由により交代が必要と認められるとき
   ②受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき
   ③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

   なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

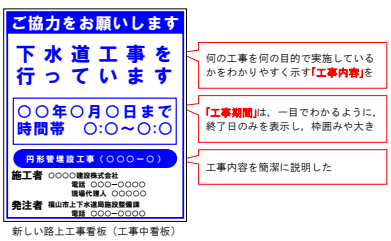
第２章 施工

第１節 安全対策

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

第２節 現道工事における保安施設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設配置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとすること。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



新しい路上工事看板（工事中看板）

（工事情報看板）

（工事説明看板）

第３節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行なうこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休息時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当り標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積み上げ人数の増員に対する変更は行なわない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Ａとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Ｂとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員Ａ以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Ａを誘導日あたり１名以上配置すること。

第４節 管路及びマンホール

1. 下水道用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－１〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料3〕「硬質塩化ビニル管の施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
2. 下水道用鉄筋コンクリート製円形マンホールは、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）規格製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔A－11〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「設計及び施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
3. 下水道用鋳鉄製マンホールふたは、「福山市型鋳鉄製マンホールふた（標準）仕様書」、「福山市型鋳鉄製マンホールふた（高機能）仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－4〕（日本下水道協会）による〔参考資料2〕「鋳鉄製マンホールふたの施工上の留意事項」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
4. 下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホールは、JSWAS〔K－9〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料2〕「硬質塩化ビニル製小型マンホールの施工標準」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
5. 下水道用鋳鉄製防護ふたは、「福山市型鋳鉄製防護ふた仕様書」に基づき製作され、本局が承認した製品とする。また、その取扱い及び施工は、JSWAS〔G－3〕（日本下水道協会）による〔参考資料1〕「鋳鉄製防護ふた施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
6. 下水道推進工法用硬質塩化ビニル管は、JSWAS〔K－６〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料４〕「施工上の留意点」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。
7. 下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管は、JSWAS〔A－６〕（日本下水道協会）の規格によるものとする。また、その取扱い及び施工は、同規格書の〔参考資料４〕「管の取り扱い及び管路の構成」及び「下水道土木工事共通仕様書（案）」に基づき適切に実施すること。

第５節 現場管理

1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予見されるときは、速やかに監督員に協議すること。
5. 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員へ提出すること。

第６節 地下埋設物

1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。
2. 必要に応じて試掘を実施し、その位置を確認すること。また、当該管理者との協議及び試掘の結果を発注者へ提出すること。

第７節 環境対策

1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後３年間保存すること。
3. 資機材等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。
5. 広島県土木工事共通仕様書（令和7年8月）『1-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第3次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第８節 工事用地

1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

第９節 情報共有システムの利用

1. 情報共有システムとは、業務の効率化を図り、受発注者間の情報を電子的に交換・共有するものであり、本工事が対象であるかは施工条件表を参照すること。
2. 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
   広島県工事中情報共有システム　http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html
3. 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
4. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、(一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
5. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引(土木工事)」に基づき運用すること。

第３章 材料

第１節 埋戻材（処理土）

1. 本工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。以下同じ。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
2. １により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について協議すること。
3. 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。
4. 工事完了時には、計量伝票等及び試験結果等を提出すること。
5. 処理土は、次の要求品質を満足したものを監督員の確認を得て使用すること。

判定指標	基準値
最大粒径	50mm以下
コーン指数	800KN/㎡以上

第４章 建設副産物

第１節 建設発生土

1. 本工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)のいずれかに搬出するものとする。
   また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
   なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地(一時たい積を含む。)への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

第２節 建設汚泥

1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第３節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

第４節　「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出
   建設発生土について、500m3以上（一時たい積場については500m3/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第8条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時たい積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）
   建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2，000m2以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

第５節　産業廃棄物の場外保管

1. 本工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m2以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
   ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第６節　再生資源利用計画

1. 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第５章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
   なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
   （１）補正方法
   ア　受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
   イ　真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
   ウ　補正値（%）＝真夏日率×1.2
   （２）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第６章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行なうこと。

施　工　条　件　表

対象工事名　　：　　一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事

項目	事　　項	該　当		内　　容
①　計画準備関係	施工計画書等の提出	◉ あ り	○ な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。
		◉ あ り	○ な し	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。
	変更図面の作成	◉ あ り	○ な し	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。
	取付ますの設置	○ あ り	◉ な し	取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。
	誓約書の提出	○ あ り	◉ な し	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。
	協議	◉ あ り	○ な し	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。

関係機関	事項	協議の内容	備考
関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など	
沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態	
その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明	

	段階確認	◉ あ り	○ な し	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。
	情報共有システム	◉ あ り	○ な し	設計金額３，５００万円以上の工事は、原則として情報共有システムを利用する。

項目	事　　項	該　当		内　　容
② 工程関係	工事期間	◉ あ り	○ な し	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし４０日間を、検査期間は１４日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。 ☑ 準備期間　☑ 本工事施工期間　☐ ~~建物等調査期間~~　☑ 変更協議期間　☐ ☑ 後片付け期間　☑ 検査期間　☐ ~~水道管移設期間~~　☐ ~~ガス管移設期間~~　☐
	関連する別途工事	◉ あ り	○ な し	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。 関連工事の名称 / 発注者名 / 予定期間 / 備考 一ツ樋ポンプ場ポンプ設備取替工事 / 福山市上下水道局 / 2025年10月29日～2027年12月24日まで / 一ツ樋ポンプ場除塵設備取替工事 / 福山市上下水道局 / 2025年10月28日～2027年12月24日まで / 一ツ樋ポンプ場電気設備取替工事 / 福山市上下水道局 / 2025年10月28日～2027年12月24日まで /
	制約条件	◉ あ り	○ な し	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。 場所 / 制約の要因 / 制約の内容 / 備考 全体 / 円滑な交通の確保 / 施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。 /
		○ あ り	◉ な し	
③ 用地関係	借地	○ あ り	◉ な し	次のとおり、借地を見込んでいる。 場所 / 目的 / 面積 / 使用後の処置 / 備考
	工事用地	○ あ り	◉ な し	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。 場所 / 面積 / 協議内容 / 完了見込時期 / 備考
		○ あ り	◉ な し	

<table>
<tr><th>項目</th><th>事　　項</th><th colspan="2">該　当</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">④
周辺環境保全関係</td><td>建設公害の処置</td><td>◉ あ り</td><td>○ な し</td><td>騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。
<table><tr><th>項目</th><th>処理方法</th><th>備考</th></tr><tr><td>建設機械（全般）</td><td>排ガス対策型の使用</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>建物等の調査</td><td>○ あ り</td><td>◉ な し</td><td>一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。
なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
<table><tr><th>調査内容</th><th>調査項目</th><th>数量</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>井戸の調査及び
その他の調査等</td><td>○ あ り</td><td>◉ な し</td><td>一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。
なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。
<table><tr><th>調査内容</th><th>調査項目</th><th>数量</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>六価クロム溶出試験
の実施</td><td>◉ あ り</td><td>○ な し</td><td>次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。
試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。
なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
<table><tr><th>場所</th><th>工種</th><th>配合設計段階検体数</th><th>施工後段階検体数</th><th>工法</th><th>備考</th></tr><tr><td>開削部</td><td>地盤改良工</td><td>6　検体</td><td>検体</td><td>薬液注入工</td><td>試験方法5</td></tr><tr><td>基礎部</td><td>地盤改良工</td><td>3　検体</td><td>検体</td><td>高圧噴射攪拌工</td><td>試験方法5</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td colspan="2">9　検体</td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>濁水・湧水の処理</td><td>◉ あ り</td><td>○ な し</td><td>施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。</td></tr>
<tr><td>雨水の処理</td><td>◉ あ り</td><td>○ な し</td><td>既設放流渠掘削部に溜まった雨水は、既設ポンプのリース契約を引き継ぎ、運転管理すること。
運転管理に伴う費用は見込んでいる。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>事　　項</th><th colspan="2">該　当</th><th colspan="6">内　　容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">⑤
安全対策関係</td><td>近接施工</td><td>○ あ り</td><td>◉ な し</td><td colspan="6">重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。また、そのチェックリストを提出すること。
場所 ／ 近接する施設 ／ 条件 ／ 備考</td></tr>
<tr><td>作業時間内の埋戻復旧</td><td>○ あ り</td><td>◉ な し</td><td colspan="6">作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日に実施すること。
また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。
なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。
掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">⑥
埋戻関係</td><td>処理土</td><td>○ あ り</td><td>◉ な し</td><td colspan="6">処理土の購入先は、建設発生土ﾘｻｲｸﾙﾌﾟﾗﾝﾄを見込んでいる。</td></tr>
<tr><td>流用土（現場内流用）</td><td>○ あ り</td><td>◉ な し</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>流用土（他工事流用）</td><td>○ あ り</td><td>◉ な し</td><td colspan="6">埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。
なお、止むを得ない事情により、これにより難い場合は、別途、協議すること。
他工事名 ／ 搬入場所 ／ 搬入時期 ／ 備考</td></tr>
<tr><td>真砂土・切込砕石</td><td>◉ あ り</td><td>○ な し</td><td colspan="6">埋戻土は、設計書のとおり、真砂土（購入）、切込砕石（RC-40）（購入）を使用すること。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">品質管理</td><td rowspan="3">◉ あ り</td><td rowspan="3">○ な し</td><td rowspan="3">品質管理頻度</td><td>埋戻土量・試験回数</td><td rowspan="3">試験方法</td><td>（次のいずれか）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">埋戻土量500m3につき1回
ただし、50m3未満の場合は
省略できる。</td><td>簡易貫入試験
（土研式円すい貫入試験）</td><td>市道　14回以上/10cm
県道　17回以上/10cm</td></tr>
<tr><td>現場密度試験</td><td>95%以上　（複数回の場合異なる層、位置で実施）</td></tr>
</table>

項目	事　　項	該　当		内　容
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	◉ あ り	○ な し	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。
	建設汚泥（泥土）	○ あ り	◉ な し	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。 種別 / 搬出場所 / 運搬距離 / 備考
	建設汚泥（泥水）	◉ あ り	○ な し	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。 種別 / 搬出場所 / 運搬距離 / 備考 福山市瀬戸町地頭分字虎537-2 / 仕様書のとおり
	特定建設資材の廃棄物	◉ あ り	○ な し	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。 種別 / 搬出場所 / 運搬距離 / 備考 アスファルト殻 / 福山市箕島町字長浜6184-1 / 仕様書のとおり コンクリート殻 / 福山市箕島町字長浜6184-1 / 仕様書のとおり
	建設副産物情報交換システム	◉ あ り	○ な し	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。
	広島県土砂の適正処理に関する条例	○ あ り	◉ な し	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑧ 仮設関係	土留	◉ あり	○ なし	次のとおり、土留を見込んでいる。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。 場所 / 工法 / 土留種別 / 備考 開削工 / 鋼矢板圧入工 / 鋼矢板Ⅳ型 / 二重締切 / 鋼矢板圧入工 / ハット型鋼矢板50H /
	仮設(土留)材料の残置	○ あり	◉ なし	次のとおり、工事終了後も仮設（土留）材料を残置すること。 場所 / 仮設材料名 / 残置の形態 / 数量 / 備考
	路面覆工	○ あり	◉ なし	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいる。 場所 / 覆工幅 / 覆工延長 / 仕様 / 備考
	覆工材料の残置	○ あり	◉ なし	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。 場所 / 仕様 / 数量 / 付属部材 / 備考
	水替	◉ あり	○ なし	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいる。
	仮設電力設備	◉ あり	○ なし	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいる。 場所 / 設備の種類 / 備考 開削水替工 / ☑ 発動発電機 ☐ ~~低圧受電~~ ☐ ~~高圧受電~~ / ☐ ~~発動発電機~~ ☐ ~~低圧受電~~ ☐ ~~高圧受電~~ / ☐ ~~発動発電機~~ ☐ ~~低圧受電~~ ☐ ~~高圧受電~~ /
	一般搬入道路	◉ あり	○ なし	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。 搬入道路 / 期間 / 時間 / 工事中・後の処置 / 備考 全ての道路 / 工事期間 / 8時 ～ 17時 / 随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修 / 処置は使用に伴い影響があった場合
	仮設道路	○ あり	◉ なし	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。 期間 / 安全施設 / 使用中の処置 / 使用後の処置 / 備考

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	◉ あ り	○ な し	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり、試験掘りを行うこと。 場所 / 確認物件 / 方法 / 備考 開削部 / 下水道 / 掘削確認（管理者の立会） /
	本工事に含まれる移設工事	○ あ り	◉ な し	本工事では、次の移設工事を含んでいる。 場所 / 移設物件 / 移設の形態 / 設計見込金額（税抜）
	工事支障物件	○ あ り	◉ な し	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。 場所 / 支障物件 / 内容 / 備考
		○ あ り	◉ な し	
⑩ 地盤改良・推進関係	薬液注入	◉ あ り	○ な し	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。 場所 / 数量・区分等 / 工法 / プラント / 備考 掘削部 / 仕様書の通り / 二重管ストレーナー(複相) / 地上 /
	推進工法	○ あ り	◉ な し	次のとおり、推進工法を見込んでいる。 区間 / 工法 / 備考
	高圧噴射攪拌	◉ あ り	○ な し	放流渠基礎部（専用硬化材） 放流ゲート基礎部（専用硬化材）

項目	事　　項	該　当		内　　容
⑪ その他	取付ますの請求額	○ あ り	◉ な し	
	その他の図面	○ あ り	◉ な し	福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（２０２３年４月１日改訂版）に基づき、適切に実施すること。
	マンホール及び取付管の位置調査	○ あ り	◉ な し	
	工事完成のお知らせ	◉ あ り	○ な し	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」（別途、参考様式有り）を配布すること。
	設計図書の照査	◉ あ り	○ な し	契約約款第18条第1項第1号から第5号に係る照査を実施し、工事打合せ簿で報告すること。
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	
		○ あ り	◉ な し	

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	70 福山市
単価適用日	00-08.08.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	32 下水道工事（３）	
施工地域・工事場所区分	02 市街地(DID補正)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
処理場・ポンプ場	1	式			Y1I06　　レベル1
本体土工	1	式			Y1I0608　　レベル2
作業土工	1	式			Y1I060801　レベル3
床掘り		m3			Y1I06080101レベル4
床掘り 土砂 標準 自立式 障害無し	80	m3			SPK26040014 00 単第0 -0001　表
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	70	m3			SPK26040014 00 単第0 -0002　表
床掘り 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有り	60	m3			SPK26040014 00 単第0 -0003　表
掘削補助機械搬入搬出	1	回			SPK26040015 00 単第0 -0004　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し		m3			Y1I06080102レベル4
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	160	m3			SPK26040019 00 単第0 -0005 表
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	80	m3			SPK26040019 00 単第0 -0006 表
真砂土（購入）	330	m3			F000010100 00
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)	270	m3			SPK26040002 00 単第0 -0007 表
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	440	m3			SPK26040019 00 単第0 -0006 表
再生クラッシャラン 40～0mm	560	m3			T0247 00
残土処理工	1	式			Y1I060104 レベル3
残土処理		m3			Y1I06010401レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	210	m3			SPK26040002 00 単第0 -0008 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 土砂	210	m3			F000010200 00
補助地盤改良工	1	式			Y1I060802 レベル3
薬液注入		本			Y1I06080201レベル4
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式（2セット) 総削孔長=１１．８m	6	本			S0740 00 単第0 -0009 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式（2セット) 総削孔長=１１．８m	14	本			S0740 00 単第0 -0010 表
注入設備据付・解体 二重管ストレーナ工法（２セット)	1	現場			S0746 00 単第0 -0011 表
高圧噴射攪拌		本			Y1I06080202レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
専用硬化材	292.1	m3			F000000100　00
高圧噴射攪拌労務費 造成工 1set当たり	14	日			V000000100　00 単第0 -0013　表
機械損料費 運転1日当たり 1set当たり	14	日			V000000200　00 単第0 -0014　表
機械損料費 供用1日当たり 1set当たり	27	日			V000000300　00 単第0 -0015　表
削孔消耗材料費 粘性土	108.8	m			V000000400　00 単第0 -0016　表
削孔消耗材料費 砂質土	49.5	m			V000000500　00 単第0 -0017　表
造成消耗材料費 造成消耗材	278.1	m3			V000000600　00 単第0 -0018　表
造成消耗材料費 水切削消耗材	88.3	m3			V000000700　00 単第0 -0019　表
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8,428	L			T0202　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
高圧噴射攪拌機械組立解体費	1	式			V000000900　00 単第0 -0020　表
運搬費 高圧噴射攪拌機械	1	式			V000001000　00 単第0 -0022　表
排泥運搬費 汚泥吸排車8.0t　運搬距離7.8km 人力作業含む	540	m3			F000010400　00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
排泥処理費	540	m3			F000010500　00
本体仮設工	1	式			Y1I0605　　レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1I060501　レベル3
仮設鋼矢板		枚			Y1I06050101レベル4
継鋼矢板圧入(Nmax≦25) 陸上施工 4型 圧入長(m)_19以下(15超) 継施工1箇所	40	枚			S0441　　00 単第0 -0023　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板引抜き 陸上施工 4型 引抜長(m)_19以下(15超)	40	枚			S0454 00 単第0 -0026 表
ガス切断 鋼矢板	80	箇所			S0180 00 単第0 -0027 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (Nmax≦25) IV型	1	回			S0458 00 単第0 -0028 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き IV型	1	回			S0458 00 単第0 -0029 表
(賃料)普通鋼矢板 SP4型,76.1kg/m 整備費	51.7	t			K000E019 00
鋼矢板4型賃料 1回使用 供用日数163日	51.7	t			S0850 00 単第0 -0030 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6㎜以上,幅高500㎜以下 長さ1,200㎜以下,質量1,000kg以下	-7.6	t			T100E007 00
切梁・腹起し		t			Y1I06050107レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
切梁・腹起し設置,撤去 設置	27.5	t			S1050039　00 単第0 -0031　表
切梁・腹起し設置,撤去 撤去	27.5	t			S1050039　00 単第0 -0032　表
山留材賃料	10.9	t			SHD10013　00 単第0 -0033　表
山留材賃料	10.9	t			SHD10013　00 単第0 -0034　表
溝形鋼 ［200×80×7.5×11	0.4	t			F000005500　00
ワイヤーロープ 径8㎜	4	本			F000005600　00
ターンバックル 両フック 径9㎜	8	本			F000005700　00
ワイヤグリップ FR型 8㎜	96	個			F000005800　00
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6㎜以上,幅高500㎜以下 長さ1,200㎜以下,質量1,000kg以下	-0.4	t			T100E007　00
二重締切工	1	式			Y1I060501　レベル3
仮設鋼矢板		枚			Y1I06050101レベル4
継鋼矢板圧入(Nmax≦25) 陸上施工 50H型 圧入長(m)_15以下(12超) 継施工1箇所	33	枚			S0441　00 単第0 -0035　表
鋼矢板引抜き 陸上施工 6L型 引抜長(m)_15以下(12超)	33	枚			S0454　00 単第0 -0037　表
ガス切断 鋼矢板	33	箇所			S0180　00 単第0 -0027　表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入 (Nmax≦25) 50H型	1	回			S0458　00 単第0 -0039　表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き VIL型	1	回			S0458　00 単第0 -0040　表
鋼矢板 SP-50H L=18.0m	31	枚			F000006200　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
異形鋼矢板 SP-50H ａ部	1	枚			F000006300　00
異形鋼矢板 SP-50H ｂ部	1	枚			F000006400　00
鋼矢板止水材	330	m			F000006500　00
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6㎜以上,幅高500㎜以下 長さ1,200㎜以下,質量1,000kg以下	-102.1	t			T100E007　　00
タイロッド・腹起し		t			Y1I06050106レベル4
タイロッド・腹起し設置	2.9	t			SHD10021　　00 単第0 -0041　表
タイロッド・腹起し撤去	2.9	t			SHD10023　　00 単第0 -0042　表
溝形鋼 ［200×90×8×13.5	1.8	t			F000005400　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
中詰盛土		m3			Y1I06050110レベル4
真砂土（購入）	290	m3			F000010100　00
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)	240	m3			SPK26040002 00 単第0 -0007　表
タンパ締固め	90	m3			SPK26040020 00 中詰土A 単第0 -0043　表
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	130	m3			SPK26040004 00 中詰土B 単第0 -0044　表
床掘り 土砂 標準 グランドアンカー式 障害有り	90	m3			SPK26040014 00 単第0 -0045　表
床掘り 土砂 標準 グランドアンカー式 障害無し	130	m3			SPK26040014 00 単第0 -0046　表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	220	m3			SPK26040002 00 単第0 -0008　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土受入費 土砂	220	m3			F000010200　00
大型土のう工	1	式			Y1I060504　レベル3
大型土のう		本			Y1I06050401レベル4
大型土のう製作・設置(RTC設置)	119	袋			SHD10005　　00 単第0 -0047　表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)	100	m3			SPK26040002 00 購入土 単第0 -0007　表
止水グラウト 水中不分離型	0.5	m3			F000005900　00
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_H<-3m,2m<H	119	袋			S1050057　　00 単第0 -0049　表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	100	m3			SPK26040002 00 処分 単第0 -0008　表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土受入費 土砂	100	m3			F000010200　00
本体築造工	1	式			Y1I0606　　レベル2
躯体工	1	式			Y1I060607　レベル3
コンクリート		m3			Y1I06060705レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB コンクリートポンプ車打設	7	m3			SPK26040157 00 単第0 -0050　表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB コンクリートポンプ車打設	99	m3			SPK26040157 00 単第0 -0051　表
型枠		m2			Y1I06060706レベル4
型枠 一般型枠 均しコンクリート	4	m2			SPK26040159 00 単第0 -0052　表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	240	m2			SPK26040159 00 単第0 -0053　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)	1	m2			SPK26040159 00 単第0 -0054 表
型枠 撤去しない埋設型枠 床版部	21	m2			SPK26040159 00 単第0 -0055 表
鉄筋		t			Y1I06060707レベル4
鉄筋 SD345 D13	1.88	t			SPK26040332 00 単第0 -0056 表
鉄筋 SD345 D16	1.87	t			SPK26040332 00 単第0 -0057 表
鉄筋 SD345 D19	3.91	t			SPK26040332 00 単第0 -0058 表
足場		掛m2			Y1I06060708レベル4
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場	150	掛m2			S0380 00 単第0 -0059 表
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管足場	20	掛m2			S0380 00 単第0 -0060 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支保		空m3			Y1I06060709レベル4
支保工 くさび結合支保 f<=40(t<=120)	120	空m3			S0370 00 単第0 -0061 表
伸縮継手工	1	式			Y1I060608 レベル3
止水板		m			Y1I06060801レベル4
止水板 止水板各種(ゴム製)	36	m			SPK26040119 00 単第0 -0062 表
耐震型止水板 埋込型	12	m			F000006100 00
目地材		m2			Y1I06060802レベル4
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=20mm	4	m2			SPK26040118 00 単第0 -0063 表
水替工	1	式			Y1I060505 レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ排水		日			Y1I06050501レベル4
ポンプ運転 排水量_0以上120未満(m3/h) 全揚程_10m 作業時排水	73	日			S1050053　00 単第0 -0064　表
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037　00 単第0 -0067　表
根固めブロック工	1	式			Y1I060820　レベル3
根固めブロック 0.5t用 突型 連結鉄筋を含む	10	個			F000006800　00
消波根固めブロック据付け 2.5t以下 据付場所水中 消波根固ブロック10個当り連結金具設置数量	10	個			SPK26040168 00 単第0 -0069　表
捨石投入 最大作業半径7m以下設置高さ-5m以上	0.4	m3			SPK26040171 00 単第0 -0070　表
構造物撤去工	1	式			Y1I0614　レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1I061402　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート構造物取壊し		m3			Y1I06140201レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	51	m3			SDT00031　00 単第0 -0071　表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)	121	m3			SDT00033　00 単第0 -0072　表
舗装版取壊し		m2			Y1I06140202レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	13	m			SPK26040304 00 単第0 -0073　表
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	39	m2			SPK26040303 00 単第0 -0074　表
殻運搬処理		m3			Y1I06140209レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	51	m3			SPK26040155 00 単第0 -0075　表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	121	m3			SPK26040155 00 単第0 -0076　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離5.5km以下(4.0km超)	2	m3			SPK26040155 00 単第0 -0077 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費（無筋） 再生工場搬入	119	t			F000010700 00
コンクリート塊受入費（有筋） 再生工場搬入	301	t			F000010800 00
アスファルト塊受入費 再生工場搬入	5	t			F000010600 00
構造物撤去工	1	式			Y1I061403 レベル3
排水構造物撤去A		m			Y1I06140301レベル4
暗渠排水管 撤去 直管 200～400㎜	3	m			SPK26040093 00 単第0 -0078 表
巨石撤去		個			Y1I06140304レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
巨石採取	50	個			SPK26040201 00 単第0 -0079 表
手すり撤去		m			Y1I06140307レベル4
横断・転落防止柵 防護柵撤去 コンクリート建込 ビーム式・パネル式	9	m			SS000153 00 単第0 -0080 表
場内付帯工	1	式			Y1I0613 レベル2
護岸工	1	式			Y1I061312 レベル3
コンクリート		m3			Y1I06131203レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB コンクリートポンプ車打設	35	m3			SPK26040157 00 単第0 -0050 表
型枠		m2			Y1I06131204レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	79	m2			SPK26040159 00 単第0 -0053 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
街渠工	1	式			Y1I061313　レベル3
コンクリート		m3			Y1I06131303レベル4
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			SPK26040157 00 単第0 -0081　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.4	m3			SPK26040157 00 単第0 -0081　表
型枠		m2			Y1I06131304レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	2	m2			SPK26040159 00 単第0 -0082　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1	m2			SPK26040159 00 単第0 -0052　表
目地材		m2			Y1I06060802レベル4
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm	2	m2			SPK26040118 00 単第0 -0083　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
街渠桝	1	式			Y1I061313　レベル3
コンクリート		m3			Y1I06131303レベル4
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.3	m3			SPK26040157 00 単第0 -0081　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.1	m3			SPK26040157 00 単第0 -0081　表
型枠		m2			Y1I06131304レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	3	m2			SPK26040159 00 単第0 -0082　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.4	m2			SPK26040159 00 単第0 -0052　表
グレーチング蓋		m2			Y1I06060802レベル4
蓋版 蓋版(各種) 40≧重量	1	枚			SDT00017　00 単第0 -0084　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水路工	1	式			Y1I061313　レベル3
コンクリート		m3			Y1I06131303レベル4
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.3	m3			SPK26040157 00 単第0 -0081　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.1	m3			SPK26040157 00 単第0 -0081　表
型枠		m2			Y1I06131304レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	3	m2			SPK26040159 00 単第0 -0082　表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.4	m2			SPK26040159 00 単第0 -0052　表
管布設工		m2			Y1I06060802レベル4
塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	4	m			SG1D0006001 00 単第0 -0085　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
フェンス工	1	式			Y1I061303　レベル3
フェンス		m			Y1I06130303レベル4
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m	8	m			SPK26040252 00 単第0 -0086　表
メッシュフェンス H=1,500	8	m			F000005200　00
コンクリート		m3			Y1I06131303レベル4
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			SPK26040157 00 単第0 -0081　表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.4	m3			SPK26040157 00 単第0 -0081　表
型枠		m2			Y1I06131304レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	8	m2			SPK26040159 00 単第0 -0082　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2	m2			SPK26040159 00 単第0 -0052 表
アスファルト舗装工	1	式			Y1I060908 レベル3
下層路盤		m2			Y1I06090802レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	39	m2			SPK26040232 00 単第0 -0087 表
上層路盤		m2			Y1I06090803レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	39	m2			SPK26040234 00 単第0 -0088 表
表層		m2			Y1I06090805レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	39	m2			SPK26040241 00 単第0 -0089 表
不陸整正 補足材料有り RC-40 補足材料平均厚さ28mm以上34mm未満	3,000	m2			SPK26040231 00 う回路部 単第0 -0090 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床版工	1	式			Y1I061314　レベル3
コンクリート		基			Y1I06131401レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	2	m3			SPK26040157 00 単第0 -0091　表
構造物復旧工	1	式			Y1I061403　レベル3
巨石復旧		個			Y1I06140304レベル4
巨石張(空) 石材径60cm以上80cm未満 吸出し防止材無し 裏込材無し	16	m2			SPK26040199 00 単第0 -0092　表
石碑移設工	1	式			Y1I061315　レベル3
石碑移設・復旧		基			Y1I06131501レベル4
水神移設・復旧 外柵含む 移動距離50m程度	1	式			F000006600　00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
雑工	1	式			Y1I0613　　レベル2
鋼材切断	1	式			Y1I061301　レベル3
既設鋼矢板切断		m3			Y1I06130101レベル4
水中酸素アーク切断 ハット型鋼矢板 板厚10㎜以上20㎜未満	26	m			F000006700　00
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6㎜以上,幅高500㎜以下 長さ1,200㎜以下,質量1,000kg以下	4.9	t			T100E007　　00
電線移設	1	式			Y1I061302　レベル3
電線移設		m2			Y1I06130201レベル4
電線移設工 住居引き込み線	1	式			V000001300　00 単第0 -0093　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
水替工	1	式			Y1I061303　レベル3
既設水中ポンプ運転		個			Y1I06130301レベル4
ポンプ運転 排水量 0以上40未満（m3/h） 作業時排水	50	日			V000001100　00 雨天時 単第0 -0094　表
ポンプ撤去	1	箇所			V000001200　00 単第0 -0096　表
仮設工	1	式			Y1I0605　レベル2
交通管理工	1	式			Y1I060501　レベル3
交通誘導警備員		人			Y1I06050101レベル4
交通誘導警備員B 1名配置	20	人			R0369　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04　　レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001　　レベル3
重建設機械分解組立輸送費		回			YZZ04001003レベル4
重建設機械分解組立輸送 バックホウ系 バケット容量1.0m3以上1.5m3以下	1	回			S1000017　　00 単第0 -0097　表
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下	1	回			S1000017　　00 単第0 -0098　表
仮設材運搬費		t			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　　00 単第0 -0099　表
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007　　00 単第0 -0102　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06　レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001　レベル3
地質試験費		式			YZZ06001002レベル4
その他原位置試験 地盤の平板載荷試験 100kN以内(間接調査費のうち準備費含む)	1	箇所			TH003326　00
【設計経費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0048
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法5	9	試料			TH003920　00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					 当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事

実施設計図

令和８年８月

福 山 市 上 下 水 道 局

一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事　設計図面目録

(1/1)

図面番号	名称	縮尺	図面番号	名称	縮尺
1/29	全体配置図	1/150	26/29	付帯工平面図	1/50
2/29	水位関係図	1/150	27/29	付帯工構造図	図示
3/29	放流渠一般図	図示	28/29	ガードフェンス構造図（参考図）	図示
4/29	樋門一般図	図示	29/29	雑工一般図	図示
5/29	樋門構造図	1/100			
6/29	函渠配筋図	1/50			
7/29	門柱部配筋図 (1)	1/50			
8/29	門柱部配筋図 (2)	1/50			
9/29	門柱部配筋図 (3)	1/50			
10/29	川表胸壁配筋図	1/50			
11/29	構造細目共通図 (1)	—			
12/29	構造細目共通図 (2)	—			
13/29	構造細目共通図 (3)	—			
14/29	構造細目共通図 (4)	—			
15/29	護床ブロック構造図（参考図）	図示			
16/29	仮設および地盤改良図 (1)	1/100			
17/29	仮設および地盤改良図 (2)	1/100			
18/29	仮設および地盤改良図 (3)	1/100			
19/29	仮設図 (1)	図示			
20/29	仮設図 (2)	1/100			
21/29	仮設図 (3)	1/100			
22/29	仮設図 (4)	1/100			
23/29	撤去平面図	1/50			
24/29	撤去構造図 (1)（参考図）	1/50			
25/29	撤去構造図 (2)	1/30			

位置図

s=1:10,000

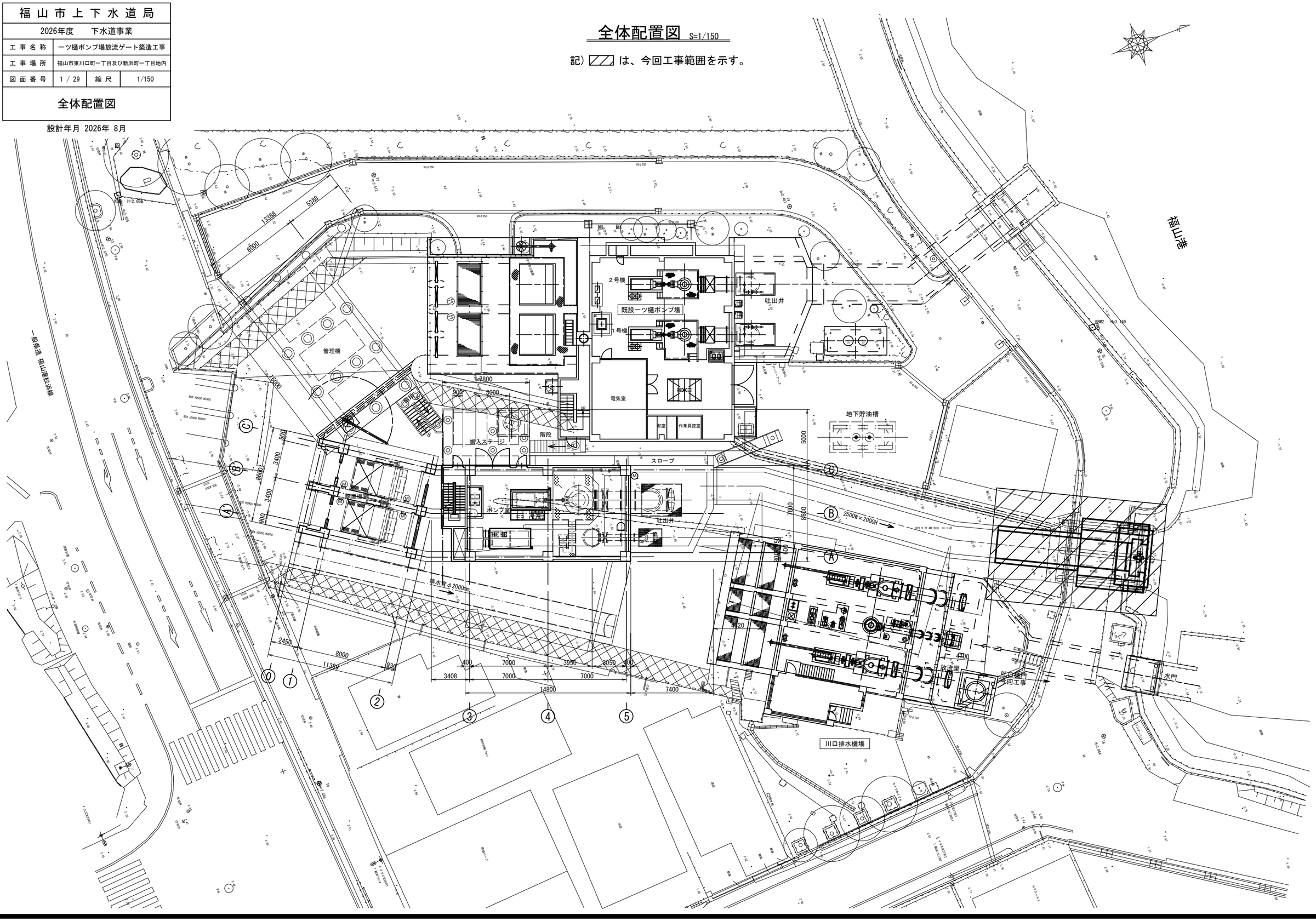
工事施工箇所
明神町一丁目
東深津町四丁目
手城町三丁目
手城町四丁目
手城町二丁目
手城町一丁目
南手城町四丁目
南手城町三丁目
南手城町二丁目
南手城町一丁目
福山港
東川口町一丁目
東川口町三丁目
東川口町四丁目
東川口町五丁目
新浜町一丁目
曙町一丁目
曙町三丁目
曙町五丁目
川口町一丁目
川口町二丁目
入江大橋
手城小学校
手城東公園
福山パークレーン線
県道水呑手城線
県道福山港松浜線
アカシンマツ
キンメッツ

福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	1 / 29	縮尺	1/150
全体配置図			

設計年月 2026年 8月

全体配置図 S=1/150

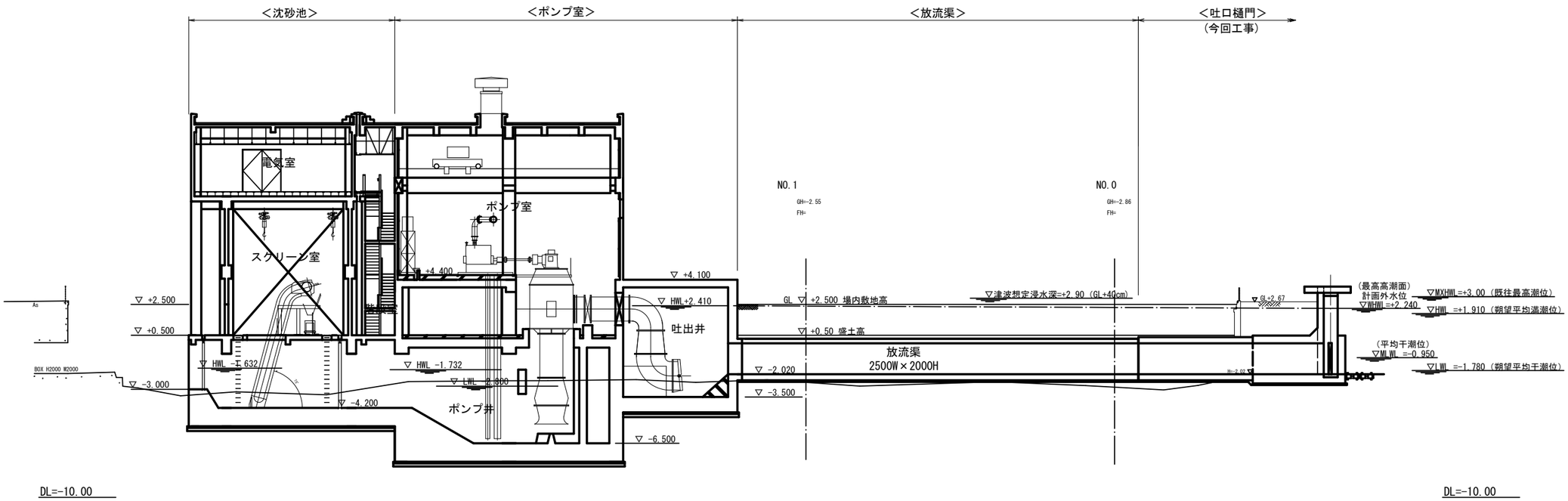
記) ▨ は、今回工事範囲を示す。



福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	2 / 29	縮尺	1/150
水位関係図			

設計年月 2026年 8月

水位関係図 S=1/150



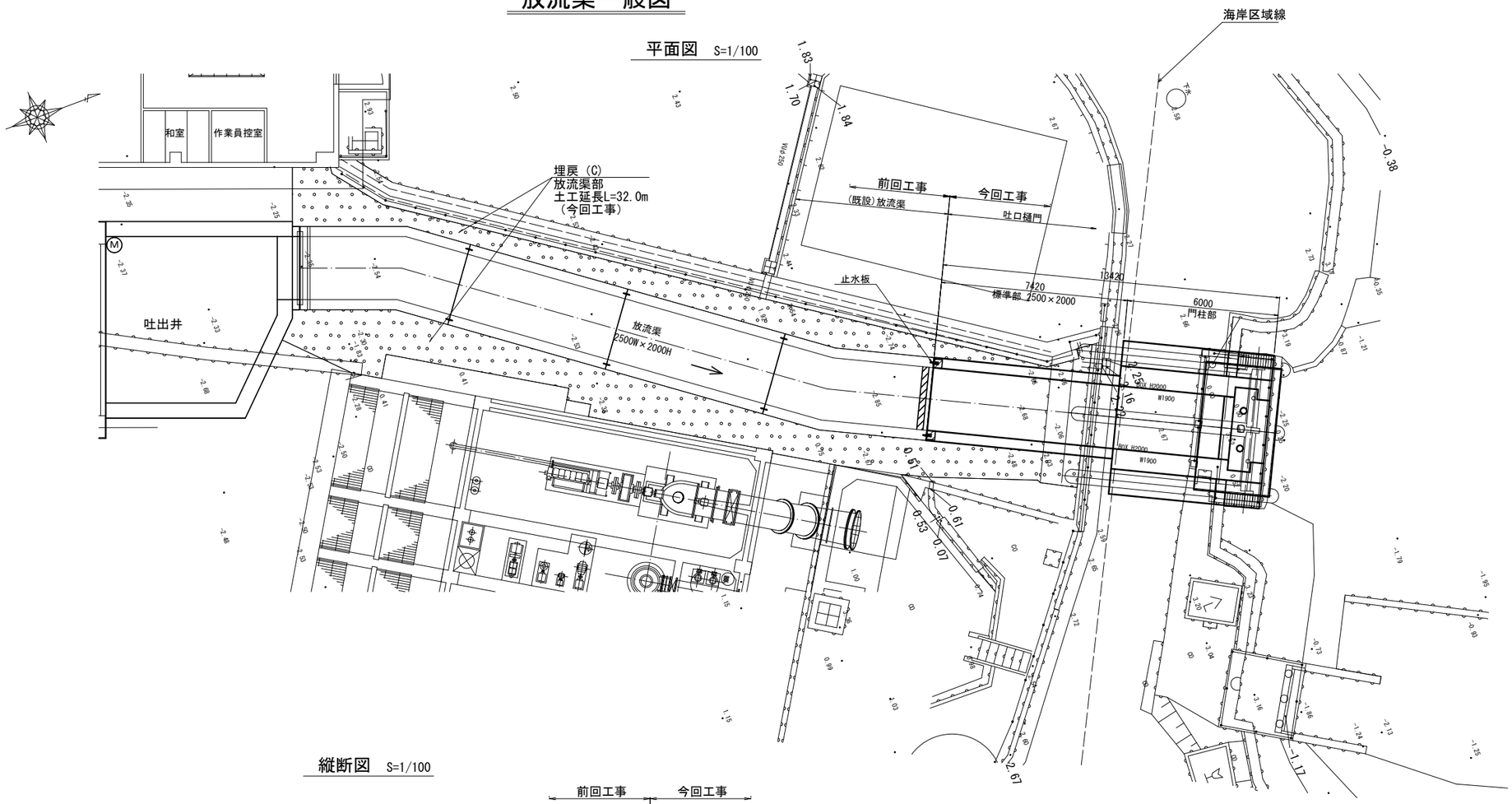
※標示高さは、TP基準高とする。

福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	3 / 29	縮尺	図示
放流渠一般図			

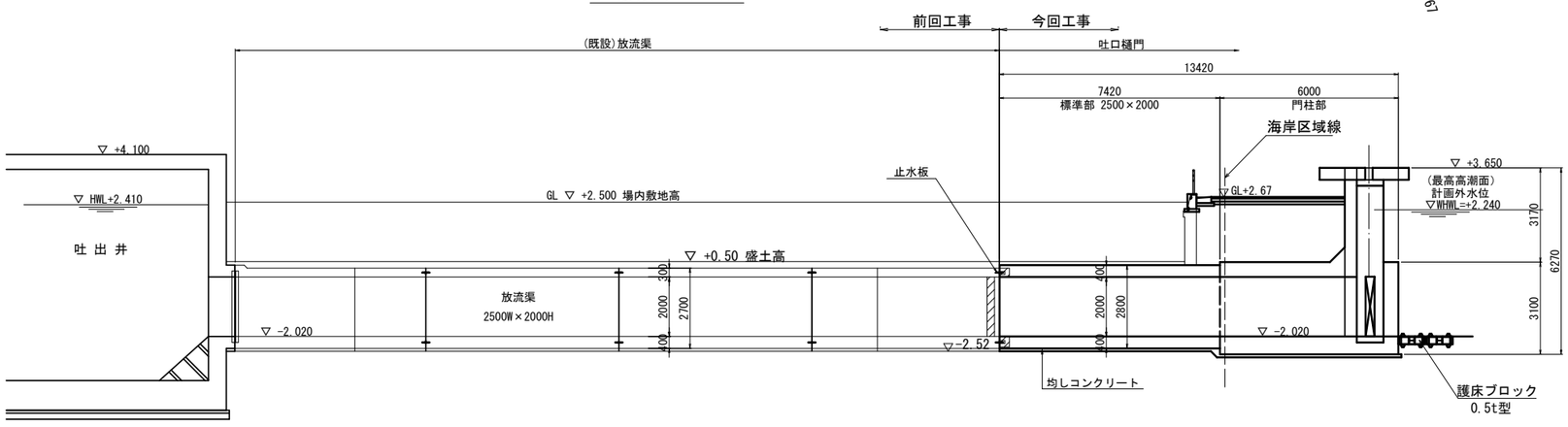
設計年月 2026年 8月

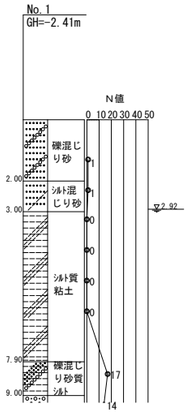
放流渠一般図

平面図 S=1/100



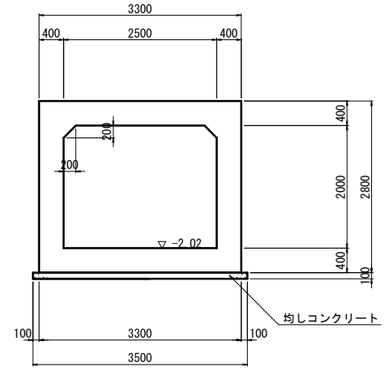
縦断図 S=1/100





放流渠標準断面図 S=1/50

（標準部）

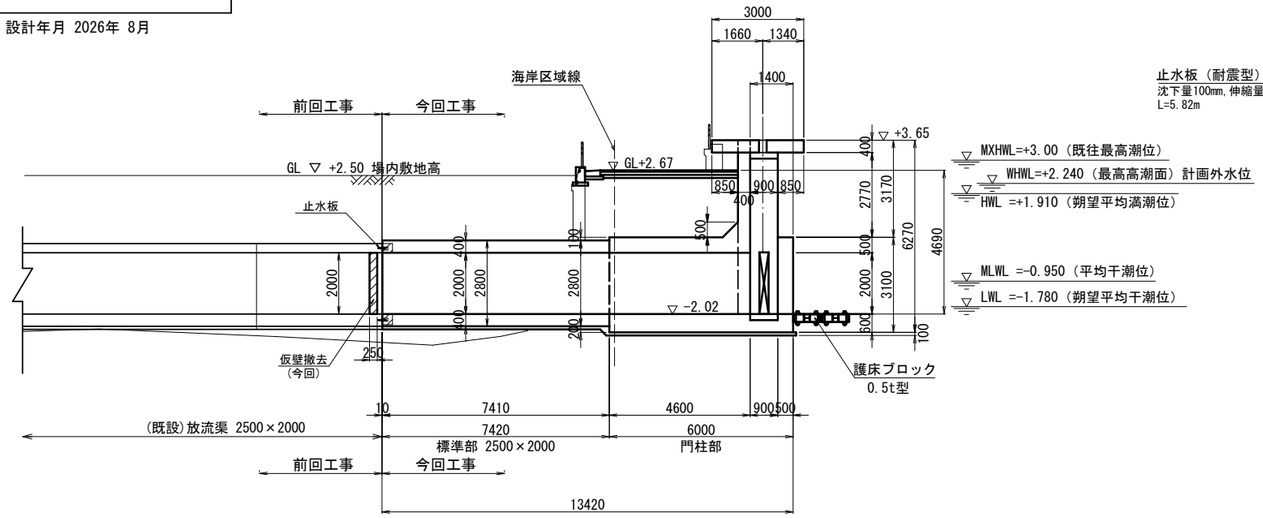


樋門一般図

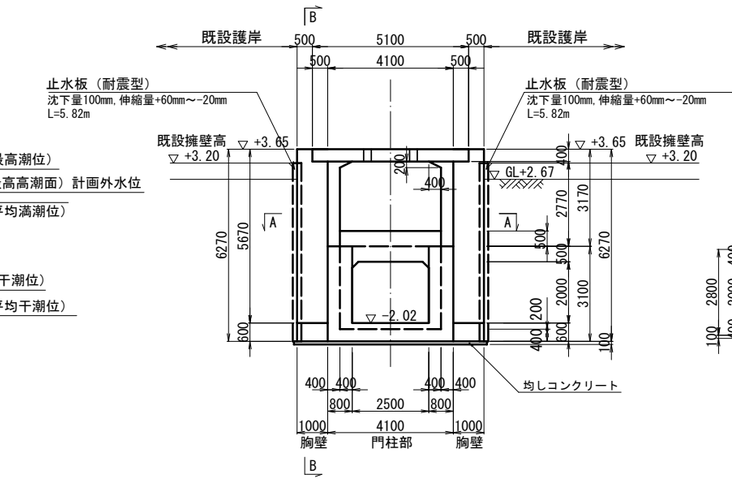
福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	4 / 29	縮尺	図示
樋門一般図			

設計年月 2026年 8月

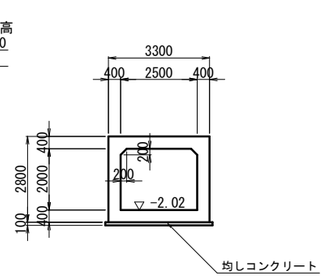
側面図 S=1/100

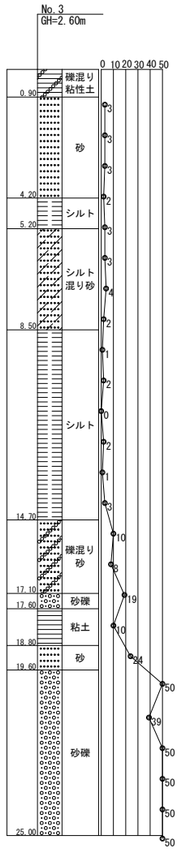


門柱部 S=1/100

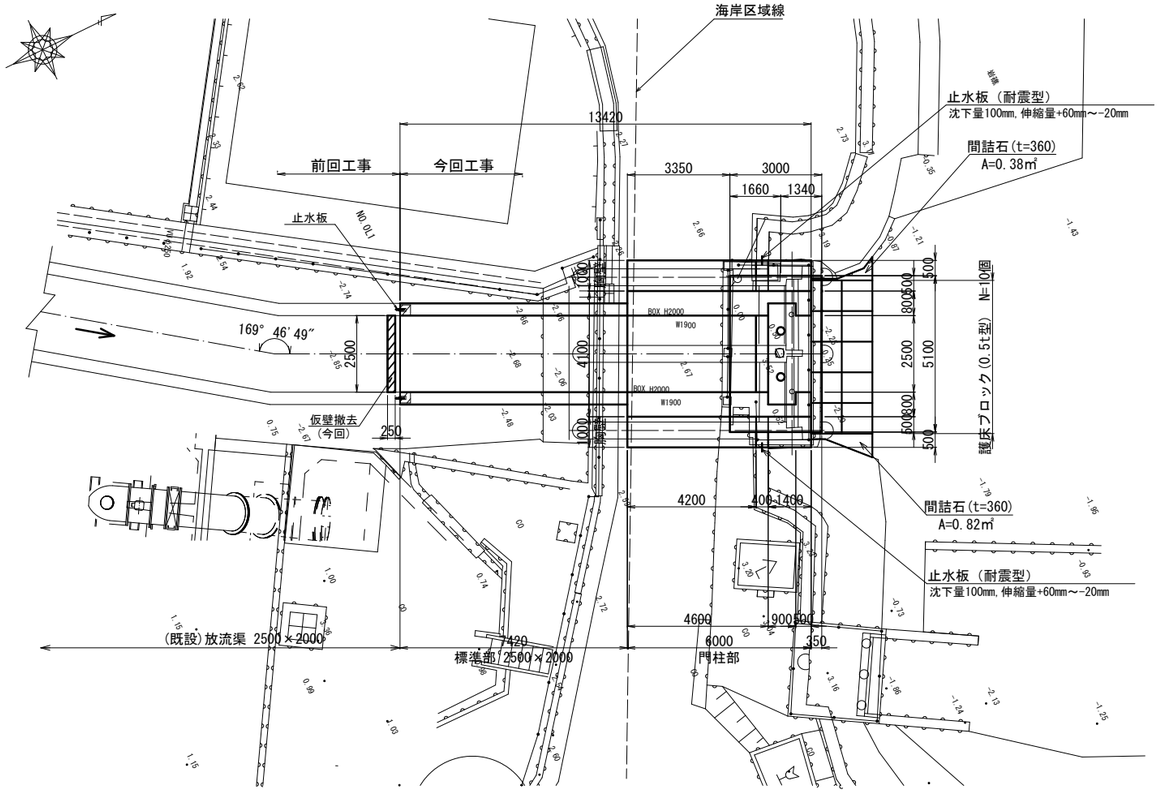


標準断面図 S=1/100

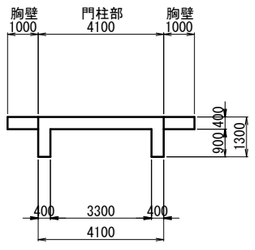




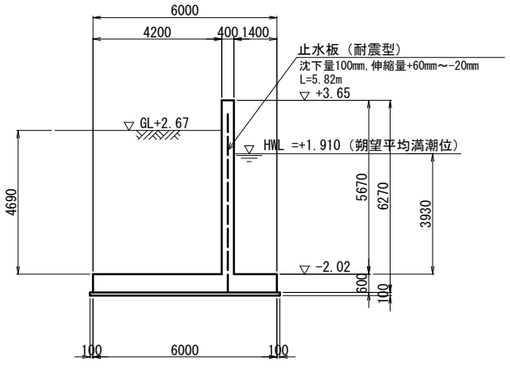
平面図 S=1/100



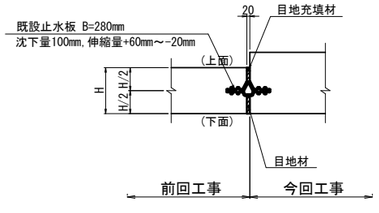
A－A S=1/100



B－B S=1/100

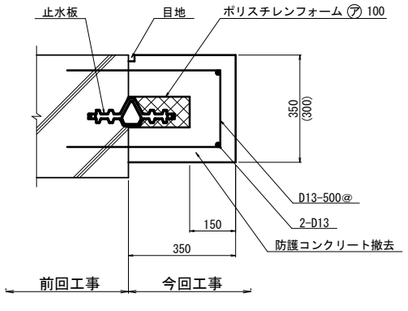


止水板詳細図 S=1/20



止水板保護部詳細図 S=1/10

※( )内は、頂版を示す。

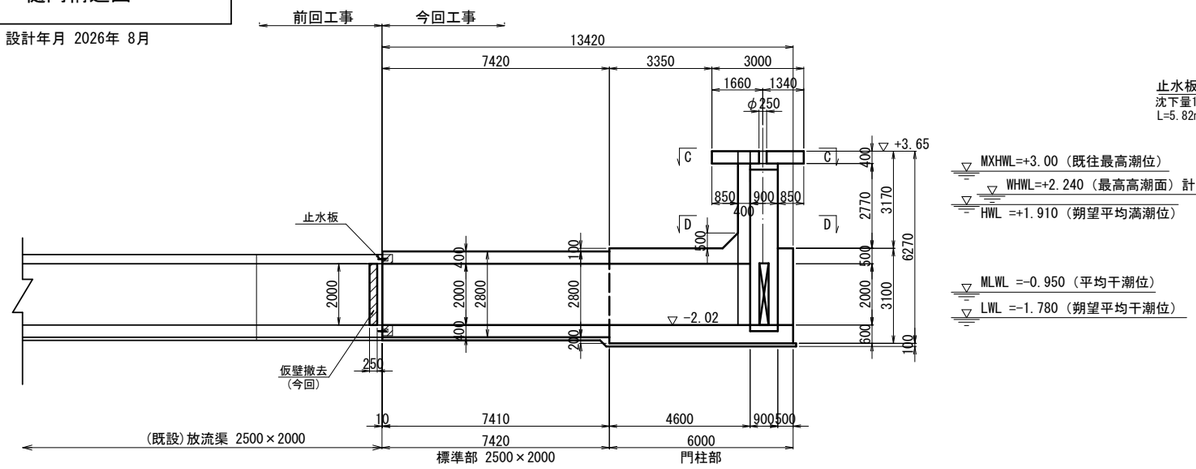


樋門構造図

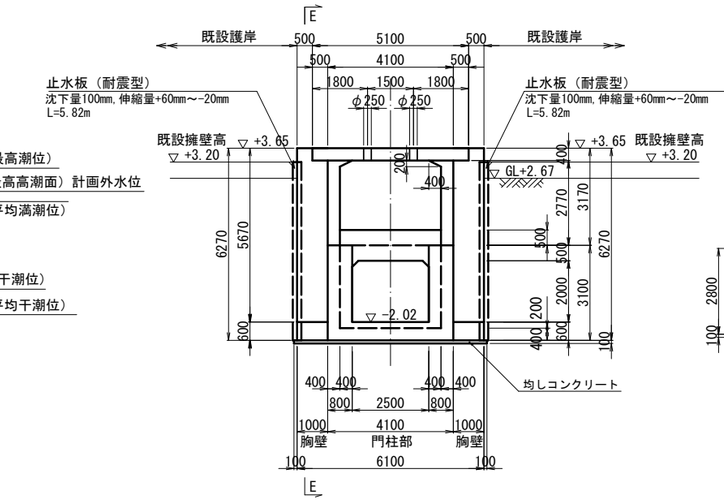
福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	5 / 29	縮尺	1/100
樋門構造図			

設計年月 2026年 8月

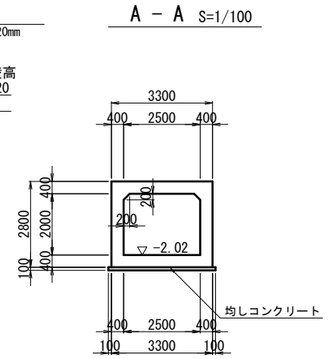
側面図 S=1/100



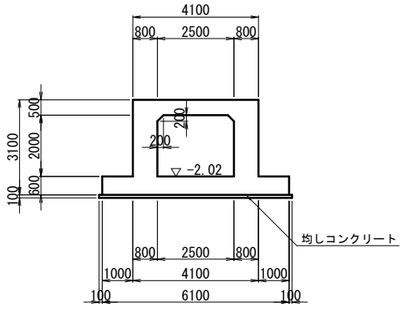
門柱部 S=1/100



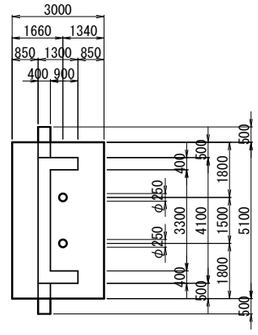
A － A S=1/100



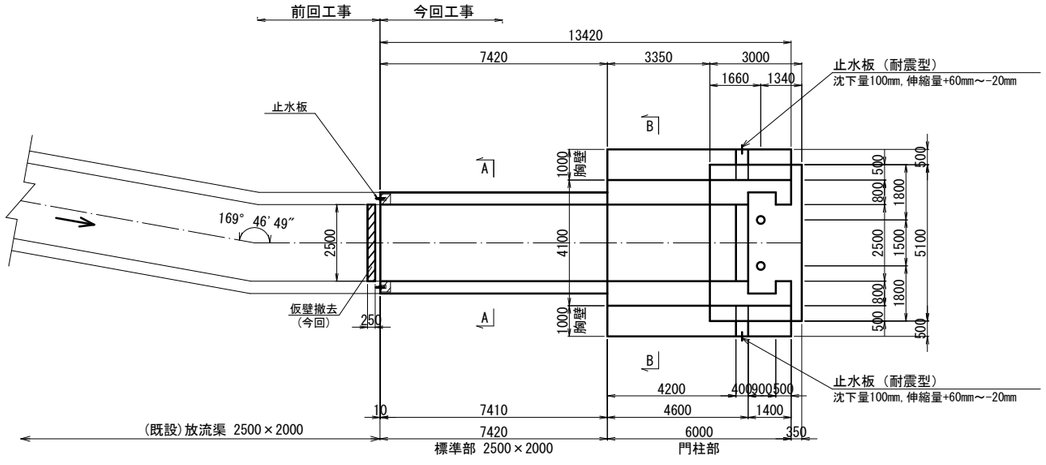
B － B S=1/100



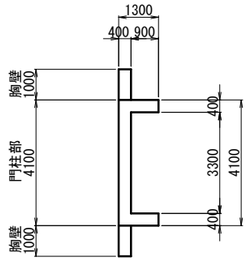
C － C S=1/100



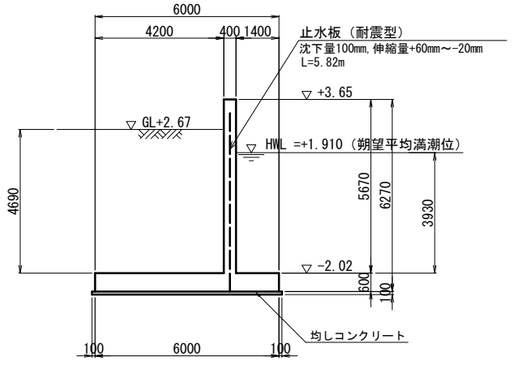
平面図 S=1/100



D － D S=1/100



E － E S=1/100

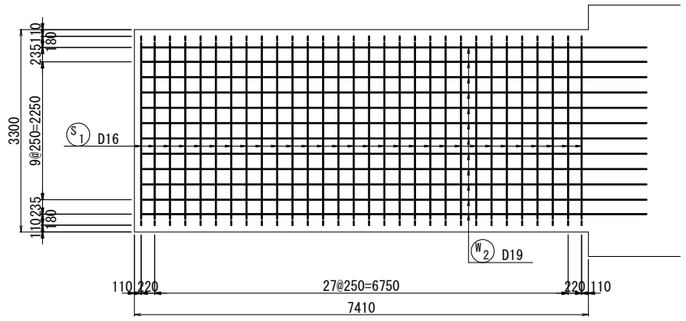


福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	6 / 29	縮尺	1/50
函渠配筋図			

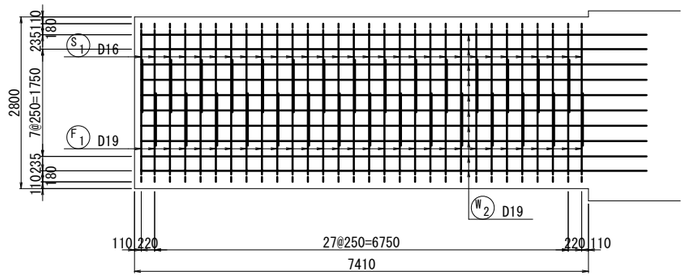
設計年月 2026年 8月

函渠配筋図 S=1/50

1 － 1

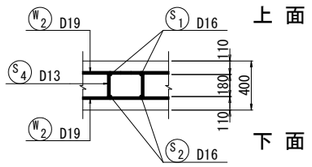


5 － 5

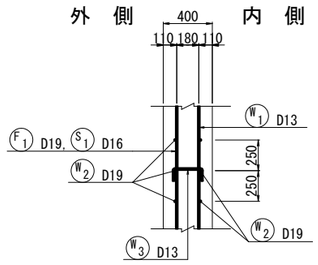


組立図

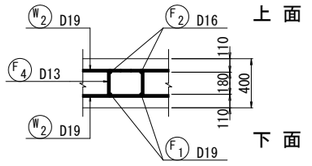
頂版部



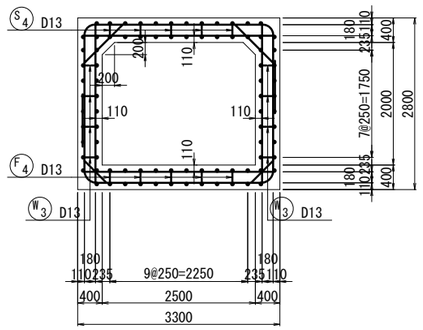
側壁部



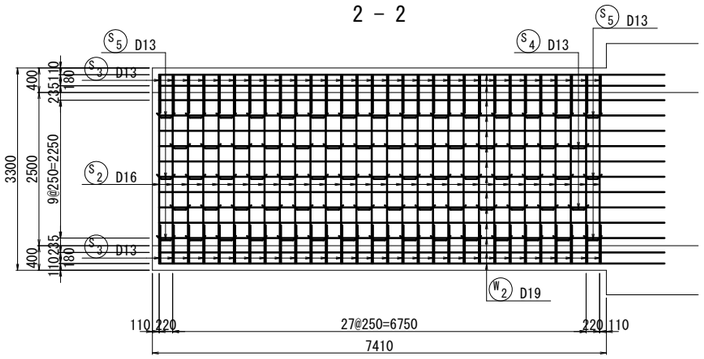
底版部



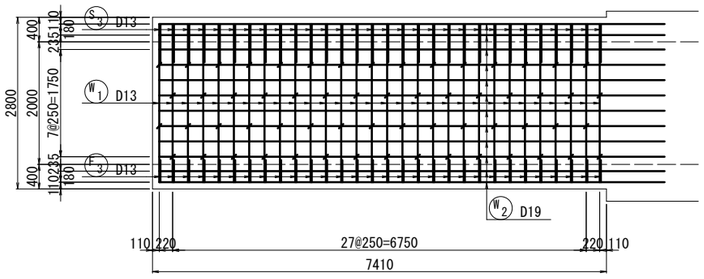
断面図



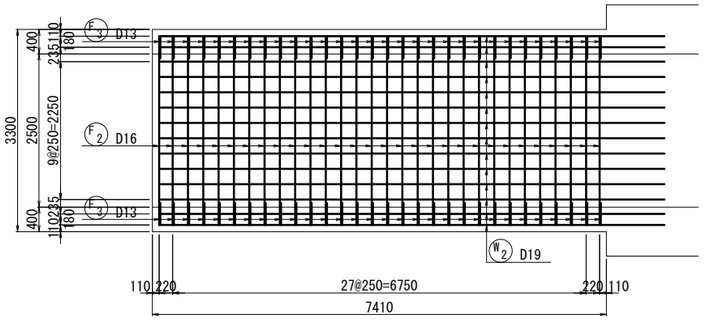
2 － 2



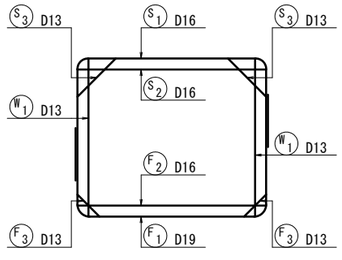
6 － 6



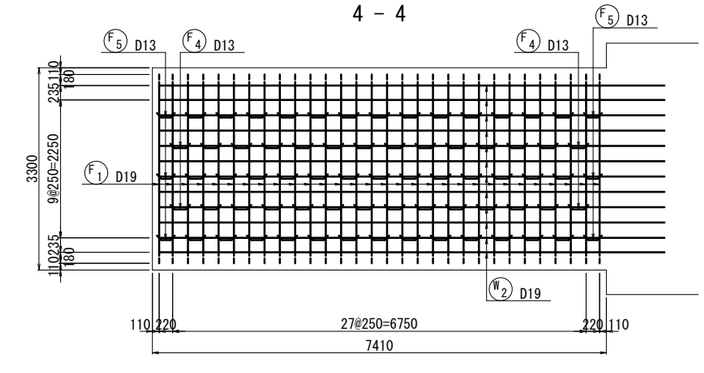
3 － 3



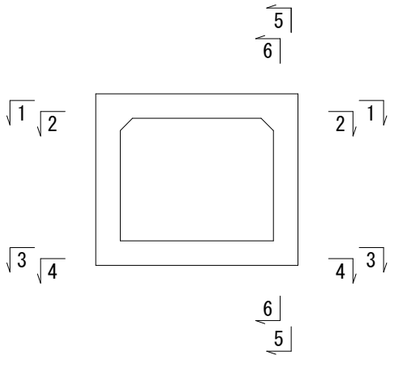
主鉄筋組立図



4 － 4



位置図

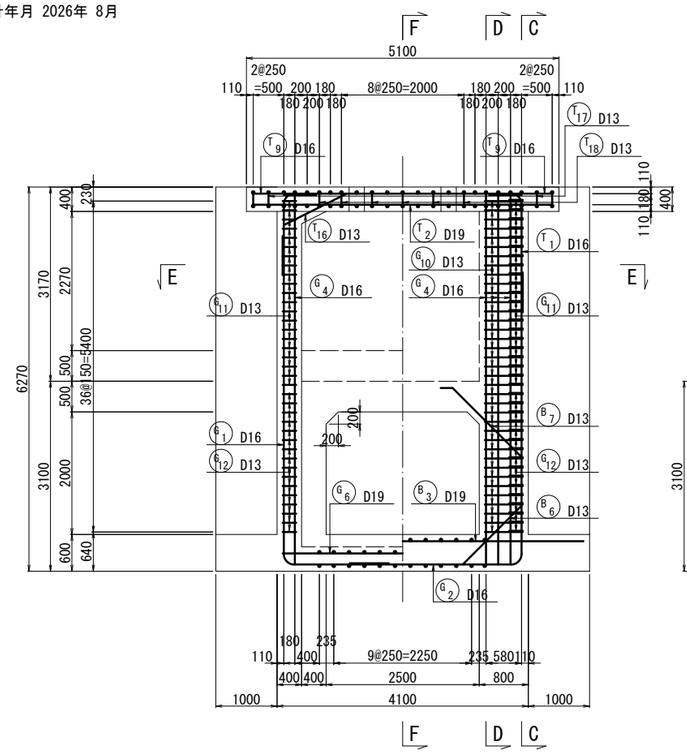


福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	7 / 29	縮尺	1/50
門柱部配筋図（1）			

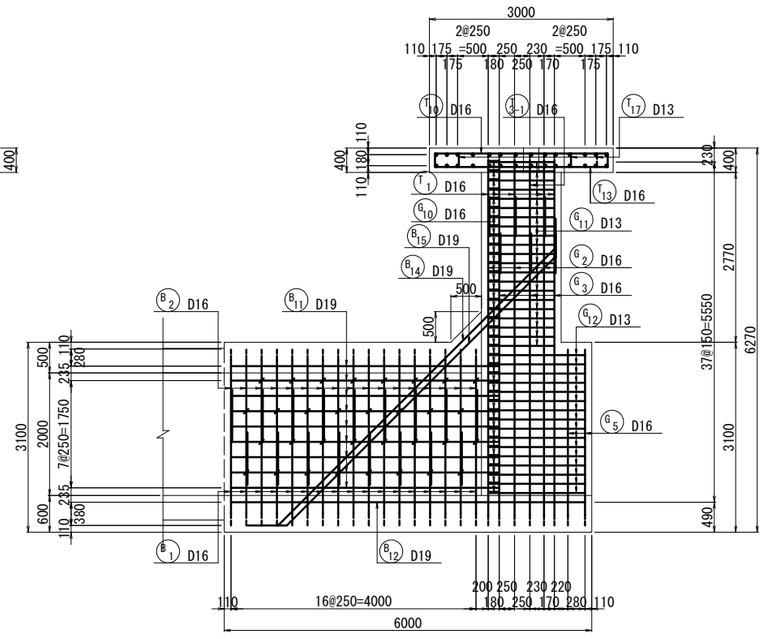
設計年月 2026年 8月

門柱部配筋図(1)　S=1/50

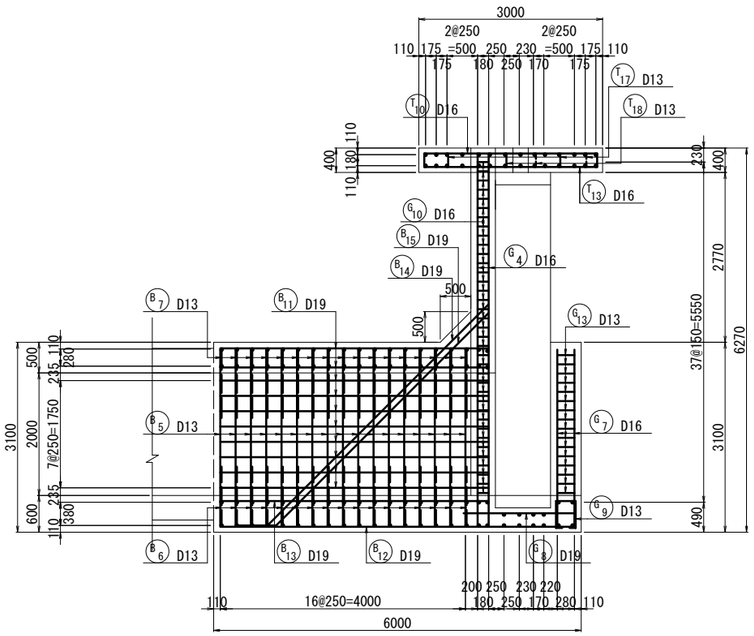
正面図 (A－A)　(B－B)



側面図 (C－C)

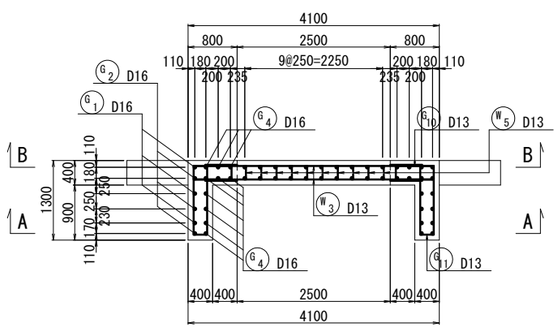


側面図 (D－D)



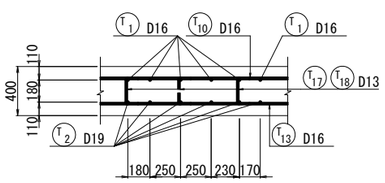
※T_{18}は、せん断補強筋を示す。

側壁部 (E－E)

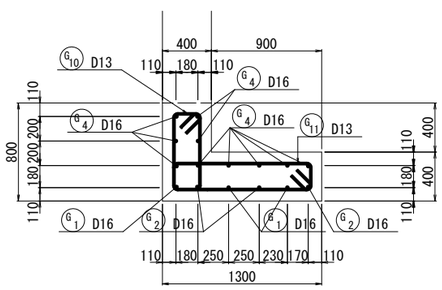


組立図

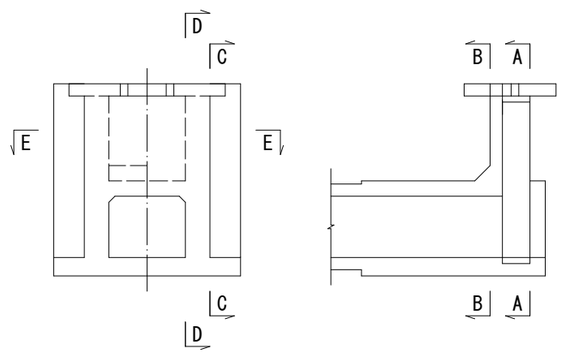
操作台部



柱部



位置図

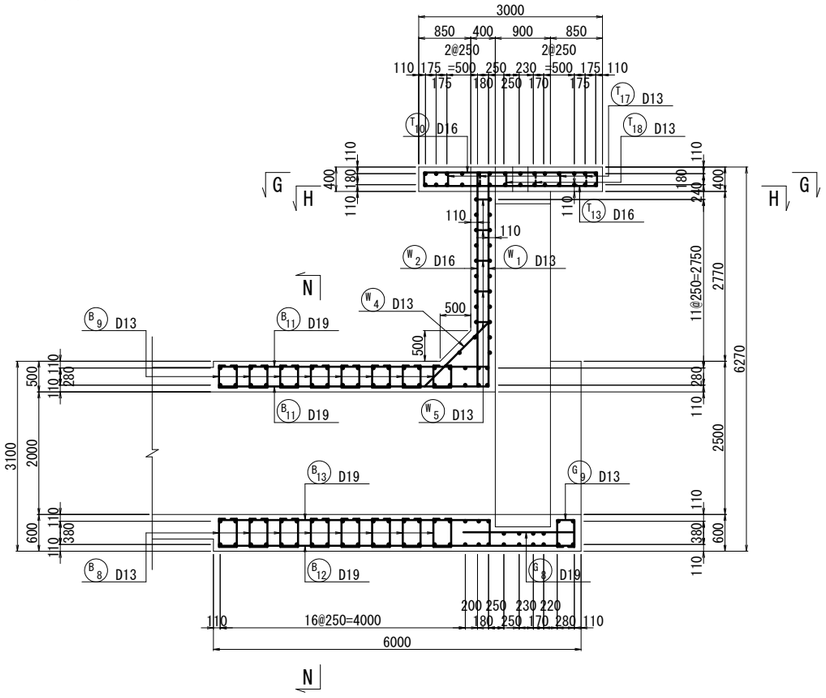


福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	8 / 29	縮尺	1/50
門柱部配筋図（2）			

設計年月 2026年 8月

門柱部配筋図(2)　S=1/50

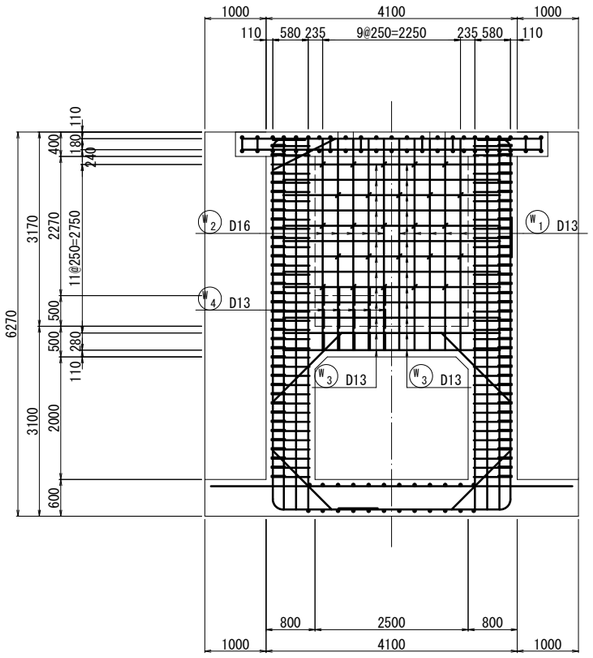
側面図 (F－F)



※T_{18}は、せん断補強筋を示す。

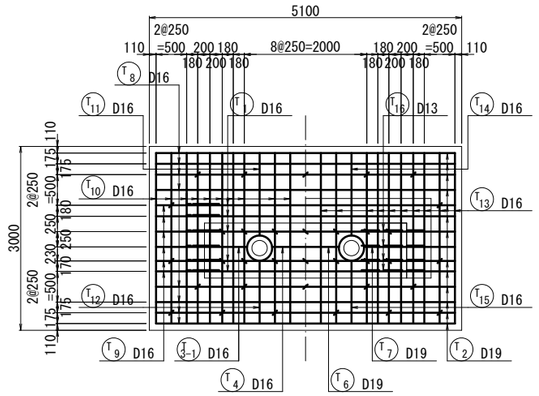
正面図(壁部)

(B－B)　(I－I)



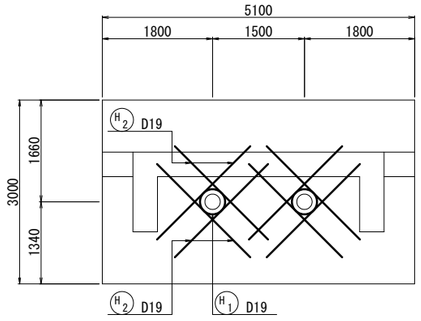
平面図

(G－G)　(H－H)

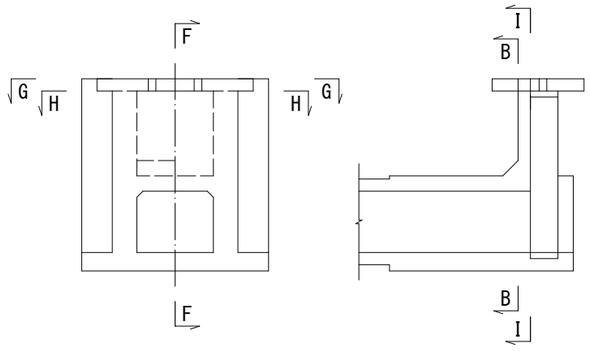


※＼は、せん断補強筋を示す。

開口補強筋図



位置図

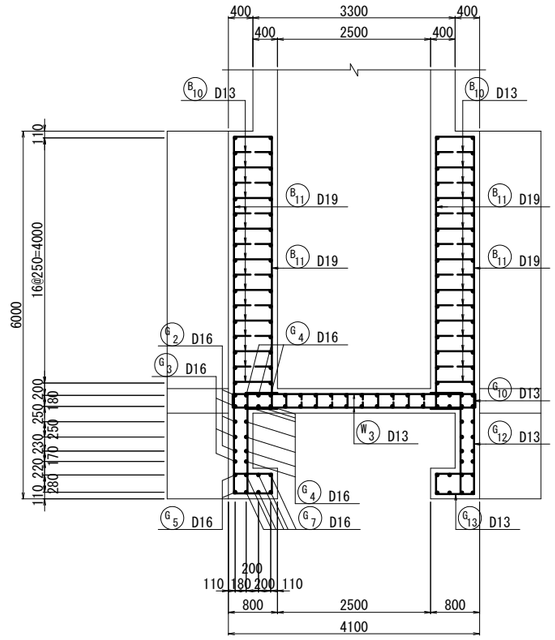


福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	9 / 29	縮尺	1/50
門柱部配筋図（3）			

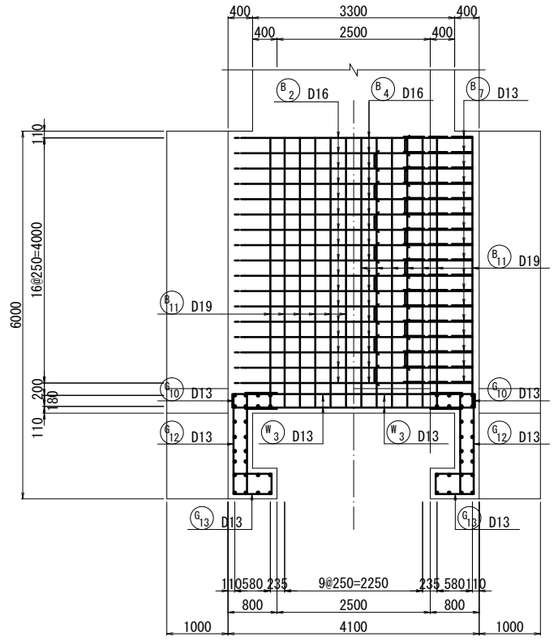
設計年月 2026年 8月

門柱部配筋図(3)　S=1/50

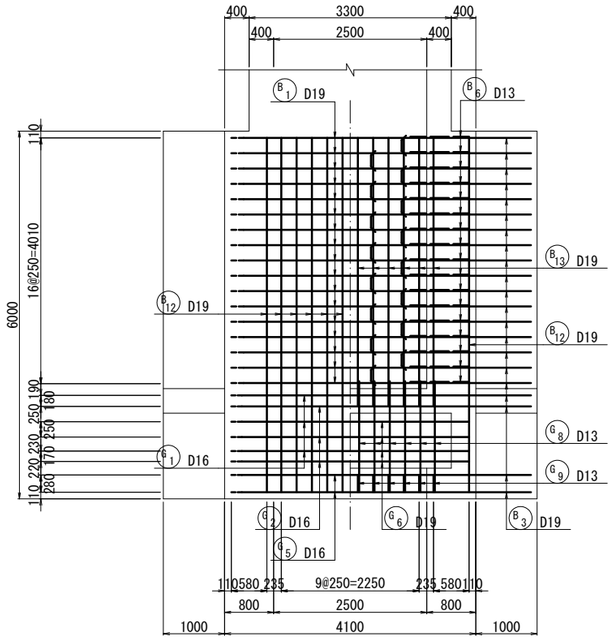
断面図
(J - J)



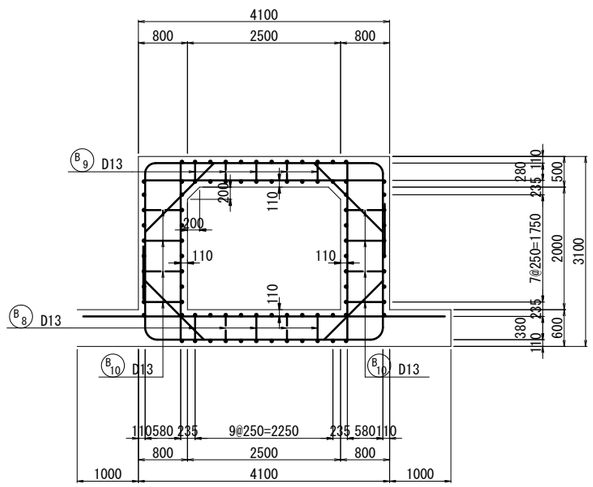
平面図
(K - K)　(L - L)



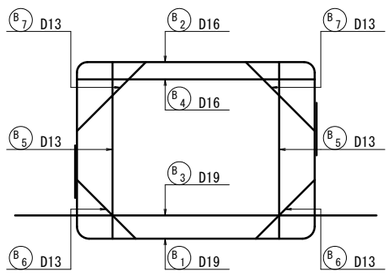
平面図
(M - M)　(N - N)



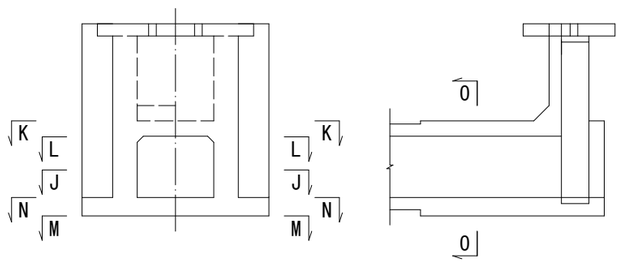
ボックス部断面図
(0 - 0)



主鉄筋組立図



位置図



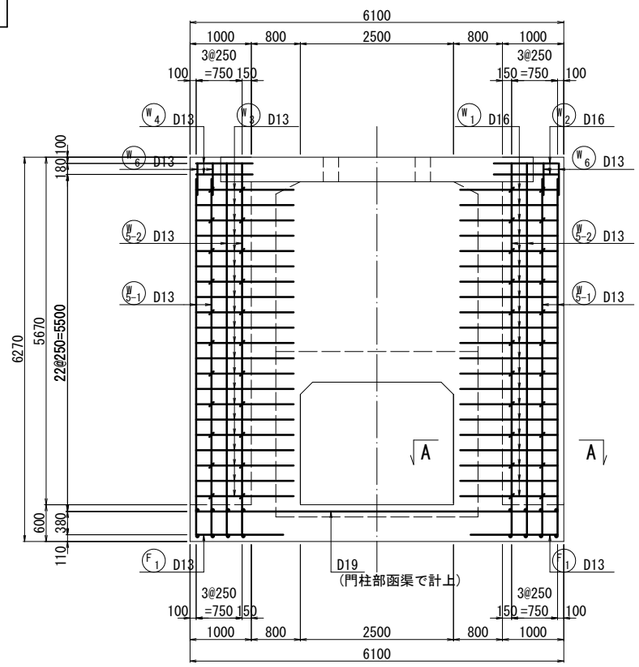
福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	10 / 29	縮 尺	1/50
川表胸壁配筋図			

設計年月 2026年 8月

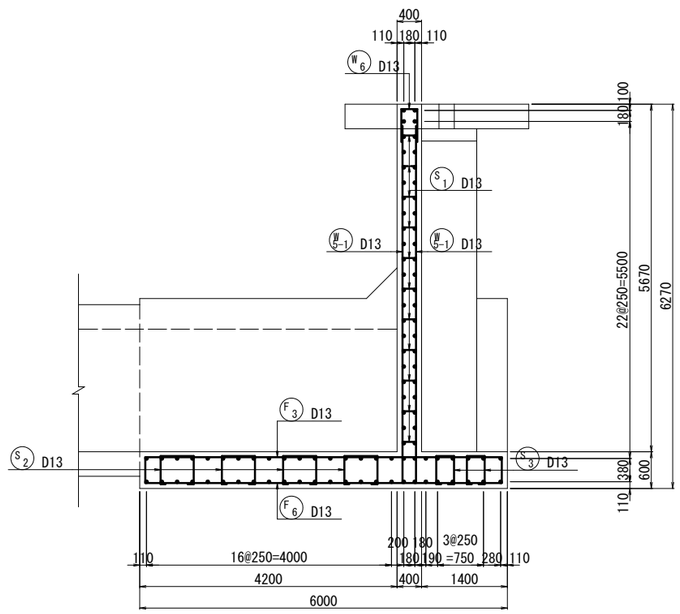
川表胸壁配筋図　S=1/50

正 面 図

（前 面）　　（背 面）



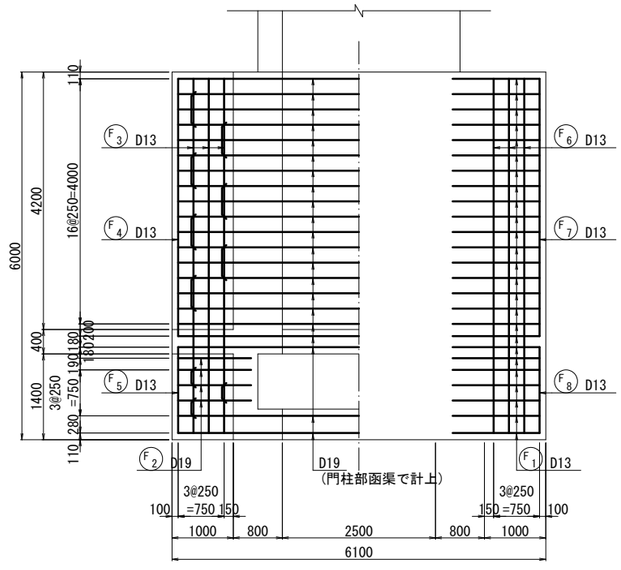
断 面 図



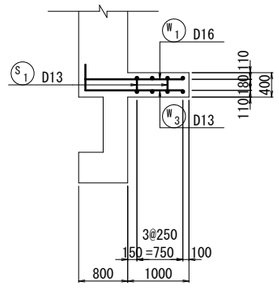
※ S1 ～ S3 は、せん断補強筋を示す。

平 面 図

（上 面）　　（下 面）

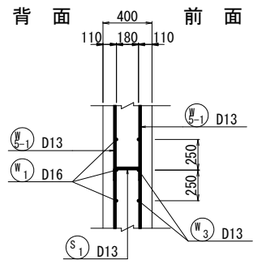


断 面 図
（A － A）

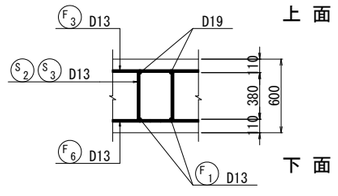


胸 壁 部

背 面　　前 面



底 版 部



福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	11 / 29	縮尺	－
構造細目共通図（1）			

設計年月 2026年 8月

構造細目共通図（土木構造物）

＜ 令和4年版 ＞

※本図面は（一社）全国上下水道コンサルタント協会が著作権を有するものである。
使用にあたっては、上記協会への使用願いの提出と、配布番号の記載が必要である。
枠外右下の【協会員番号】と【配布番号】の記載が無い図面は無効とする。

1　特記事項

1．1　適用範囲

（1）本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の土木構造物に適用する。

（2）図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

1）土木工事特記仕様書	全国上下水道コンサルタント協会	（別紙による。）
2）土木工事共通仕様書	国土交通省中国地方整備局	（令和７年版）
3）コンクリート標準示方書・施工編	土木学会	（2023年版　）
4）コンクリート標準示方書・設計編	土木学会	（2022年版　）

（3）項目は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のない場合は、※ 印のあるものを適用する。⊙印と ※ 印のある場合は、共に適用する。

1．2　鉄筋の仕様及び継手

鉄筋の種類及び継手は１．１表による。

1．1表　鉄筋の種類及び継手

	種別	径
鉄筋の種類	※ SD345 ・ SD390 ・ SD490	※ D13以上 ・
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外
	ガス圧接	※ D19以上の柱、梁主鉄筋 ・ D16以上の増設端の床・壁鉄筋 ・
	機械式継手	・ 図面による

1．3　コンクリートの仕様

コンクリートは１．２表による。

1．2表　コンクリートの仕様

分類	コンクリート種別	設計基準強度（N/mm²）	スランプ（cm）	セメントの種類
鉄筋コンクリート	※ 普通コンクリート ・	※ 24 ・ 30 ・	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・
無筋コンクリート	※ 普通コンクリート ・	※ 18 ・	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・

注１：無筋コンクリートには均しコンクリートを含む。

1．4　砕石基礎工及び均しコンクリート工

砕石基礎工及び均しコンクリートは１．３表による。

1．3表　砕石基礎工及び均しコンクリート工の仕様

種別	厚さ（mm）
砂利または砕石	※ 200 ・
均しコンクリート	※ 100

2　共通事項

2．1　用語の定義

本構造細目共通図中で使用する用語の定義は、２．１表のとおりとする。

2．1表　用語の定義

用語	説明
主鉄筋	各種限界状態を満足させるために計算し、配置される鉄筋
配力鉄筋	応力を分散させる目的で、通常、主鉄筋に対して直角（スラブ、壁部材の場合）に配置される鉄筋
せん断補強鉄筋	せん断力に抵抗するように配置される主鉄筋を拘束する鉄筋
幅止め鉄筋	はりの水平用心鉄筋、スラブ、壁の主鉄筋 あるいは配力鉄筋の厚み方向の間隔を確保するための鉄筋

2．2　一般注意事項

設計図は、監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

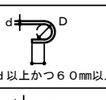
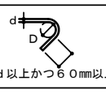
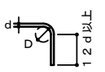
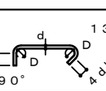
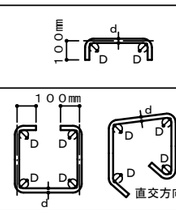
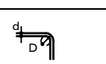
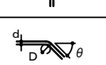
3　鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、３．１表及び３．２表を標準とする。

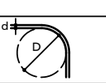
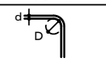
（1）Dは、折曲げ内法直径を示す。

（2）dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

3．1表　鉄筋曲げ加工（1）

位置	曲げ角度	折曲げ図及び折曲げ後の余長	曲げ内法直径	使用箇所
末端部	180°	 4d以上かつ60mm以上	5d以上	定着末端部
	135°	 6d以上かつ60mm以上	5d以上	スターラップ、帯鉄筋、フープ筋　等
	90°		5d以上	
	90° 135°		5d以上	梁 壁 床版 底版 幅止め鉄筋
	90°			
中間部	90°		5d以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
	θ＜90°		10d以上	折曲げ鉄筋

3．2表　鉄筋曲げ加工（2）

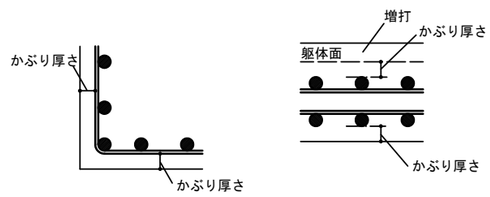
位置	曲げ角度	折曲げ図	曲げ内法直径	使用箇所
最上階	90°		20d以上	ラーメン隅角部
一般階	90°		5d以上	

4　鉄筋のかぶり及び間隔

4．1　かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋を除く）の外面から躯体面までの距離（４．１図）をいう。

鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差１０mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



4．1図　鉄筋のかぶり厚さ

4．2　最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、４．１表による。

床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。

4．1表　鉄筋の最小かぶり厚さ（mm）

※ 通常の施工の場合

環境＼部位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
大気中	50	50	－
水中・土中等	50	70	70

・ 塩害対策地域の施工の場合

対策区分	環境＼部位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底版・フーチング
・ Ⅰ	大気中	70	70	－
	水中・土中等			70
・ Ⅱ,Ⅲ	大気中	50	70	－
	水中・土中等			70

1：部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。
2：杭基礎の底版・フーチング下端筋のかぶり厚さは、７.杭基礎の補強を参照する。

（注）梁：大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。

4．3　鉄筋相互のあき

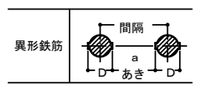
鉄筋相互のあき（a）は、下記（1），（2），（3）の最大値以上とする。

なお、柱部材を設ける場合は、構造細目共通図（複合構造物）（２）を参照すること。

（1）粗骨材の最大寸法の　4／3　倍

（2）最小のあき２０mm

（3）異形鉄筋の直径（呼び名）



（注）D：鉄筋の最外径　d：鉄筋直径（呼び名）

4．2図　鉄筋のあき

5　鉄筋の継手及び定着

5．1　鉄筋の継手及び定着

5．1．1　継手長及び定着長の基本

（1）鉄筋の重ね継手長さは5．１表、定着の長さは、５．２表による。

①本表の適用は、鉄筋種類ＳＤ３４５、鉄筋径Ｄ１３～Ｄ３２とする。

②定着長は折曲げ加工後の直線部分で確保する。

③壁、床版、底版の主鉄筋の中心間隔が１００mm未満の場合は、別途図示による。

5．1表　鉄筋の重ね継手長さ

鉄筋の種類	鉄筋径	設計基準強度	S1：重ね継手長			
			鉄筋中心間隔200mm以上		100mm以上200mm未満	
			フックなし	フックあり	フックなし	フックあり
SD345	D16以下	24以上27未満（N/mm²）	40・d	30・d	50・d	40・d
	D19～D22		45・d	35・d	60・d	50・d
	D25以上		50・d	40・d	65・d	55・d

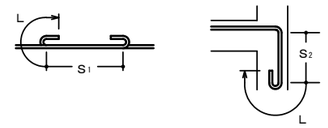
5．2表　鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	鉄筋径	設計基準強度	S2：定着長	
			フックなし	フックあり
SD345	D16以下	24以上27未満（N/mm²）	40・d	30・d
	D19～D22		50・d	40・d
	D25以上		60・d	50・d

（2）径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。

（3）継手は相互にずらすことを原則とする。

（4）フックのある場合の継手長及び定着長には、５．１図に示すようにフック部分Ｌを含まない。



5．1図　フックのある場合の定着及び継手要領

5．1．2　継手の特記事項

（1）　継手は極力応力の小さい位置に設ける。

（2）　異なる径の鉄筋をガス圧接する場合、鉄筋径の差が５mmを超える圧接をしてはならない。

5．2　隣り合う継手の位置

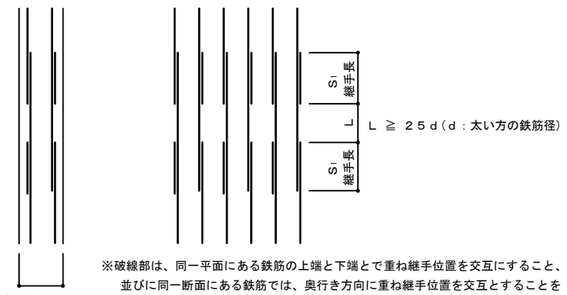
5．2．1　鉄筋の重ね継手

（1）　同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。

（2）　ずらす距離（Ｌ）は、太い方の鉄筋径の２５倍以上とする。

（3）　前記（1）を確保できない場合は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。

（4）　継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。



※破線部は、同一平面にある鉄筋の上端と下端とで重ね継手位置を交互にすること、並びに同一断面にある鉄筋では、奥行き方向に重ね継手位置を交互とすることをそれぞれ示す。

5．2図　重ね継手工法

福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	12 / 29	縮尺	－
構造細目共通図（2）			

設計年月 2026年 8月

5．2．2 鉄筋のガス圧接および機械式継手

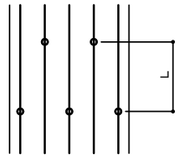
鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は土木学会「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」（土木学会）による。機械式継手は、ねじふし鉄筋継手工法とする。また、ねじふし鉄筋継手工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。

（1）同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。

（2）ガス圧接の場合のずらす距離（L）は、太い方の鉄筋径の２５倍以上とする。

（3）機械式継手のずらす距離（L）は、太い方の鉄筋径の２５倍以上とする。

（4）機械式継手をイモ継ぎ部に使用する場合は、継手性能はＳＡ級かつ継手信頼度をI種とする。



Ｌ ≧ ２５ｄ（ｄ：太い方の鉄筋径）

5．3図　ガス圧接継手工法及び機械式継手工法

6　配筋要領

6．1　壁

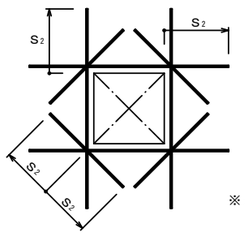
6．1．1 一般事項

（1）壁の鉄筋の継手及び定着は、５．１項及び５．２項に基づくものとする。

（2）幅止め鉄筋の鉄筋径及び間隔は、図面による。

6．1．2 壁開口部の補強

（1）壁開口部の補強は、図面による。補強鉄筋の長さ及び位置は、６．１図を標準とする。



※：鉄筋径及び本数は、図面による

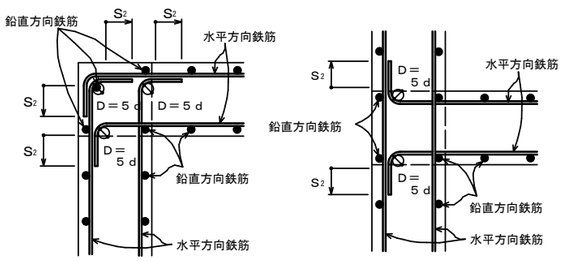
6．1図　壁開口部の補強要領

（2）開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強鉄筋を省略することができる。

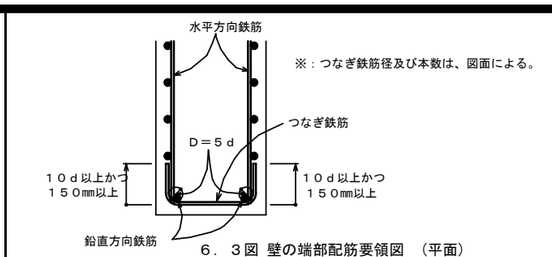
6．1．3 壁と壁の交差部及び端部

（1）壁と壁の交差部の鉄筋加工要領は、６．２図による。

（2）壁の端部の鉄筋加工要領は、６．３図による。



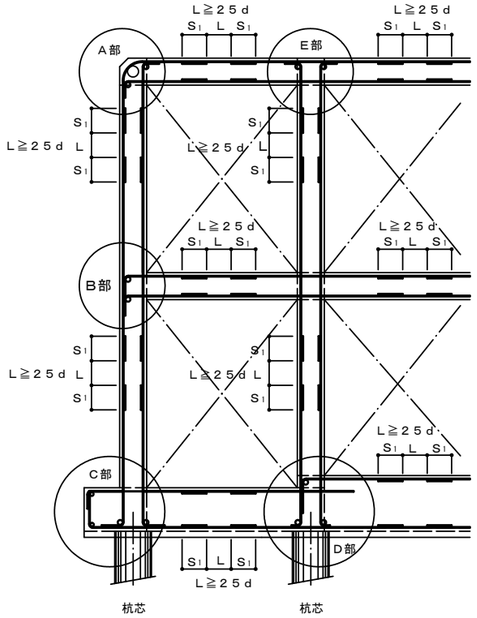
6．2図 壁と壁の交差部配筋要領図　（平面）



6．3図 壁の端部配筋要領図　（平面）

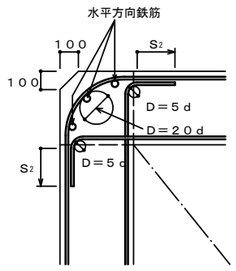
6．1．4 壁と床版・底版の交差部

（1）壁と床版の交差部は、６．４図及び６．５図による。

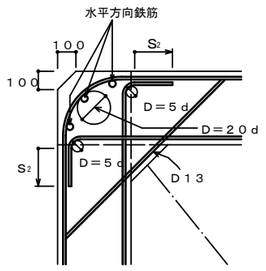


注１：重ね継手は、応力の小さい位置とする。

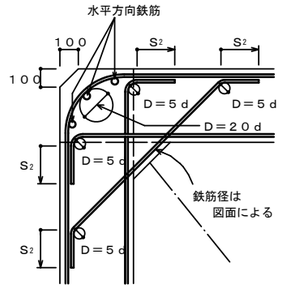
6．4図 壁と床版・底版の交差部配筋要領図　（断面）



Ａ１．ハンチなし

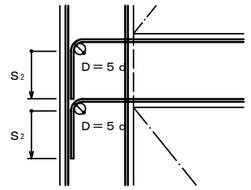


Ａ２．ハンチあり、定着なし

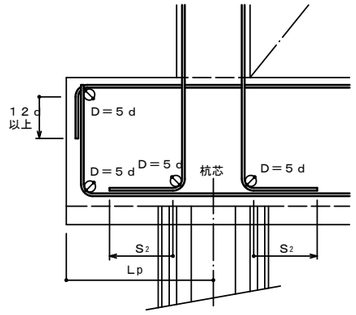


Ａ３．ハンチあり、定着あり

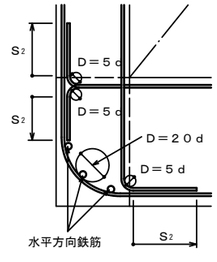
（1）Ａ部詳細図



（2）Ｂ部詳細図

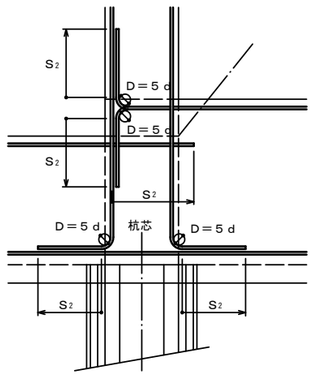


Ｃ１．杭あり



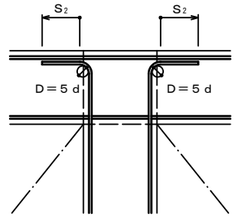
Ｃ２．杭なし

（3） Ｃ部詳細図



※配筋要領は杭あり、杭なしとも同一

（4）Ｄ部詳細図



（5）Ｅ部詳細図

凡例

・Ｄ：鉄筋の曲げ内法直径

・ｄ：鉄筋直径（呼び名）

・S1，S2 ： ５．１表のとおりであり、折曲げ加工後の直線長で確保する長さ

注１：Ａ部以外においてハンチを設ける場合は、ハンチ筋についてＡ部に準じた配筋とする。

注２：ハンチを設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合はＡ２を、図面に指示がある場合はＡ３を適用する。

注３：Ｃ部の杭なしの場合、及びＤ部において、底版上端筋の曲げ定着は下方に取ることを原則とするが、部材厚等の関係で直線状にＳ　定着長が確保できない場合は、上方に取ることでよいものとする。

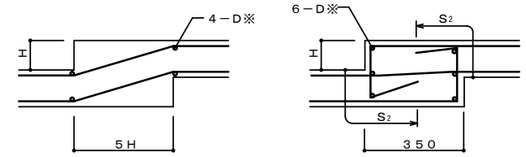
注４：Lp は、場所打杭・打ち込み杭・埋め込み杭は１．０Ｄ（Ｄは杭径）以上とする。

6．5図 壁と床版・底版の交差部配筋詳細図　（断面）

6．2　床

6．2．1 段差床版の補強

（1）同一床版に段差がある場合、６．６図の補強を行う。

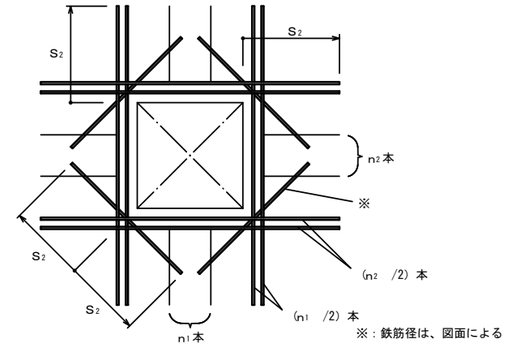


※：鉄筋径は、図面による。

6．6図　同一床版に段差がある場合の補強要領図（断面）

6．2．2 床版開口部の補強

（1）床版開口部の補強は開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には斜め方向に主鉄筋径以上の鉄筋を上下筋の内側に配筋する。（６．７図）

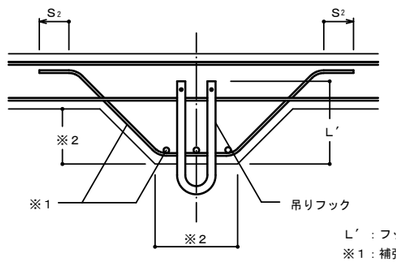


※：鉄筋径は、図面による

6．7図　床版開口部の補強要領図（平面）

（2）開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強鉄筋を省略することができる。

6．2．3 吊りフックが取り付く場合の補強



L′：フック埋め込み長さ

※１：補強鉄筋は、図面による

※２：部材寸法は、図面による

6．8図　吊りフック取り付け部補強要領図（断面）

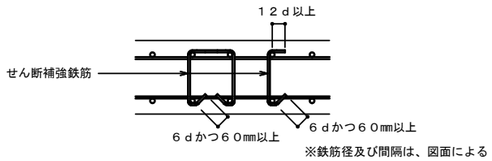
福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	13 / 29	縮尺	－
構造細目共通図（3）			

設計年月 2026年 8月

６．３　せん断補強鉄筋

６．３．１　底版・床版

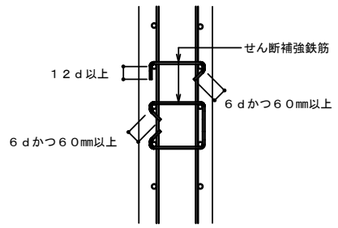
（１）底版・床版のせん断補強要領は６．９図及び６．１１図による。



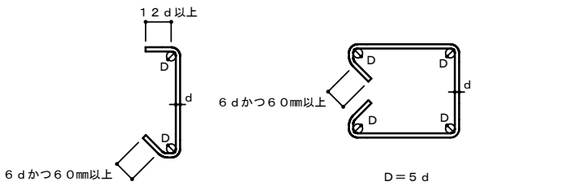
６．９図　底版・床版せん断補強要領図（断面）

６．３．２　壁

（１）壁のせん断補強要領は、６．１０図及び６．１１図による。



６．１０図　壁せん断補強要領図（断面）



６．１１図　せん断補強鉄筋加工要領図（断面）

６．４　柱及び梁

柱及び梁を設ける場合の配筋要領は、図面による。

７　杭基礎の補強

７．１　一般事項

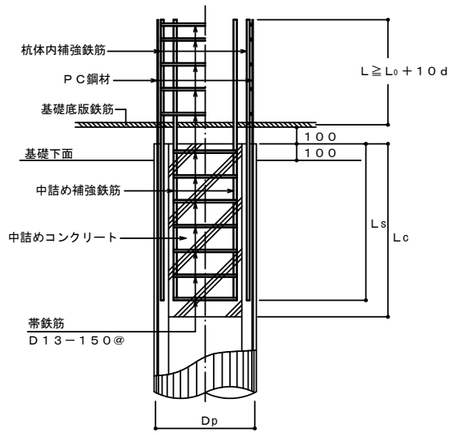
（１）補強鉄筋にＳＤ３９０またはＳＤ４９０を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底版コンクリートの設計規準強度を３０Ｎ/㎟ 以上とする。

（２）鉄筋種別、径・本数は、図面による。

（３）杭基礎の補強鉄筋の定着長Ｌ は、ＳＤ３４５及びＳＤ３９０では３５ｄ以上、ＳＤ４９０では４１ｄ以上とする。

（４）杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合は、７．６図による。

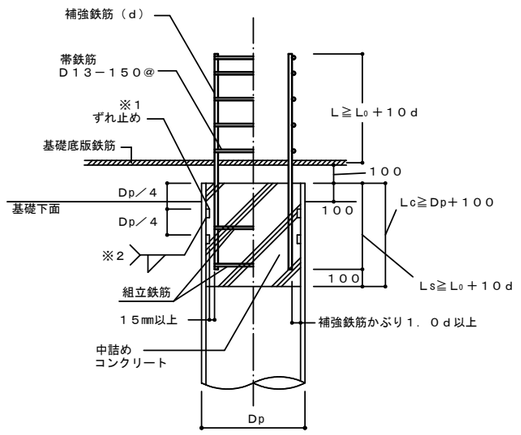
（５）杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



杭頭処理形態		Ｔｙｐｅ　Ｂ
カットオフする場合	鉄筋	Ls≧５０φ＋L0＋１０ｄ
	コンクリート	Lc≧２．５Dp＋１００、かつ５０φ＋L0＋１０ｄ＋（かぶり１００）
カットオフしない場合	鉄筋	Ls≧L0＋１０ｄ
	コンクリート	Lc≧２．５Dp＋１００、かつL0＋１０ｄ＋（かぶり１００）

注１．φは、ＰＣ鋼材径とする。

７．１図　ＰＨＣ杭の杭頭補強



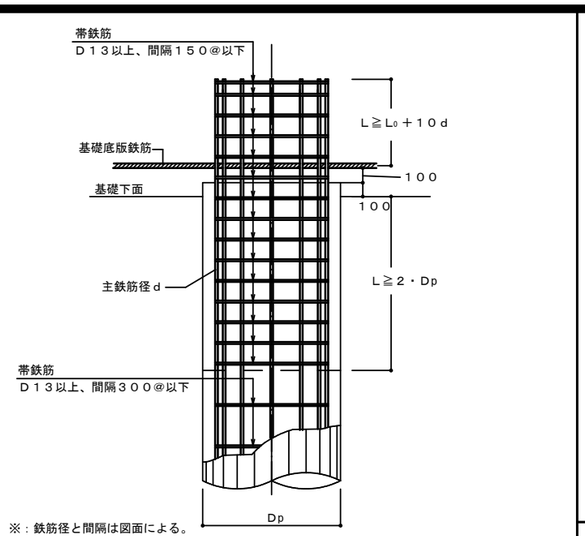
※１：ずれ止めの大きさは、７．１表による。
※２：全周現場すみ肉溶接

７．２図　鋼管杭の杭頭補強

７．１表　杭体内外ずれ止めプレートの肉厚

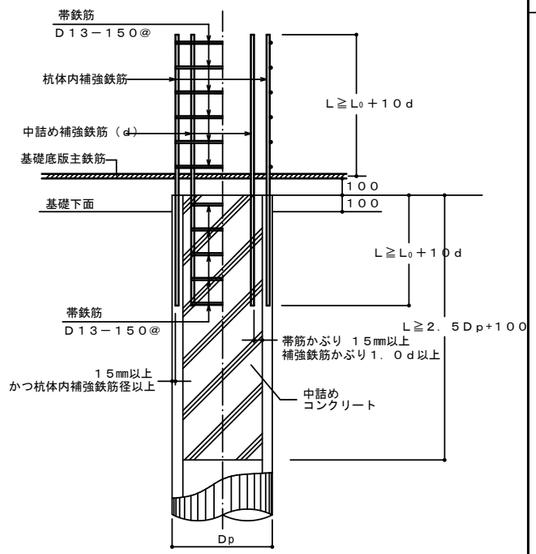
杭　径　（Dp）	ずれ止め厚さ
Dp＜８００	９
８００≦Dp＜１２００	１２
１２００≦Dp＜１５００	１６

※材質はＳＳ４００

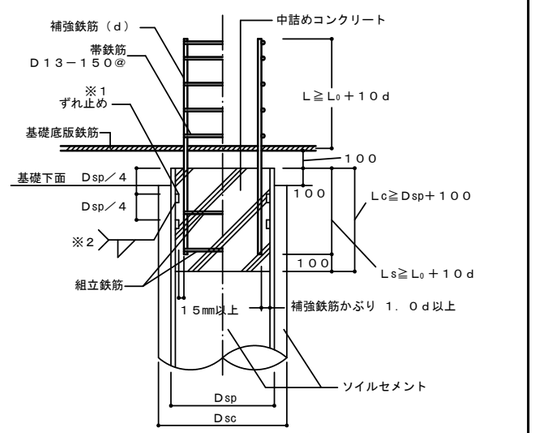


※：鉄筋径と間隔は図面による。

７．３図　場所打ち杭の杭頭補強

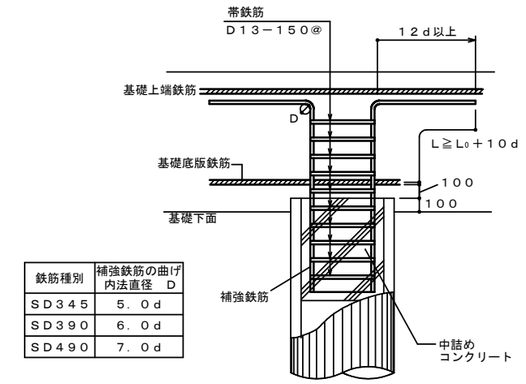


７．４図　ＳＣ杭の杭頭補強



※１：ずれ止めの大きさは、７．１表による。
※２：全周現場すみ肉溶接

７．５図　鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強



鉄筋種別	補強鉄筋の曲げ内法直径　D
ＳＤ３４５	５．０ｄ
ＳＤ３９０	６．０ｄ
ＳＤ４９０	７．０ｄ

７．６図　杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合の杭頭補強

８　増設予定端

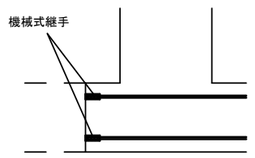
８．１　増設予定端の配筋

（１）増設端鉄筋の継手工法は、Ｄ１６以上をガス圧接、Ｄ１３を重ね継手とすることを原則とし、８．１図のａ）、ｂ）による。部材寸法及び鉄筋の径と間隔は図面による。

（２）増設端の鉄筋を保護するコンクリート強度は１８Ｎ/㎟ とする。

（３）Ｄ１３以上の鉄筋について機械式継手を用いる場合は、８．１図のｃ）による。
機械式継手の仕様は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」（土木学会）によるものとし、継手部の詳細及び継手単体に必要な特性を図面に示す。

ａ）　ガス圧接継手の場合　　ｂ）　重ね継手の場合



ｃ）　機械式継手（Ａ級以上）

※鉄筋径は図面による。
※機械式継手は、Ｄ１３以上を対象とする。
※機械式継手をイモ継ぎに使用する場合は、構造計算書等により当該箇所に塑性ヒンジが発生しないことを確認する必要がある。施工上やむを得ず機械式継手によるイモ継ぎとなる場合は、継手部が所要の耐震性を有していることを、適切な実験や解析等で照査しなければならない。詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]（土木学会）」による。

８．１図　増設予定端配筋要領図（断面）

福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	14 / 29	縮尺	－
構造細目共通図（4）			

設計年月 2026年 8月

9　耐震補強

9．1　適用範囲

（1）本構造細目共通図は、下水道施設における処理場、ポンプ場の土木構造物の耐震補強に適用する。

（2）図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

1）土木工事特記仕様書	全国上下水道コンサルタント協会	（別紙による。）
2）土木工事共通仕様書	国土交通省中国地方整備局	（令和 8 年版）
3）コンクリート標準示方書・施工編	土木学会	（2023年版）
4）コンクリート標準示方書・設計編	土木学会	（2022年版）
5）官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説	建築保全センター	（平成 8 年版）
6）鉄筋定着・継手指針	土木学会	（2020年版）
7）2017年改訂版　既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説	日本建築防災協会	（2017年版）
8）あと施工アンカー連続繊維補強設計・施工指針	国土交通省	（2006年版）

9．2　鉄筋の仕様及び継手

鉄筋の種類及び継手は9．2表による。

9．2表　鉄筋の種類及び継手

	種別	径
鉄筋の種類	※ SD345	※ D13以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外
	ガス圧接（※1）	・ D19以上の柱、梁主鉄筋 ・ D16以上の増設端の床・壁鉄筋 ・
	フレアー溶接	・ D13以上
	機械式継手	・ 図面による

※1）既存の鉄筋種別がSR235，295及びSD295Aの場合は、SD材との継手にガス圧接を使用してはならない。

9．3　鉄筋の継手長及び定着長

SD345以外の鉄筋との継手長・定着長については図面による。

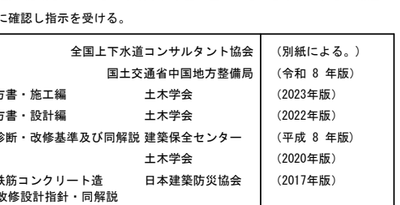
9．4　あと施工アンカー（接着系）

（1）アンカー径は、D13以上、D22以下とする。

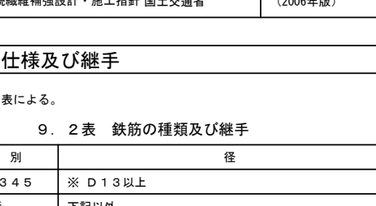
（2）アンカーの打設は、増設壁が接合する四周の柱、梁に行うことを原則とする。

（3）アンカーの埋め込み・定着長さを9．4表に示す。

（ナット付き）



（ナットなし）



9．4．1図　あと施工アンカー埋め込み・定着図

L　：コンクリートの穿孔深さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ

Le：アンカーの有効埋め込み長さ

Ld　：アンカー筋の全長

Ln：有効定着長さ

Da：既存コンクリート躯体への穿孔径

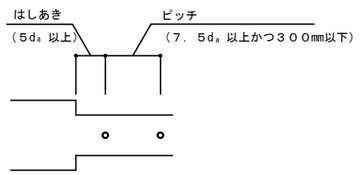
d_a　：アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

S_1：補強筋との継手長

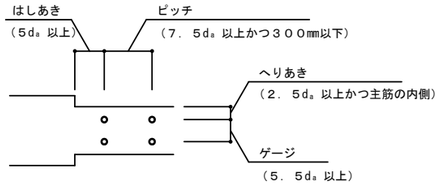
9．4表　あと施工アンカー埋め込み・定着長さ

区分	位置	用途	長さ	備考
有効埋め込み長（Le）	一般部	曲げモーメント	12・d_a	先端形状45°カット
		せん断力	7・d_a	
	開口補強部	曲げモーメント	12・d_a	
		せん断力	10・d_a	
有効定着長（Ln）	一般部	－	20・d_a	ナットあり
	開口補強部	－	S_1 ＋ 5・d_a	ナットなし

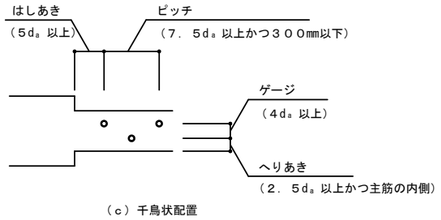
（あと施工アンカーの位置と間隔）



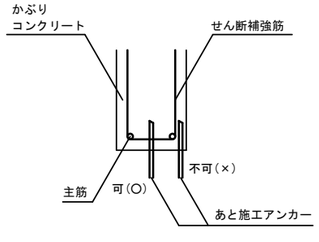
（a）シングル配置



（b）ダブル配置



（c）千鳥状配置



（d）断面配置

9．4．2図　あと施工アンカー配置図

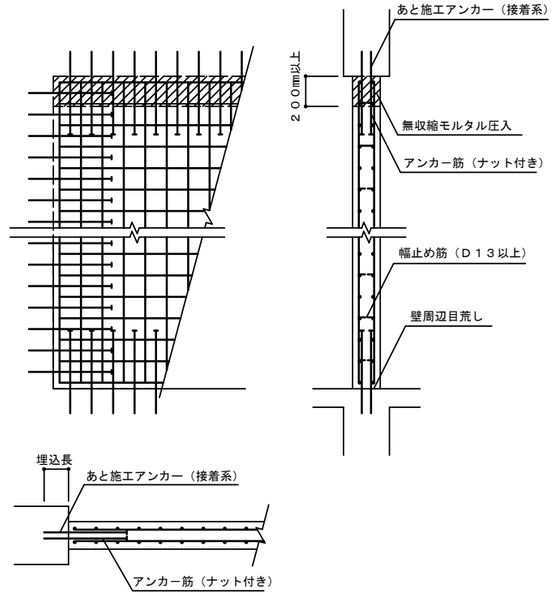
9．5　新設補強壁

（1）新設補強壁の配筋は9．5図を標準とする。

（2）新設部と接する既存の壁面には目荒しを施す。

（3）あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。

（4）新設壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。



9．5図　新設補強壁要領図

9．6　増打ち補強壁ほか

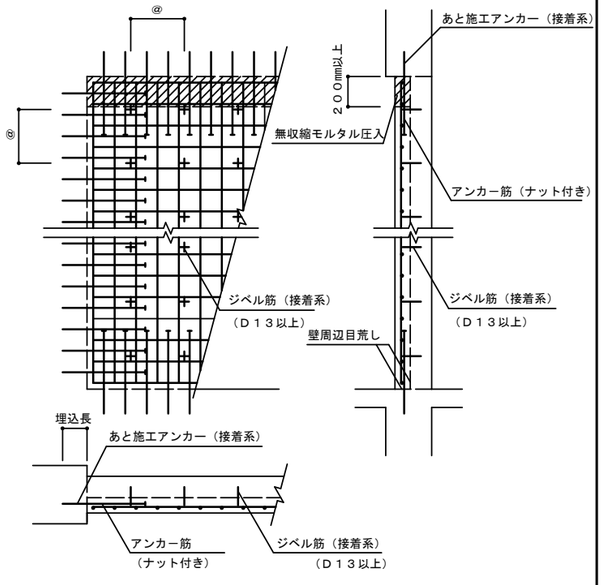
（1）増打ち補強壁の配筋は9．6図を標準とする。

（2）あと施工アンカーは接着系とし、開口補強部を除き、アンカー筋はナット付きとする。

（3）増打ち部と接する既存の壁面を目荒しするほか、新旧の壁面にジベル筋を設けるものとし、配置間隔は図面による。

（4）増打ち壁の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。

（5）梁下端部や垂れ壁下端部の施工では、コンクリートのブリーディングや沈下を考慮して、打継目が一体となるように留意する。



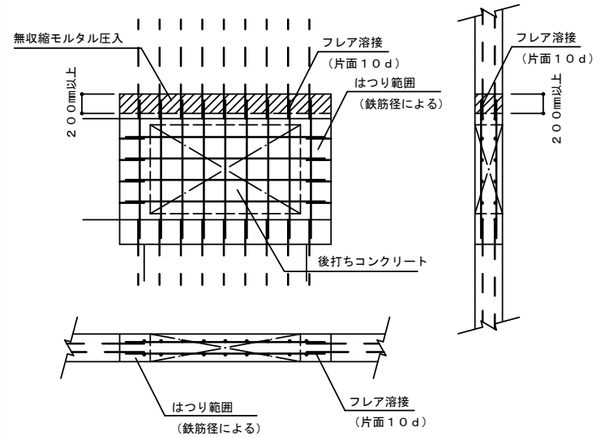
9．6図　増打ち補強壁要領図

9．7　開口閉塞

（1）既存壁と増設壁との接合は、開口周囲のコンクリートをはつり、鉄筋同士をフレア溶接で行う。

（2）閉塞部分が既存梁、柱と接する部位は全てあと施工アンカーで接合する。

（3）閉塞部分の頂部200mm以上は、無収縮モルタル圧入とする。



はつり範囲例　mm

壁の鉄筋径	はつり幅
D13	200
D16	200
D19	300
D22	300
D25	300

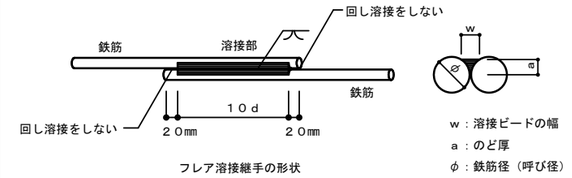
9．7図　開口閉塞要領図

9．8　フレア溶接

（1）特記なき鉄筋のフレア溶接の継手形状を9．8図に示す。

（詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」（土木学会）による。）

（2）継手長さは鉄筋径の10倍とし、回し溶接は行わない。



フレア溶接継手の形状

9．8図　フレア溶接継手形状

福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	15 / 29	縮 尺	図示
護床ブロック構造図 （参考図）			

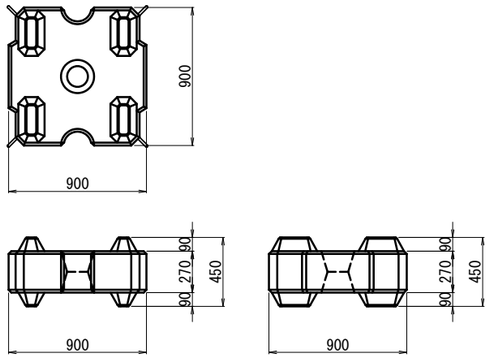
設計年月 2026年 8月

護床ブロック構造図

（参考図）

ブロック規格図　S=1:20

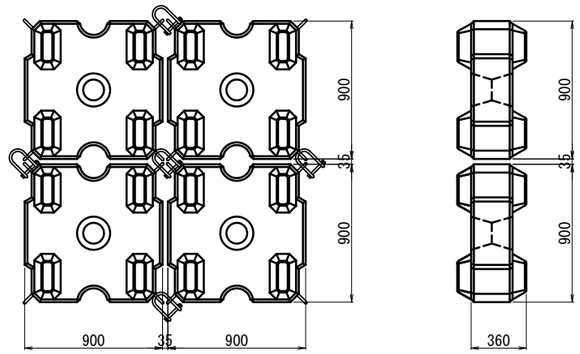
I 型

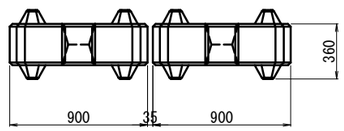


1個当り

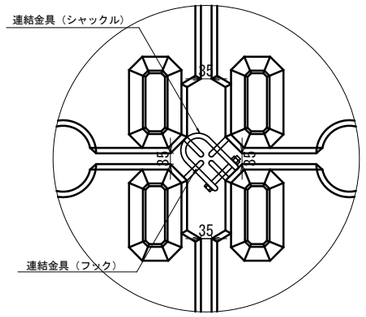
呼　び　名	主要寸法 長さ×幅×高さ（mm）	体積（m3）	参考質量（ｔ）	型枠面積（㎡）
I 型0.5ｔ型	900×900×450	0.213	0.489	2.61

標準配列図　S=1:20

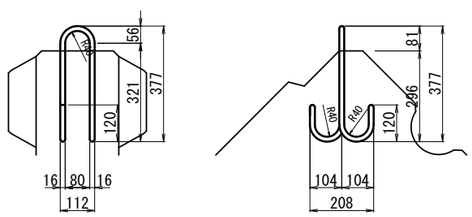




連結部詳細図　S=1:10

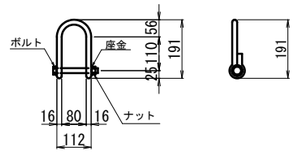


連結鉄筋(フック)　S=1:10



連結金具（フック）φ16　L＝1.11m　1.75kg

連結鉄筋(シャックル)　S=1:10



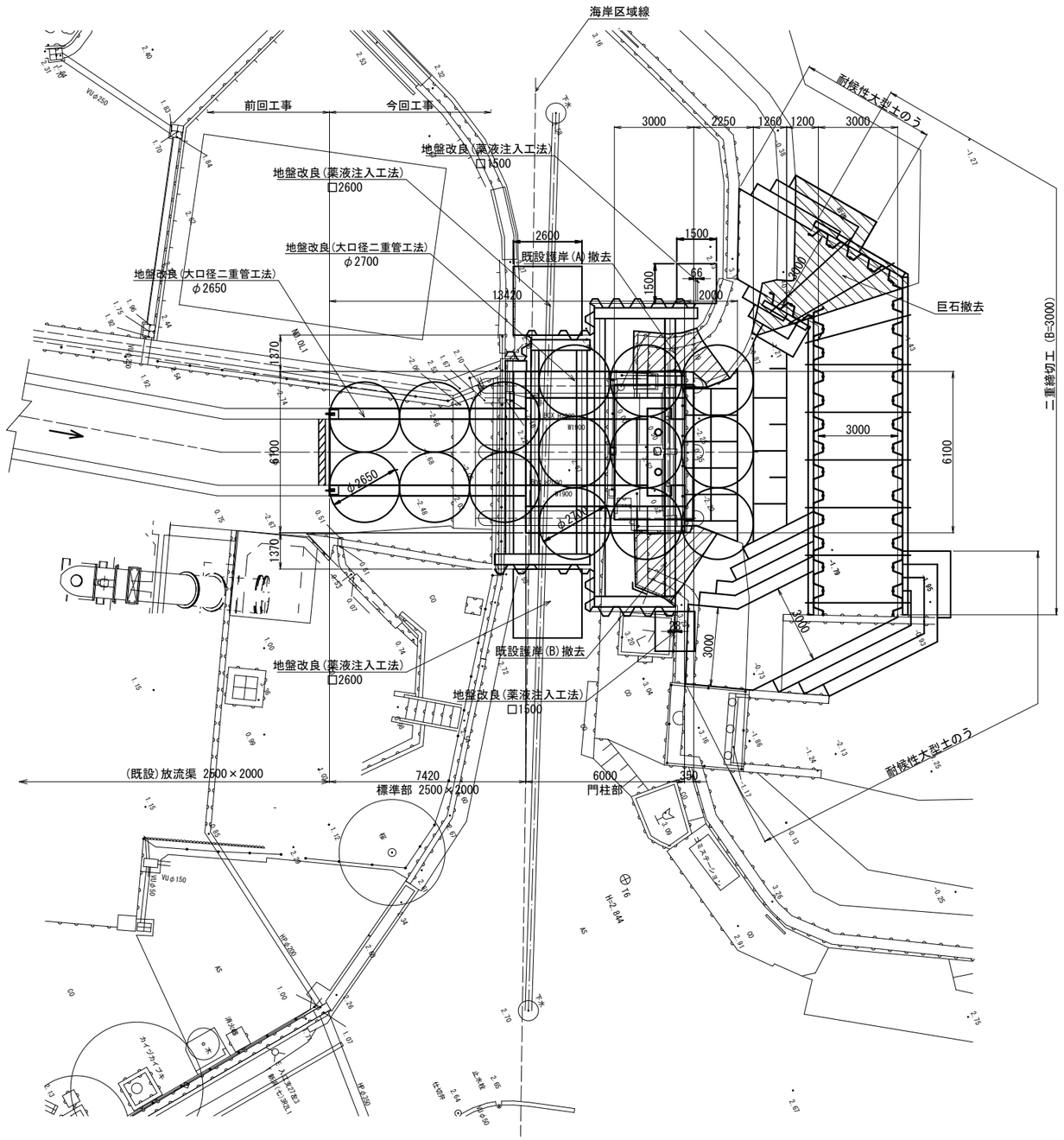
連結金具（シャックル）φ16　L＝0.60m　1.18kg

福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	16 / 29	縮尺	1/100
仮設及び地盤改良図（1）			

設計年月 2026年 8月

仮設および地盤改良図(1)

平面図 S=1/100



地盤改良(高圧噴射撹拌工法)

形状	施工基面	上端標高	下端標高	長さ	本数
φ2650	▽-2.050	▽-2.520	▽-12.100	9580	6
φ2700	▽-2.050	▽-2.720	▽-12.100	9380	9

記)施工にあたっては、▽-2.050まで盛土を行う事。

地盤改良(薬液注入工法)

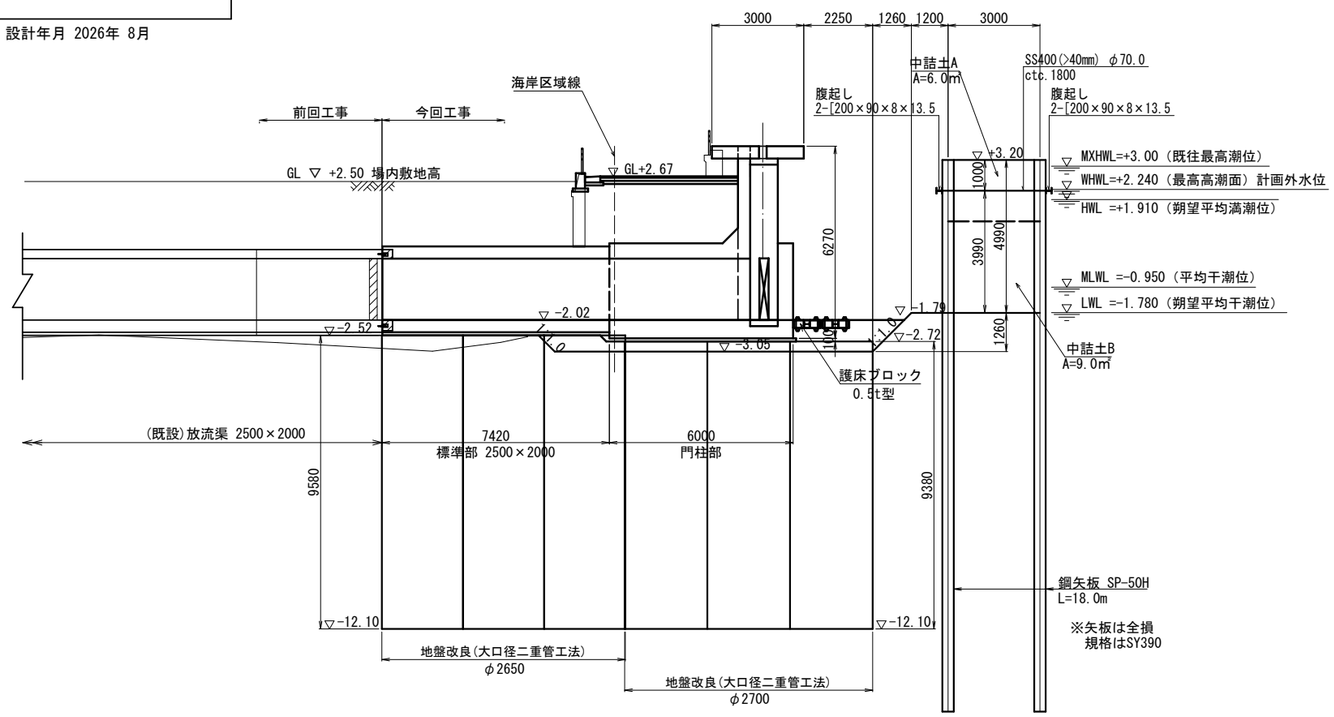
形状	施工基面	上端標高	下端標高	長さ	本数
□1500	▽+2.670	▽+1.910	▽-9.190	11100	3本/箇所
□2600	▽+2.670	▽+1.910	▽-9.190	11100	7本/箇所

福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	17 / 29	縮尺	1/100
仮設及び地盤改良図（2）			

設計年月 2026年 8月

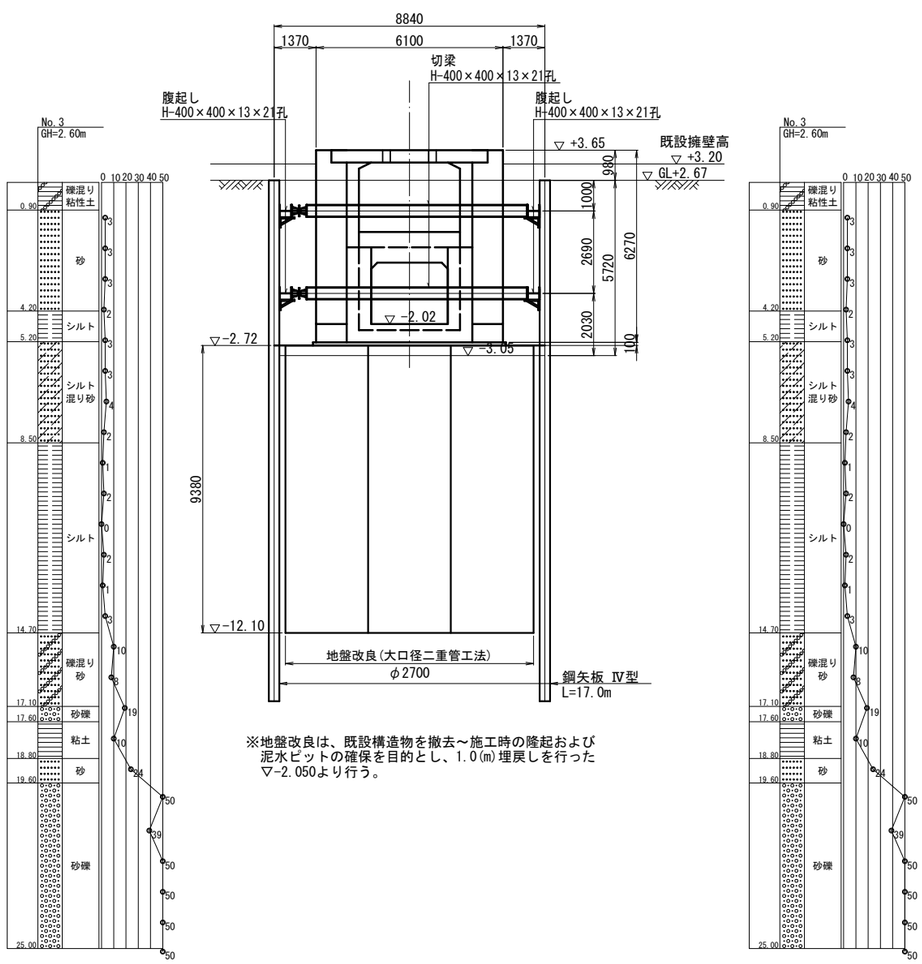
仮設および地盤改良図(2)

側面図 S=1/100



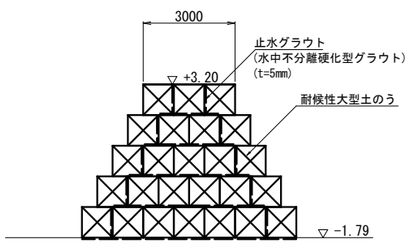
※▽-3.050
床付け標高は既設排水樋門の底高さ(推定値)である。

門柱部 S=1/100

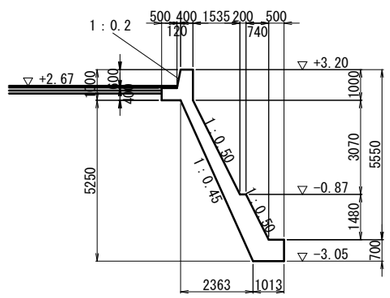


※地盤改良は、既設構造物を撤去～施工時の隆起および泥水ピットの確保を目的とし、1.0(m)埋戻しを行った▽-2.050より行う。

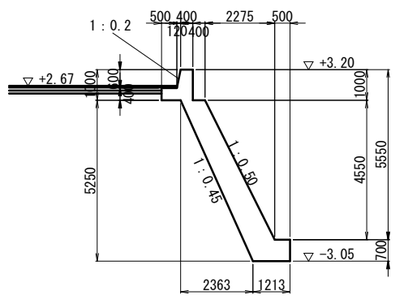
耐候性大型土のう部 S=1/100



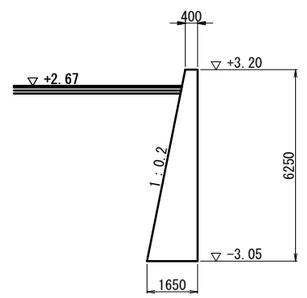
既設護岸(A) S=1/100



既設護岸(B) S=1/100



既設護岸(C) S=1/100



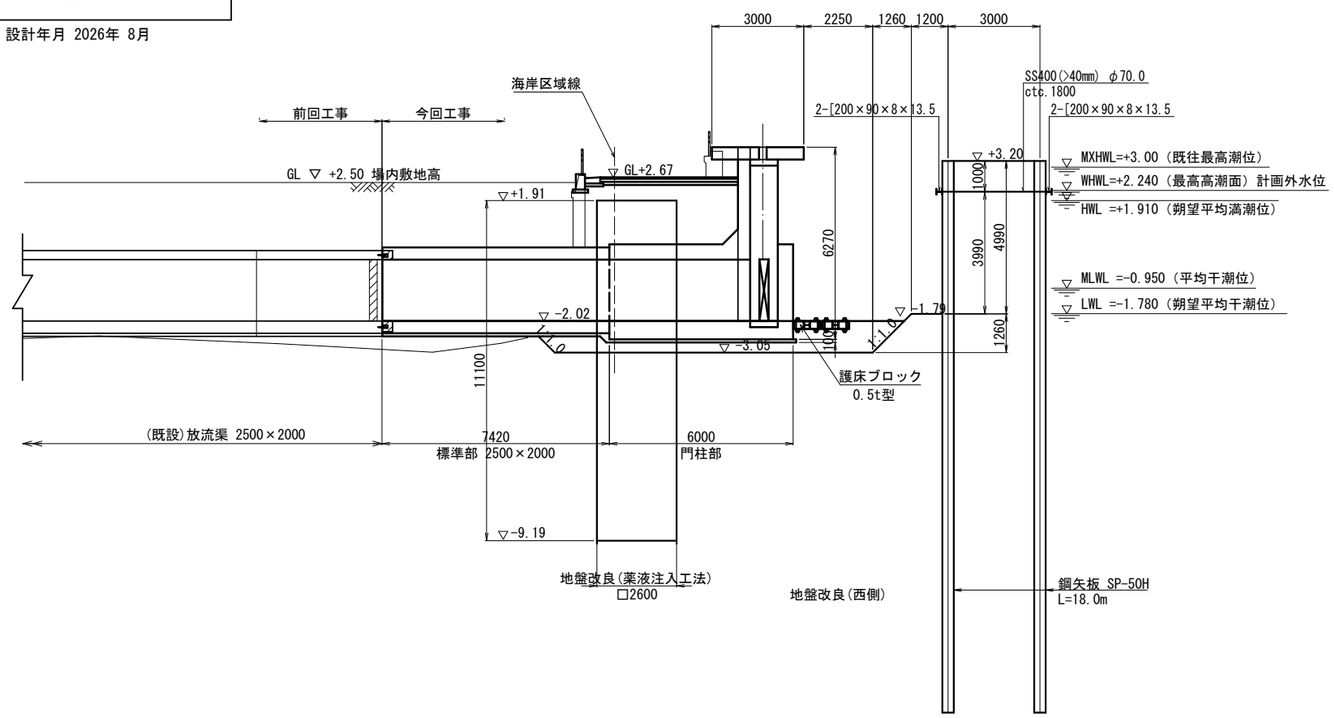
※既設護岸(A～C)断面は、港湾施設台帳からの読み取り図面であり、現地施工時に形状を確認すること。

福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	18 / 29	縮 尺	1/100
仮設及び地盤改良図 (3)			

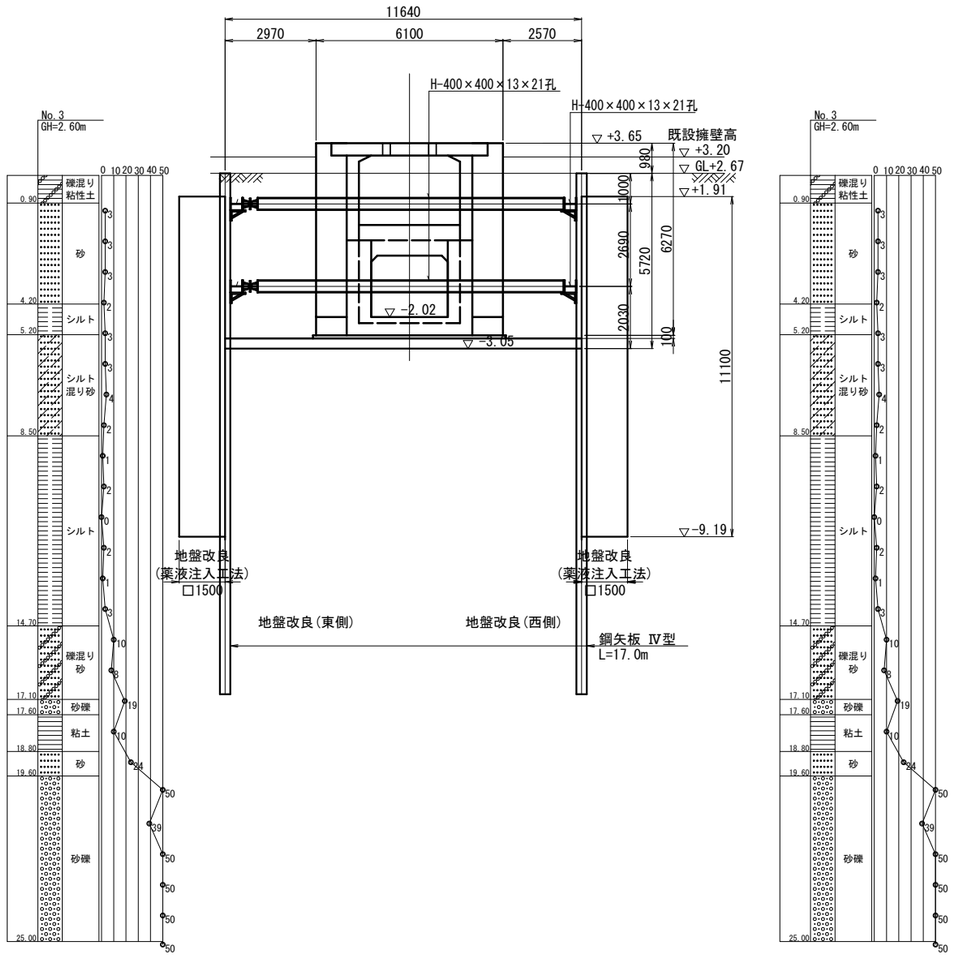
設計年月 2026年 8月

仮設および地盤改良図(3)

側 面 図 S=1/100



門 柱 部 S=1/100

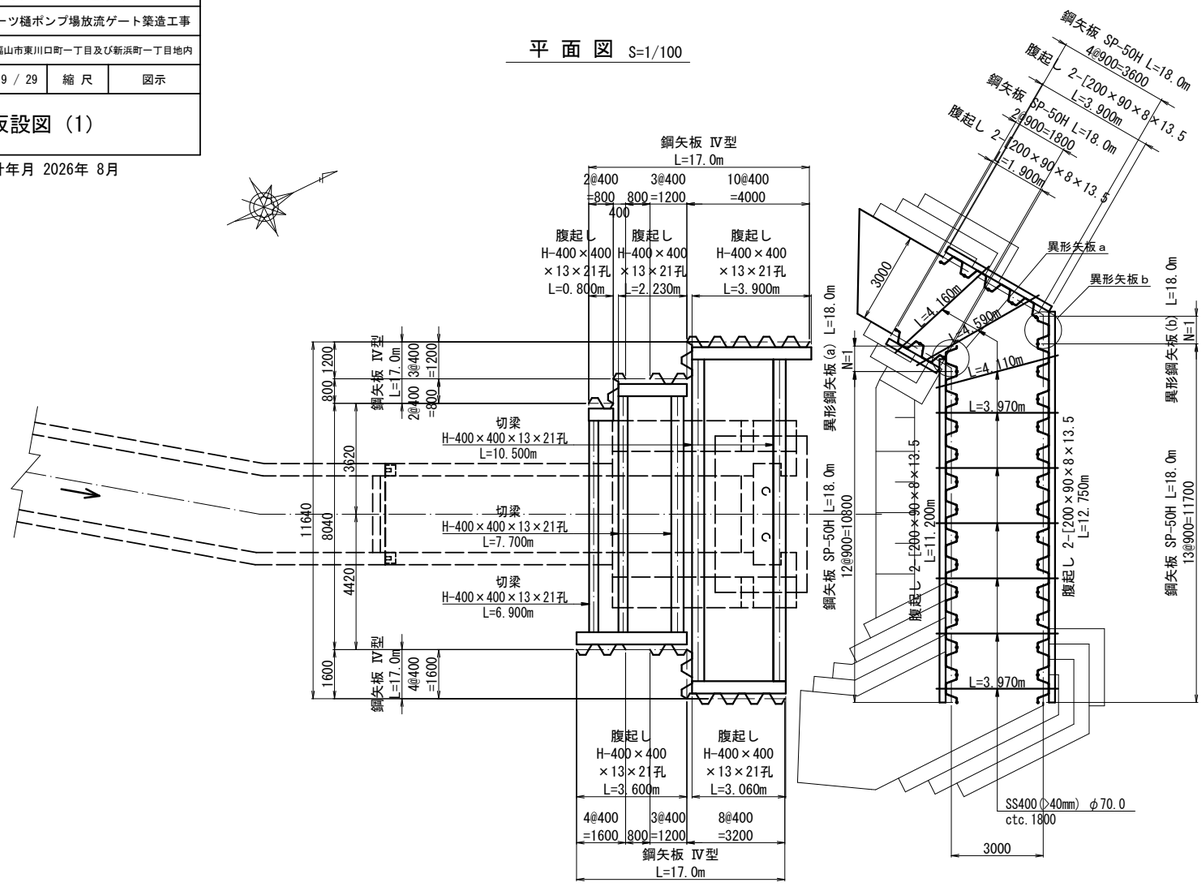


福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	19 / 29	縮尺	図示
仮設図（1）			

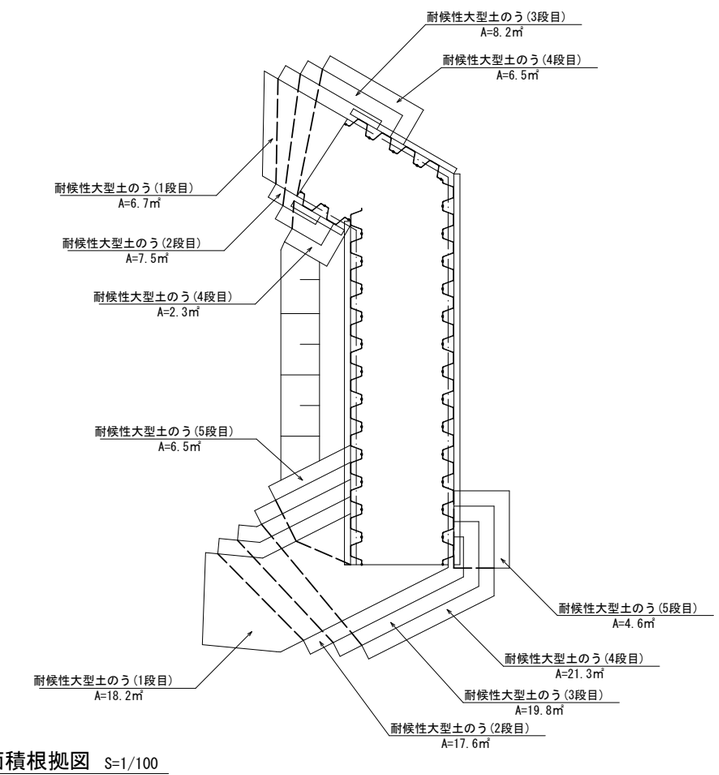
設計年月 2026年 8月

仮設図(1)

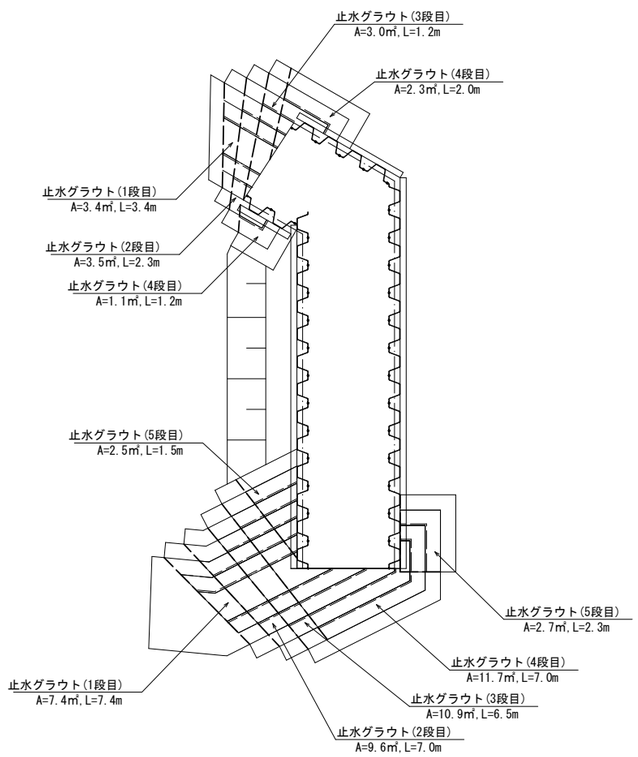
平面図 S=1/100



耐候性大型土のう面積根拠図 S=1/100

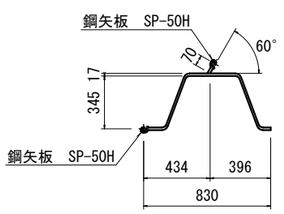


止水グラウト面積根拠図 S=1/100

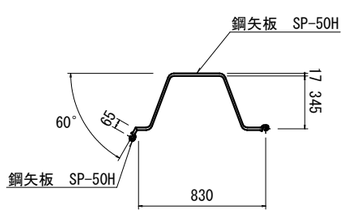


異形鋼矢板詳細図 S=1/20

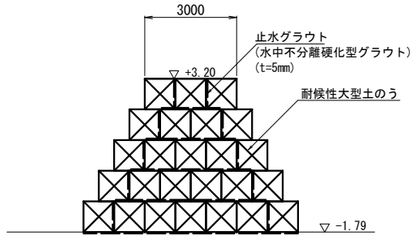
a部



b部



耐候性大型土のう部 S=1/100



福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	20 / 29	縮 尺	1/100
仮設図 (2)			

設計年月 2026年 8月

仮設図(2)

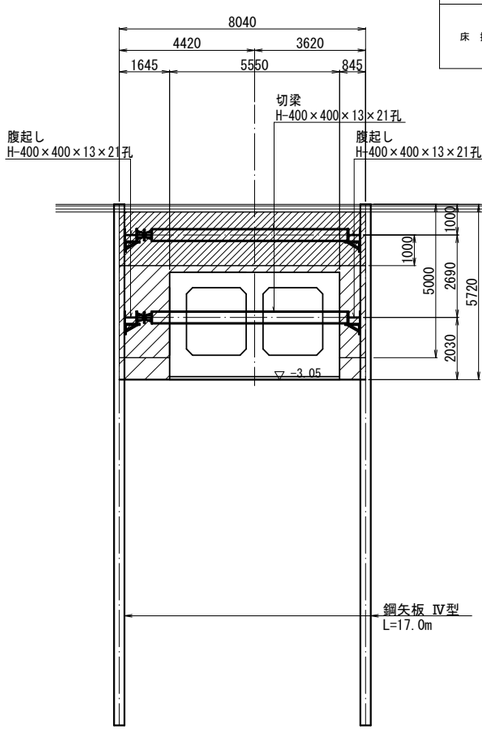
既設樋門撤去時

土 工 凡 例

項　目		
床 掘	A	
	B	
	C	

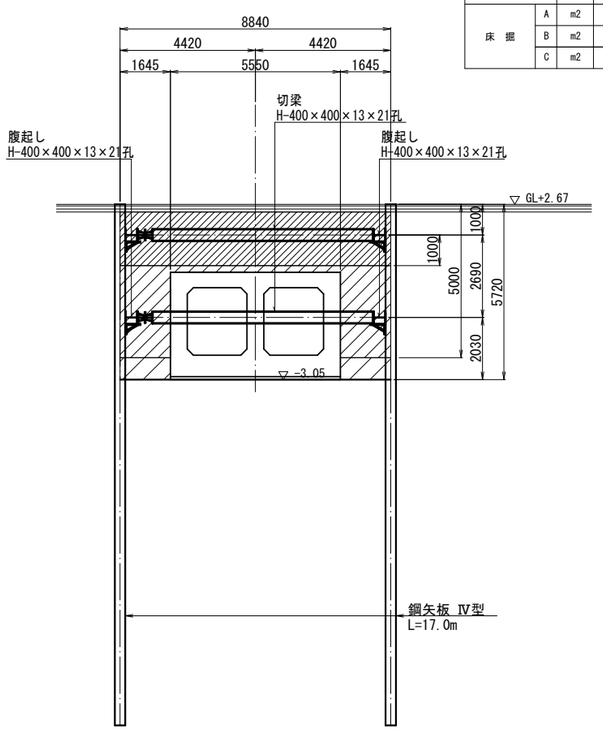
BOX部 S=1/100

項　目		単位	数 量
床 掘	A	m2	14.1
	B	m2	8.7
	C	m2	1.8



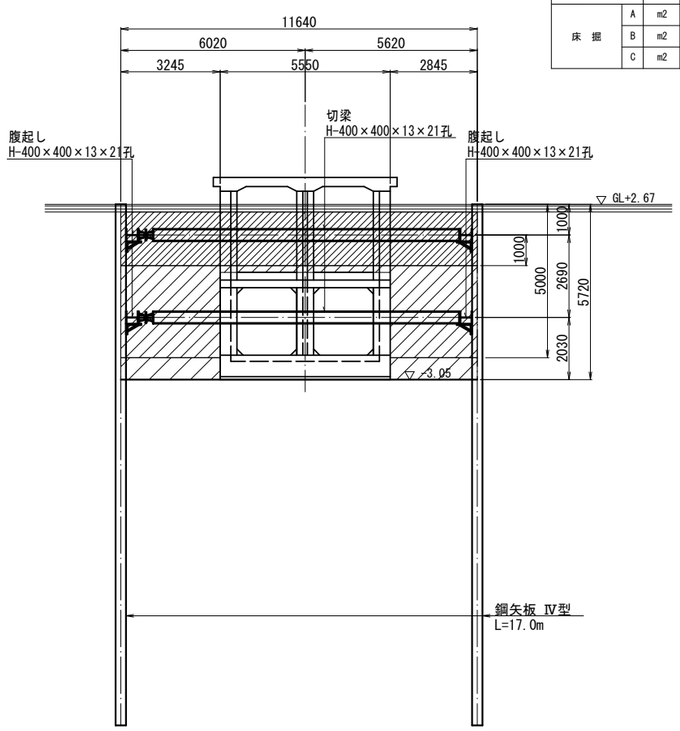
門柱BOX部 S=1/100

項　目		単位	数 量
床 掘	A	m2	15.5
	B	m2	11.1
	C	m2	2.4



門 柱 部 S=1/100

項　目		単位	数 量
床 掘	A	m2	20.4
	B	m2	19.5
	C	m2	4.4



福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	21 / 29	縮尺	1/100
仮設図（3）			

設計年月 2026年 8月

仮設図(3)

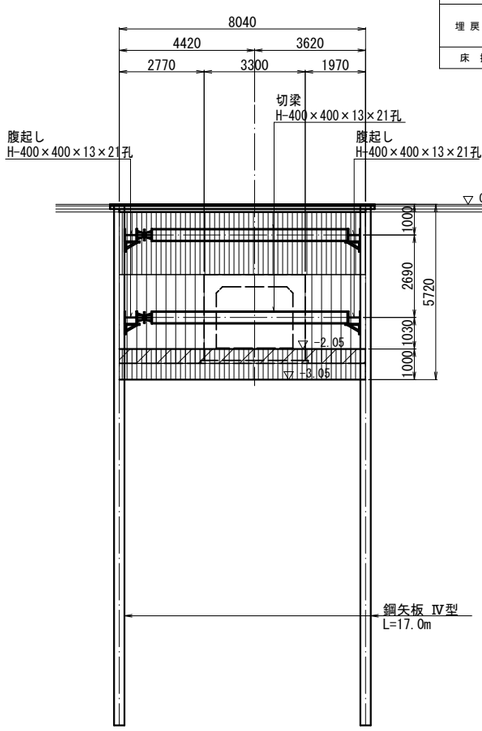
樋門施工時

土工凡例

項目		
埋戻し	A	
	C	
床掘	C	

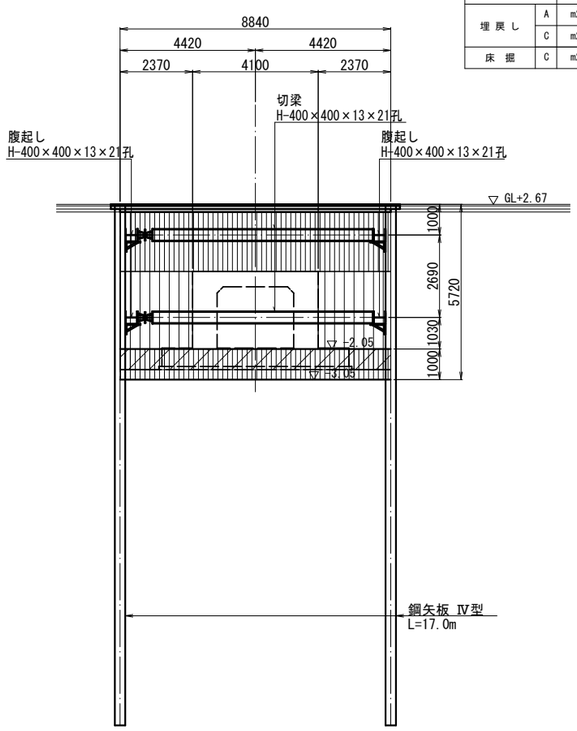
BOX部 S=1/100

項目		単位	数量
埋戻し	A	m2	24.4
	C	m2	13.7
床掘	C	m2	3.8



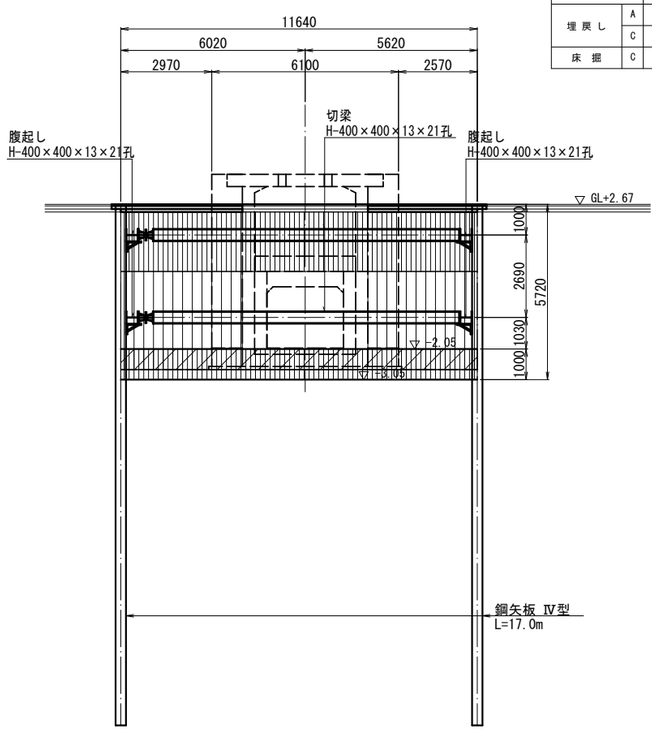
門柱BOX部 S=1/100

項目		単位	数量
埋戻し	A	m2	25.9
	C	m2	13.7
床掘	C	m2	5.9



門柱部 S=1/100

項目		単位	数量
埋戻し	A	m2	34.2
	C	m2	22.7
床掘	C	m2	7.8

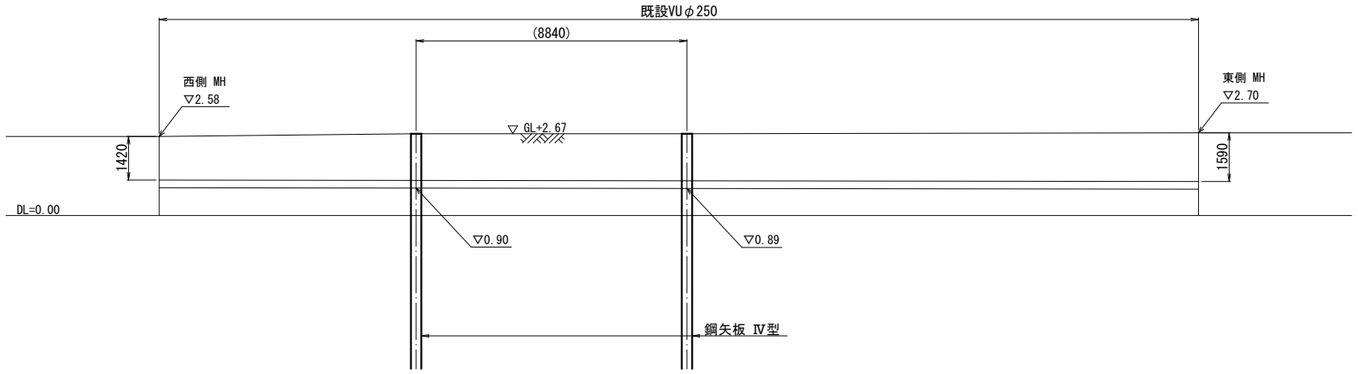


福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	22 / 29	縮 尺	1/100
仮設図 (4)			

設計年月 2026年 8月

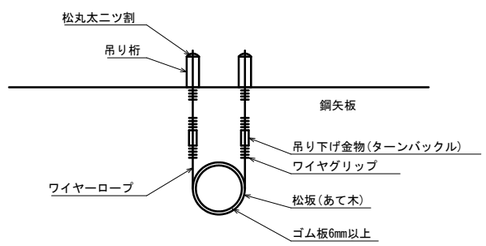
仮設図(4)

吊防護縦断面図 S=1/100

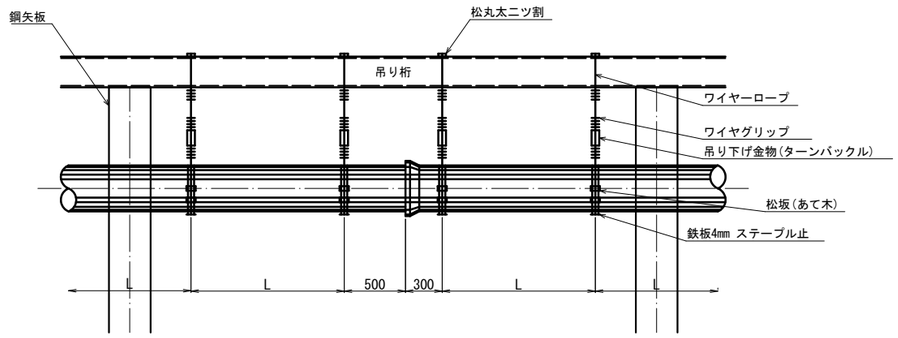


吊防護詳細図
(参考図)

断 面 図 S=1/100



側 面 図 S=1/100



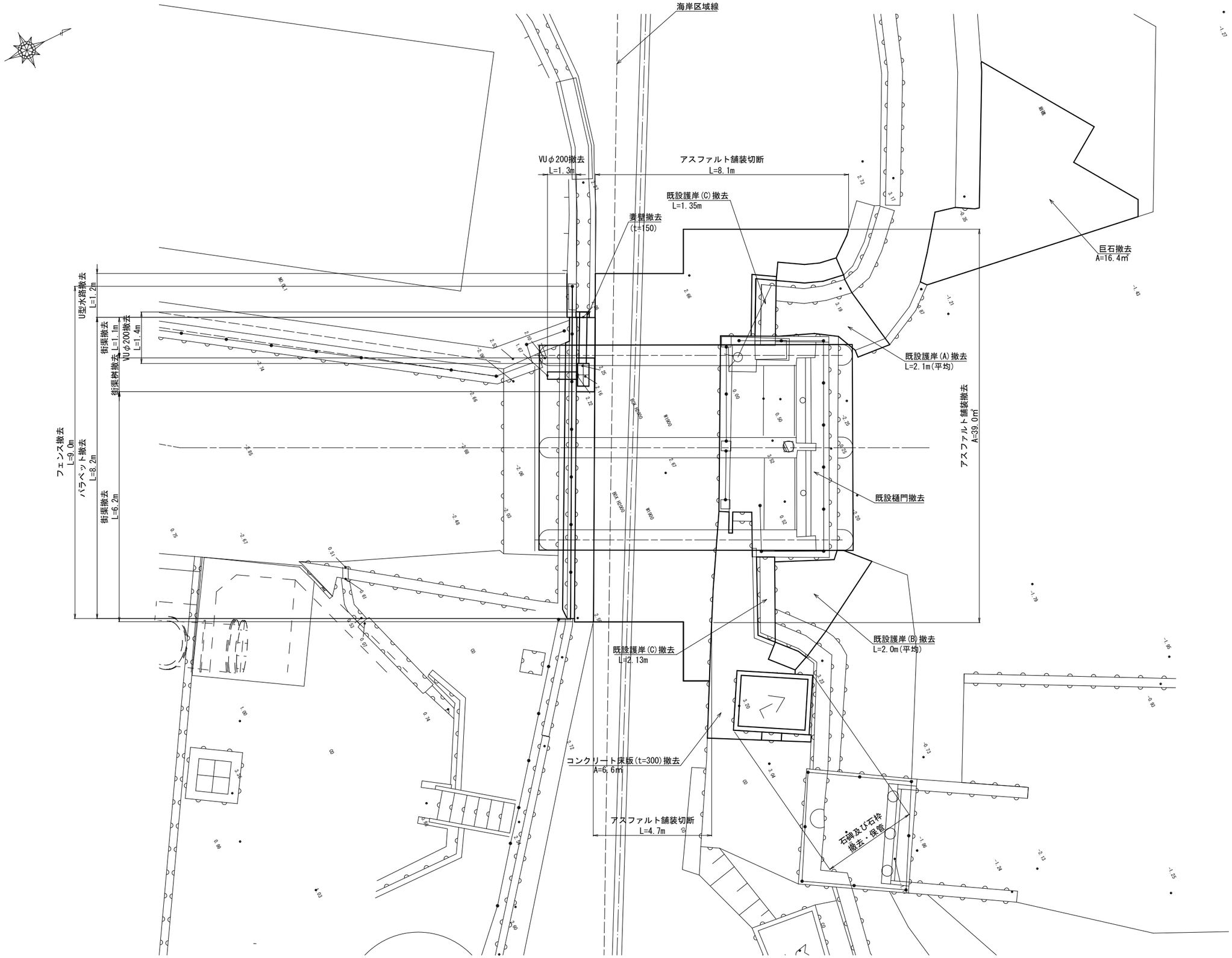
呼び径 D(mm)	吊り間隔 L(mm)	ワイヤーロープ (mm)以上	吊り下げ金物 (ターンバックル) (mm)以上	ワイヤグリップ		松 坂	吊り桁(溝形鋼)
				記 号	数 量		
250	2,000	8	9	FR-8	4コ	100×50×30	200×80×7.5×11

※吊り桁は、鋼矢板天端に設置すること。

福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	23 / 29	縮 尺	1/50
撤去平面図			

設計年月 2026年 8月

撤去平面図　S=1/50



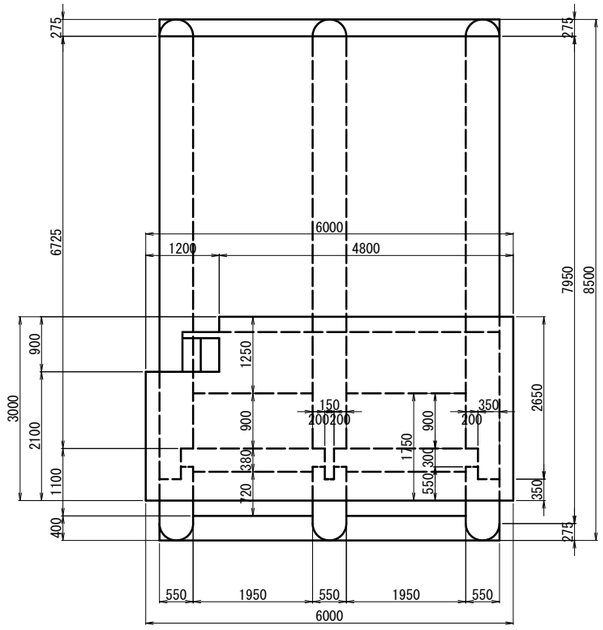
福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	24 / 29	縮 尺	1/50
撤去構造図（1）			

設計年月 2026年 8月

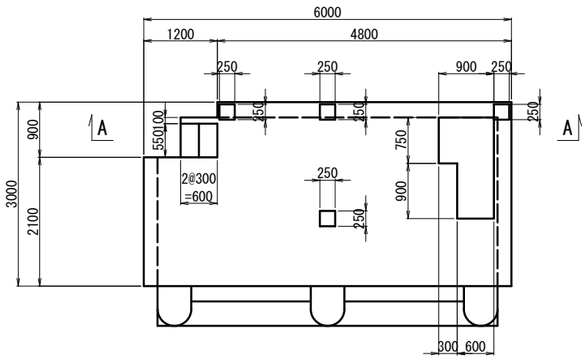
撤去構造図(1)　S=1/50

（参考図）

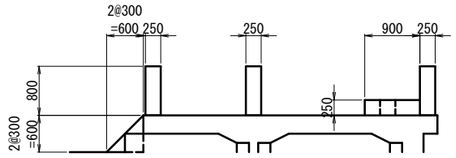
平 面 図



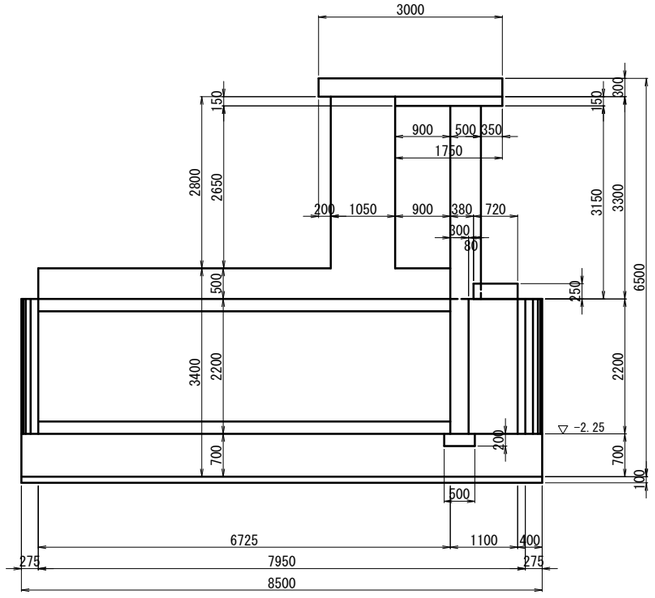
操作台平面図



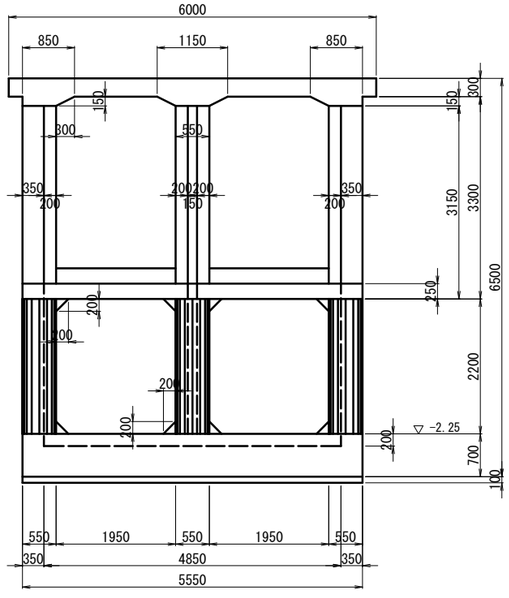
A-A断面図



側 面 図



正 面 図

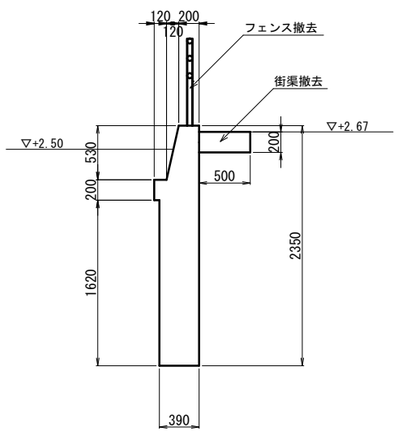


福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	25 / 29	縮尺	1/30
撤去構造図（2）			

設計年月 2026年 8月

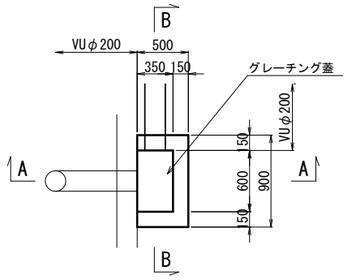
撤去構造図(2)

パラペット

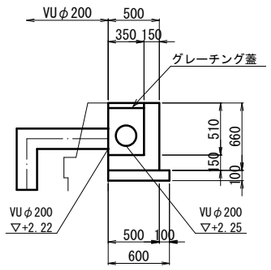


街渠桝

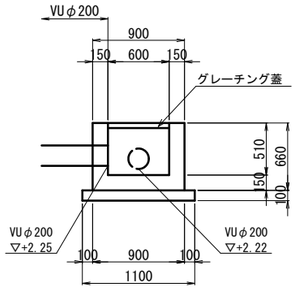
平面図



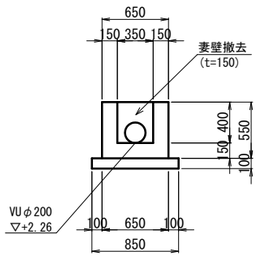
A－A



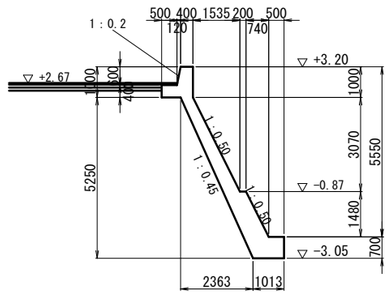
B－B



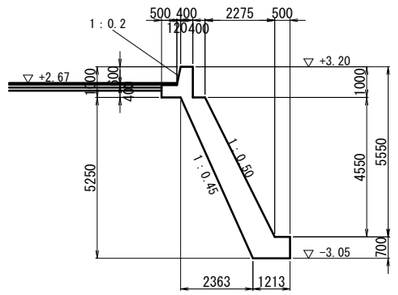
U型水路



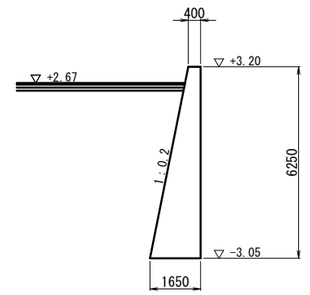
既設護岸(A) S=1/100



既設護岸(B) S=1/100



既設護岸(C) S=1/100

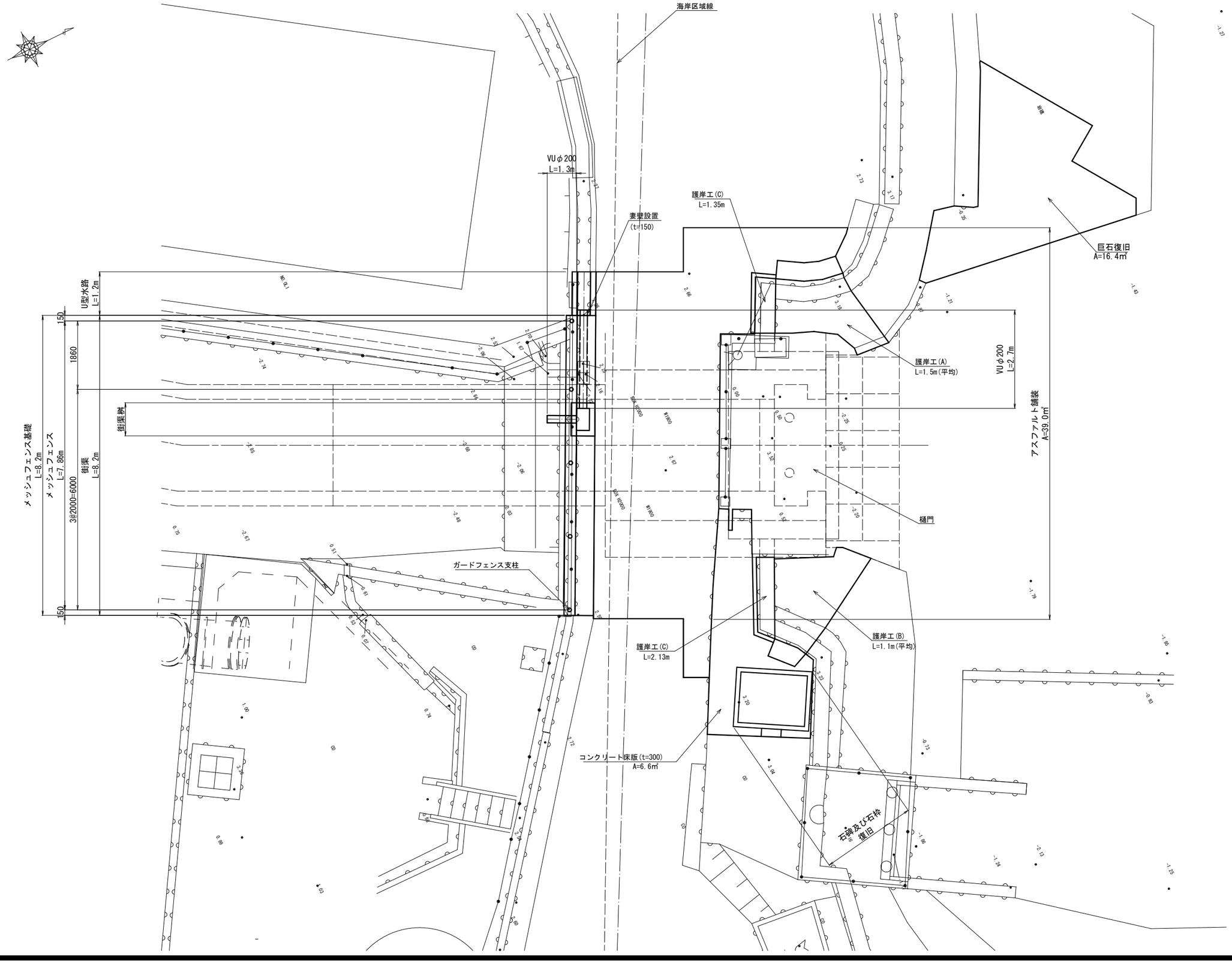


※既設護岸(A～C)断面は、港湾施設台帳からの読み取り図面であり、現地施工時に形状を確認すること。

福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	26 / 29	縮 尺	1/50
付帯工平面図			

設計年月 2026年 8月

付帯工平面図　S=1/50

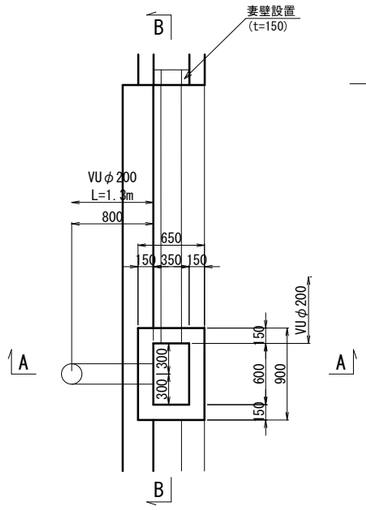


福 山 市 上 下 水 道 局			
2026年度　下水道事業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図 面 番 号	27 / 29	縮 尺	図示
付帯工構造図			

設計年月 2026年 8月

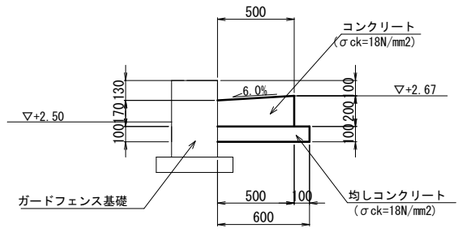
付帯工構造図

平面図



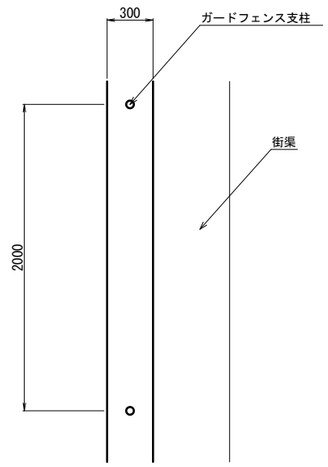
街渠桝 S=1/30

街渠断面 S=1/20

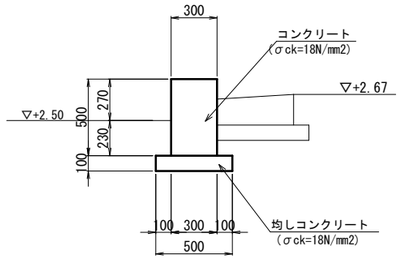


メッシュフェンス基礎 S=1/20

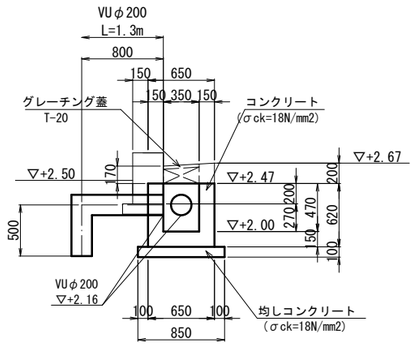
平面図



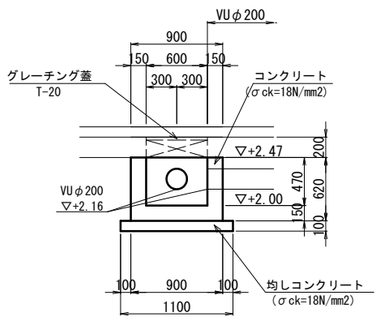
断面図



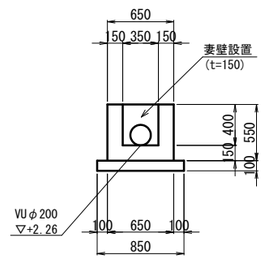
A － A



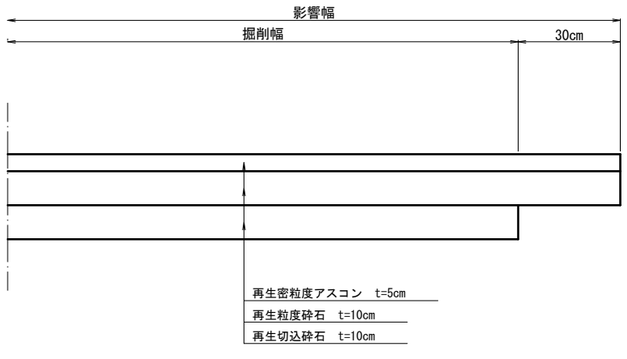
B － B



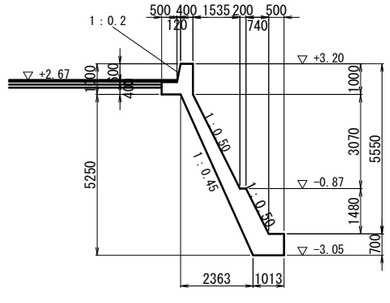
U型水路 S=1/30



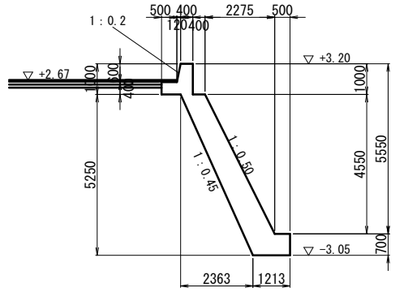
アスファルト舗装 S=1/10



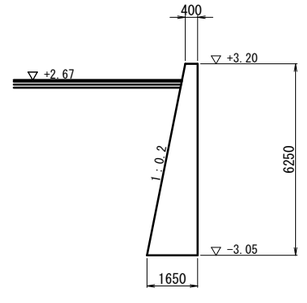
既設護岸(A) S=1/100



既設護岸(B) S=1/100



既設護岸(C) S=1/100



※既設護岸(A～C)断面は、港湾施設台帳からの読み取り図面であり、現地施工時に形状を確認すること。

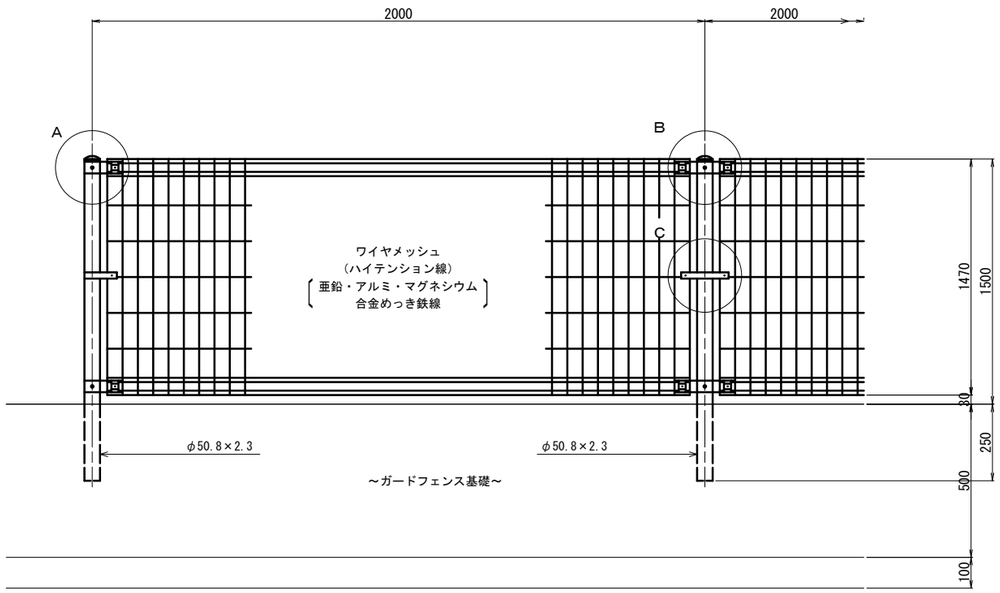
福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	28 / 29	縮尺	図示
メッシュフェンス構造図 （参考図）			

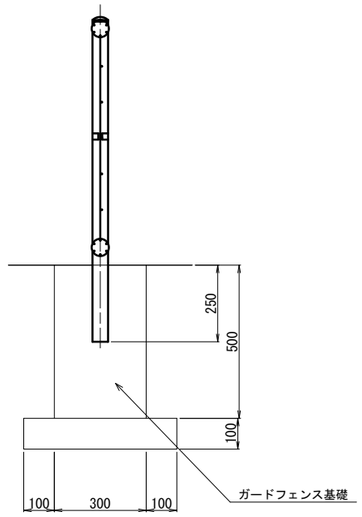
設計年月 2026年 8月

メッシュフェンス構造図

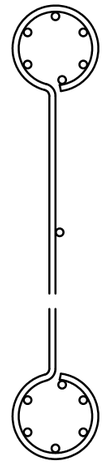
（参考図）

正面図 S=1/10



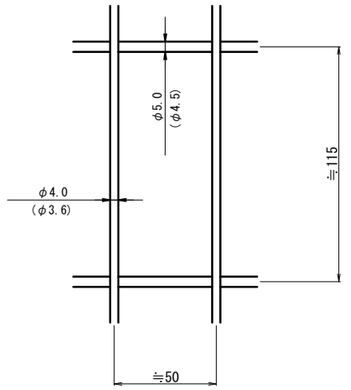


パネル断面図

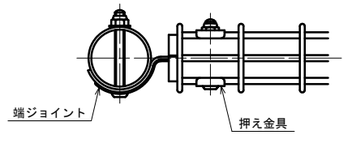


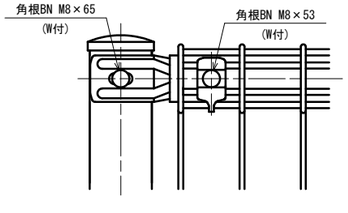
ワイヤメッシュ図

（ ）内は芯径を示す。

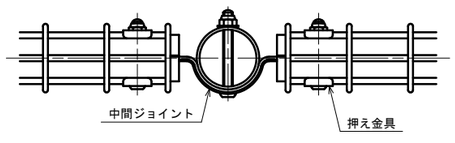


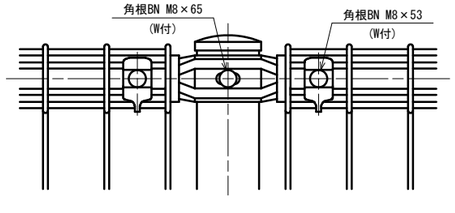
A部取付図 S=1/5



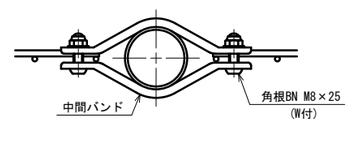


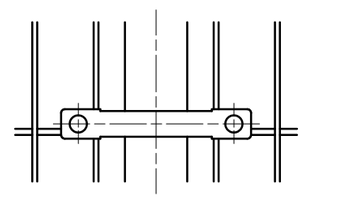
B部取付図 S=1/5





C部取付図 S=1/5





設計条件
　設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のＰ種の荷重に依る。

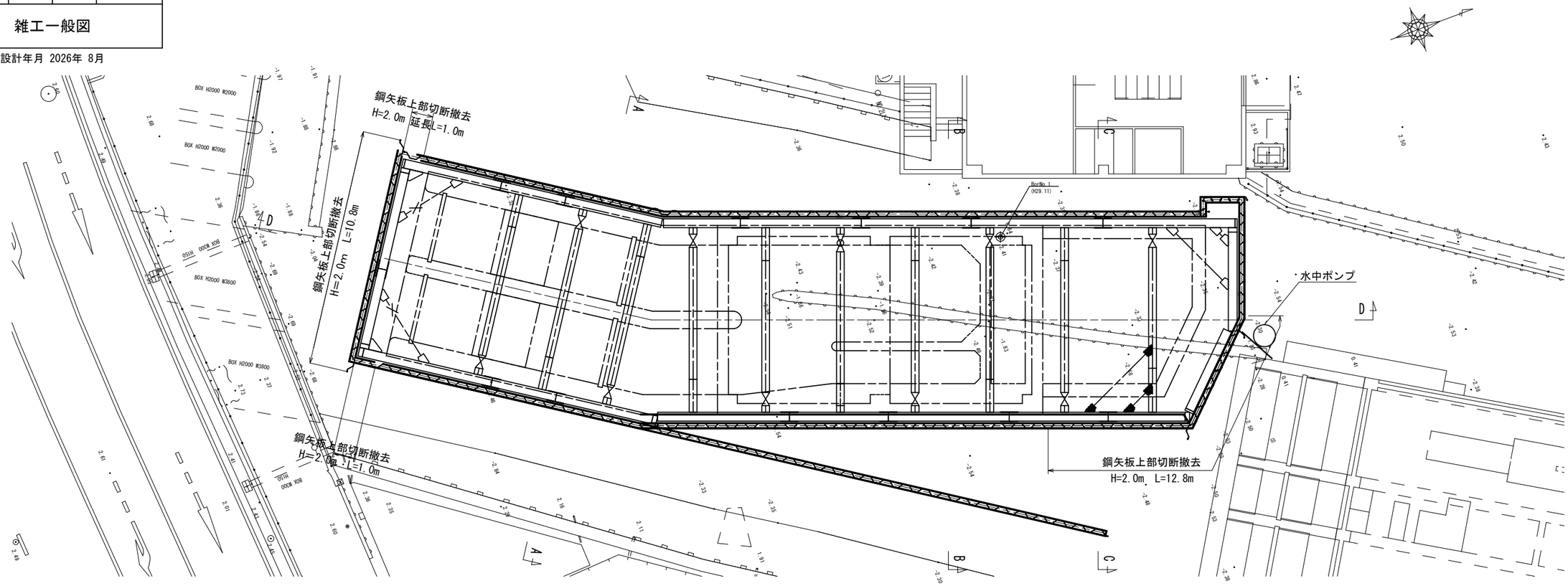
備考
　１．外装について
　　・支柱、ジョイント
　　　押え金具
　　　ワイヤメッシュ　・・・　亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
　　・バ　ン　ド　・・・　溶融亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
　　・ボルト、ナット　・・・　溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

福山市上下水道局			
2026年度　下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場放流ゲート築造工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	29 / 29	縮尺	図示
雑工一般図			

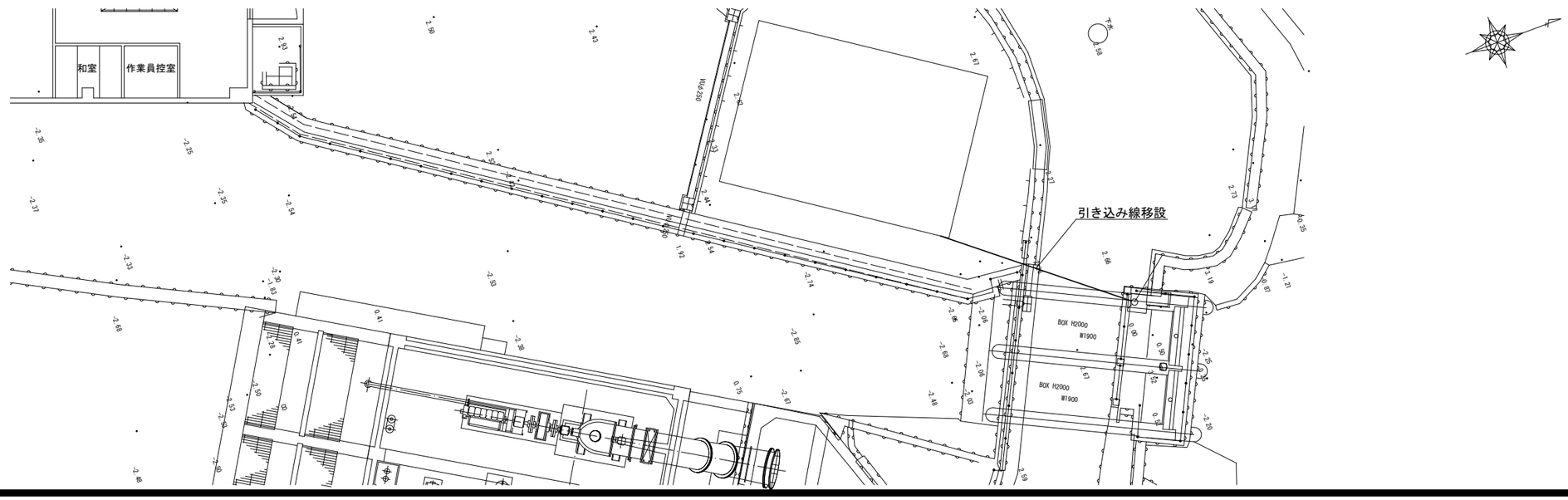
設計年月 2026年 8月

雑工一般図

平面図 S=1/100



平面図 S=1/100



参　考　図　書

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0001　表

土砂 標準　　自立式 障害無し　　1　　m3　　当り

機械構成比: 16.32%　労務構成比: 65.25%　材料構成比: 18.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 335.98000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	16.32%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	41.33%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	18.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 自立式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0002　表

土砂 標準　　切梁腹起式 障害有り　　1　　m3　　当り

機械構成比: 12.11%　労務構成比: 74.22%　材料構成比: 13.67%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 553.52000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	12.11%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	43.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	30.63%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	13.67%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=2 障害有り		

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0003　表

土砂 掘削深さ5m超20m以下　　切梁腹起式 障害有り　　1　　m3　　当り

機械構成比: 37.32%　労務構成比: 53.83%　材料構成比: 8.85%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,311.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック バケット容量(平積)0.26～0.3m3_排2014	31.80%		クラムシェル[油圧クラムシェル] テレスコピック式・排2014 バケット容量(平積)0.26～0.3m3		MTPC00192 MTPT00192
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.08m3	5.52%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.08m3		MTPC00183 MTPT00183
普通作業員	18.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	17.53%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.85%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 C=4　切梁腹起式 E=1　-(全ての費用)			B=3　掘削深さ5m超20m以下 D=2　障害有り		

施工単価表

掘削補助機械搬入搬出　　SPK26040015　　単第0 -0004　表

1　回　当り

機械構成比: 25.25%　労務構成比: 74.75%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 48,000.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	25.25%		ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力16t吊		KTPC00023 KTPT00023
特殊作業員	74.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0005　表

最小埋戻幅4m以上　　1　m3　当り

機械構成比: 41.51%　労務構成比: 40.47%　材料構成比: 18.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 535.07000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ブルドーザ 普通・排2014 通称15t級	33.20%		ブルドーザ 普通・排出ガス対策型(2014年規制) 通称15t級		MTPC00156 MTPT00156
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	8.31%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	40.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	18.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　最小埋戻幅4m以上			D=1　-(全ての費用)		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0006　表

最大埋戻幅1m以上4m未満　　1　m3　当り

機械構成比: 8.83%　労務構成比: 82.43%　材料構成比: 8.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,130.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	7.40%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5～0.6t	1.34%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.09%		タンパ及びランマ 通称60～80kg級		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	40.30%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.75%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0006　表

最大埋戻幅1m以上4m未満　　1　m3　当り

機械構成比: 8.83%　労務構成比: 82.43%　材料構成比: 8.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,130.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=3　最大埋戻幅1m以上4m未満			D=1　-(全ての費用)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0007　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り 距離19.5km以下(14.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 42.89%　労務構成比: 41.78%　材料構成比: 15.33%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,856.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.89%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.78%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	15.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=43 距離19.5km以下(14.0km超)			B=1 バックホウ B容量0.8m3 D=2 DID区間有り		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0008　表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 42.89%　労務構成比: 41.78%　材料構成比: 15.33%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,309.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.89%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.78%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	15.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=37 距離14.0km以下(11.0km超)			B=1 バックホウ B容量0.8m3 D=2 DID区間有り		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)　S0740　単第0 -0009　表

複相方式（2セット）　総削孔長=１１．８ｍ　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.336	人			1*0.3356
特殊作業員	1.007	人			3*0.3356
普通作業員	0.671	人			2*0.3356
地盤注入用薬液 溶液型アルカリ系 無機タイプ	2,950.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 通称5.5kW級	0.671	日			2*0.3356
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5～20L/min×2圧力9.8MPa	0.671	日			2*0.3356
諸雑費	22	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=3 複相方式（2セット） C=6.6 砂質土の削孔長(m) E=2950 1本当り注入量（Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=5.2 粘性土の削孔長(m) F=54 削孔時間（T2)(分)		
G=0.7 土被り長（L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=51001 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)　S0740　単第0 -0010　表

複相方式（2セット）　総削孔長=１１．８ｍ　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.406	人			1*0.4057
特殊作業員	1.217	人			3*0.4057
普通作業員	0.812	人			2*0.4057
地盤注入用薬液 溶液型アルカリ系 無機タイプ	3,798.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 通称5.5kW級	0.812	日			2*0.4057
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5～20L/min×2圧力9.8MPa	0.812	日			2*0.4057
諸雑費	22	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=3　複相方式（2セット） C=6.6　砂質土の削孔長(m) E=3798　1本当り注入量（Qs)(L/本)			B=0　礫質土の削孔長(m) D=5.2　粘性土の削孔長(m) F=54　削孔時間（T2)(分)		
G=0.7　土被り長（L2)(m) I=1　総注入量:500kl以下			H=51001　【F】注入材料(L) J=1　-		

施工単価表

注入設備据付・解体　　S0746　　単第0 -0011　表

二重管ストレーナ工法（２セット）　　1　　現場　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.200	人			
特殊作業員	8.200	人			
普通作業員	3.400	人			
機-01_トラック(クレーン装置付)運転 通称4～4.5t積級_吊能力2.9t	13.000	時間			単第0-0012　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	現場			
A=1　　二重管ストレーナ（２セット）					

施工単価表

機-01_トラック(クレーン装置付)運転　　S9056　　単第0 -0012　表
通称4～4.5t積級_吊能力2.9t　　1　時間　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.19	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.30	L			
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.9t	1	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	時間			
A=4　通称4～4.5t積級_吊能力2.9t C=0　特殊運転手数量(人/h) 省略=自動計算			B=0　労務単価の夜間等割増率 D=0　燃料消費量 (L/h) 標準=省略		

施工単価表

高圧噴射攪拌労務費　　V000000100　　単第0 -0013　表

造成工　　1set当たり　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	3	人			
電工	1	人			
普通作業員	2	人			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

機械損料費　　V000000200　　単第0 -0014　表

運転1日当たり　　1set当たり　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
高圧噴射攪拌機械 13kW	1	台			
超高圧ポンプ（硬化材） 150kW	1	台			
スラリープラント 21kW	1	台			
セメントサイロ 30t	1	台			
水中ポンプ 5.5kW	3	台			
流量計	1	台			
排泥処理ポンプ 22kW	1	台			
コンプレッサー 1.05MPa	1	台			
発電機 100kVA	1	台			
発電機 150kVA	1	台			
発電機 300kVA	1	台			
相番クレーン 25t吊り	1	台			

施工単価表

機械損料費　　V000000200　　単第0 -0014　表

運転1日当たり　　1set当たり　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

機械損料費　　V000000300　　単第0 -0015　表

供用1日当たり　　1set当たり　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
高圧噴射攪拌機械 11kW	1	台			
超高圧ポンプ（硬化材用） 150kW	1	台			
スラリープラント 21kW	1	台			
セメントサイロ 30t	1	台			
水中ポンプ 3.7kW	3	台			
水槽 20m3	1	台			
流量計	1	台			
排泥処理ポンプ 22kW	1	台			
コンプレッサー 1.05MPa	1	台			
発電機 100kVA	1	台			
発電機 150kVA	1	台			
発電機 300kVA	1	台			

施工単価表

機械損料費　　V000000300　　単第0 -0015　表

供用1日当たり　　1set当たり　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

削孔消耗材料費　　V000000400　　単第0 -0016　表

粘性土　　1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
多重管スイベル	0.005	個			
多重管ロッド	0.005	m			
高圧噴射攪拌モニター	0.01	個			
超高圧ホース	0.02	組			
メタルクラウン	0.07	個			
雑品	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

削孔消耗材料費　　V000000500　　単第0 -0017　表

砂質土　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
多重管スイベル	0.006	個			
多重管ロッド	0.007	m			
高圧噴射攪拌モニター	0.015	個			
超高圧ホース	0.025	組			
メタルクラウン	0.1	個			
雑品	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

造成消耗材料費　　V000000600　　単第0 -0018　表

造成消耗材　　1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
多重管スイベル	0.002	個			
多重管ロッド	0.008	個			
高圧噴射攪拌モニター	0.03	個			
超高圧ホース	0.004	組			
エアーホース	0.001	組			
雑品	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

造成消耗材料費　　V000000700　　単第0 -0019　表

水切削消耗材　　1　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
多重管スイベル	0.001	個			
多重管ロッド	0.004	個			
高圧噴射攪拌モニター	0.015	個			
超高圧ホース	0.002	組			
エアーホース	0.001	組			
雑品	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

高圧噴射攪拌機械組立解体費　　V000000900　　単第0 -0020　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
機械据付撤去費	5	日			単第0-0021　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

機械据付撤去費　　V000000800　　単第0 -0021　表

1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	3	人			
溶接工	1	人			
電工	1	人			
普通作業員	2	人			
ラフテレーンクレーン 50t吊り	1	台			
仮設材料費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

運搬費　　V000001000　　単第0 -0022　表

高圧噴射攪拌機械　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
トラック 10t	14	台			
トラック 4t	6	台			
ラフテレーンクレーン 50t吊り	2	台			
補充トラック 4t	2	台			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

継鋼矢板圧入(Nmax≦25)　S0441　単第0 -0023　表
陸上施工 4型　圧入長(m)_19以下(15超) 継施工1箇所　10　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.190	人			
特殊作業員	1.190	人			
とび工	2.381	人			
溶接工	2.381	人			
継施工費 鋼矢板IV型	10.000	箇所			10*1
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	1.190	日			単第0-0024 表 10/8.4
機-18_ラフテレーンクレーン運転 最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型3次基準	1.190	日			単第0-0025 表 10/8.4
諸雑費	4	%			#09
＊＊＊ 合計 ＊＊＊	10	枚			
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	枚			
A=1 陸上施工 C=6 圧入長(m)_19以下(15超)			B=3 4型 D=1 継施工1箇所		

施工単価表

継鋼矢板圧入(Nmax≦25)　S0441　単第0 -0023　表

陸上施工 4型　圧入長(m)_19以下(15超) 継施工1箇所　10　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

機-24_油圧式杭圧入引抜機運転　　S9128　　単第0 -0024　表

圧入力800kN　　排出ガス対策型2014規制　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	128.00	L			
油圧式杭圧入引抜機 エンジン式ユニット・排2014 圧入800引抜900kN	1.49	供用日15欄			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　圧入力800kN C=1.49　機械損料数量（供用日/日）			B=128　軽油消費量（L/日）		

施工単価表

機-18_ラフテレーンクレーン運転　　S9000053　　単第0 -0025　表

最大吊上能力25t吊　　排出ガス対策型3次基準　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	92.00	L			
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排3 最大吊上能力25t吊	1.49	供用日15欄			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　最大吊上能力25t吊 C=1　運転労務数量(人/日) E=1.49　機械損料数量(供用日/日)			B=6　排出ガス対策型3次基準 D=92　燃料消費量(L/日)		

施工単価表

鋼矢板引抜き　　S0454　　単第0 -0026　表

陸上施工 4型　　引抜長(m)_19以下(15超)　　10　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.345	人			
特殊作業員	0.345	人			
とび工	0.690	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.345	日			単第0-0024　表 10/29
機-18_ラフテレーンクレーン運転 最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.345	日			単第0-0025　表 10/29
諸雑費	0.1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	枚			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　陸上施工 C=6　引抜長(m)_19以下(15超)			B=3　4型		

施工単価表

ガス切断　　S0180　　単第0 -0027　表

鋼矢板　　1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
溶接工	0.130	人			
普通作業員	0.040	人			
酸素 圧縮,純度99.6%以上 ボンベ	0.630	m3			
溶解アセチレン	0.260	kg			
諸雑費	0.1	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=3　　鋼矢板					

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体　　S0458　　単第0 -0028　表

圧入（Nmax≦25）　　IV型　　1　　回　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.290	人			
特殊作業員	0.290	人			
とび工	0.580	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.250	日			単第0-0024　表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.300	日			単第0-0025　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=1　圧入（Nmax≦25） C=1　陸上施工			B=3　IV型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体　　S0458　　単第0 -0029　表

引抜き　　IV型　　1　　回　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.190	人			
特殊作業員	0.190	人			
とび工	0.390	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力800kN 排出ガス対策型2014規制	0.130	日			単第0-0024　表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.190	日			単第0-0025　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=5　引抜き C=1　陸上施工			B=3　IV型		

施工単価表

鋼矢板4型賃料　　S0850　　単第0 -0030　表

1回使用　　供用日数163日　　1　　t　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板賃料	1.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=3　鋼矢板(4型) C=1　使用回数(回)			B=163　供用日数(賃料期間)(日) D=1　補助工法無し		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去　　S1050039　　単第0 -0031　表

設置　　10　　t　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	3.200	人			
溶接工	1.700	人			
普通作業員	1.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.700	日			
諸雑費	5	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　設置 C=1　-			B=1　- D=1　ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去　　S1050039　　単第0 -0032　表

撤去　　10　　t　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
とび工	1.900	人			
溶接工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.000	日			
諸雑費	7	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=2　撤去 C=1　-			B=1　- D=1　ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

山留材賃料　　SHD10013　　単第0 -0033　表

1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼製山留材 H-400,200kg/m 180日(6か月)以内	1.000	t			
修理費及び損耗費:主部材	1.000	t			
(賃料)鋼製山留材 部品 180日(6か月)以内	0.220	t・日			
修理費及び損耗費:副部材(A)	0.220	t			
修理費及び損耗費:副部材(B)	0.040	t			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　山留材賃料 C=1　- E=2　修理費及び損耗費:副部材(A)			B=4　鋼製山留材 H-400,200kg/m D=2　修理費及び損耗費:主部材 F=2　修理費及び損耗費:副部材(B)		
G=116　賃料期間(日)					

施工単価表

山留材賃料　　SHD10013　　単第0 -0034　表

1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼製山留材 H-400,200kg/m 90日(3か月)以内	1.000	t			
修理費及び損耗費:主部材	1.000	t			
(賃料)鋼製山留材 部品 90日(3か月)以内	0.220	t・日			
修理費及び損耗費:副部材(A)	0.220	t			
修理費及び損耗費:副部材(B)	0.040	t			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　山留材賃料 C=1　- E=2　修理費及び損耗費:副部材(A)			B=4　鋼製山留材 H-400,200kg/m D=2　修理費及び損耗費:主部材 F=2　修理費及び損耗費:副部材(B)		
G=62　賃料期間(日)					

施工単価表

継鋼矢板圧入(Nmax≦25)　S0441　単第0 -0035　表

陸上施工 50H型　圧入長(m)_15以下(12超) 継施工1箇所　10　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.439	人			
特殊作業員	2.439	人			
とび工	4.878	人			
溶接工	4.878	人			
継施工費 鋼矢板50H型(ハット)	10.000	箇所			10*1
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 ハット形鋼矢板900㎜用 1,000kN 排出ガス対策型2014規制	2.439	日			単第0-0036　表 10/4.1
機-18_ラフテレーンクレーン運転 最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型3次基準	2.439	日			単第0-0025　表 10/4.1
諸雑費	4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	枚			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　陸上施工 C=5　圧入長(m)_15以下(12超)			B=12　50H型 D=1　継施工1箇所		

施工単価表

継鋼矢板圧入(Nmax≦25)　S0441　単第0 -0035　表

陸上施工 50H型　圧入長(m)_15以下(12超) 継施工1箇所　10　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

機-24_油圧式杭圧入引抜機運転　　S9128　　単第0 -0036　表

ハット形鋼矢板900㎜用 1,000kN　　排出ガス対策型2014規制　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	171.00	L			
油圧式杭圧入引抜機 エンジン式ユニット・排2014 ハット形鋼矢板900㎜,圧入1000引抜1200kN	1.49	供用日15欄			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=3　ハット形鋼矢板900㎜用 1,000kN C=1.49　機械損料数量（供用日/日）			B=171　軽油消費量（L/日）		

施工単価表

鋼矢板引抜き　　S0454　　単第0 -0037　表

陸上施工 6L型　　引抜長(m)_15以下(12超)　　10　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.303	人			
特殊作業員	0.303	人			
とび工	0.606	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 広幅鋼矢板_1,000kN 排出ガス対策型3次基準	0.303	日			単第0-0038　表 10/33
機-18_ラフテレーンクレーン運転 最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.303	日			単第0-0025　表 10/33
諸雑費	0.1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	枚			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　陸上施工 C=4　引抜長(m)_15以下(12超)			B=5　6L型		

施工単価表

機-24_油圧式杭圧入引抜機運転　　S9128　　単第0 -0038　表

広幅鋼矢板_1,000kN　　排出ガス対策型3次基準　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	146.00	L			
油圧式杭圧入引抜機 エンジン式ユニット・排3 広幅鋼矢板,圧入1000引抜1100kN	1.49	供用日15欄			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　広幅鋼矢板_1,000kN C=1.49　機械損料数量（供用日/日）			B=146　軽油消費量（L/日）		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体　　S0458　　単第0 -0039　表

圧入（Nmax≦25）　　50H型　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.290	人			
特殊作業員	0.290	人			
とび工	0.580	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 ハット形鋼矢板900㎜用 1,000kN 排出ガス対策型2014規制	0.250	日			単第0-0036　表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.300	日			単第0-0025　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=1　圧入（Nmax≦25） C=1　陸上施工			B=12　50H型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体　　S0458　　単第0 -0040　表

引抜き　　VIL型　　1　　回　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.190	人			
特殊作業員	0.190	人			
とび工	0.390	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 広幅鋼矢板_1,000kN 排出ガス対策型3次基準	0.130	日			単第0-0038　表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 最大吊上能力25t吊 排出ガス対策型3次基準	0.190	日			単第0-0025　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=5　引抜き C=1　陸上施工			B=5　VIL型		

施工単価表

タイロッド・腹起し設置　　SHD10021　　単第0 -0041　表

10　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	4.900	人			
とび工	9.900	人			
溶接工	4.900	人			
普通作業員	4.900	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	4.900	日			
タイロッド φ70 2本継	1.100	組			
諸雑費	10	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　タイロッド(各種) C=1.1　タイロッド必要量(t) F=1　-			B=53001　【F】タイロッド(t) D=1　- G=1　ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

タイロッド・腹起し撤去　　SHD10023　　単第0 -0042　表

10　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.200	人			
とび工	4.400	人			
溶接工	2.200	人			
普通作業員	2.200	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	2.200	日			
諸雑費	12	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　-			B=1　ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

タンパ締固め　　SPK26040020　　単第0 -0043　表

中詰土A　　1　　m3　　当り

機械構成比: 1.11%　労務構成比: 97.20%　材料構成比: 1.69%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,750.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	1.11%		タンパ及びランマ 通称60～80kg級		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.69%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1　　-(全ての費用)					

施工単価表

路体(築堤)盛土　　SPK26040004　　単第0 -0044　表

施工幅員2.5m以上4.0m未満　　中詰土B　　1　m3　当り

機械構成比: 14.60%　労務構成比: 76.67%　材料構成比: 8.73%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 899.05000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.64%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 バケット容量0.28m3		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音	6.96%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式 運転質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	67.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.94%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0045　表

土砂 標準　　グランドアンカー式 障害有り　　1　　m3　　当り

機械構成比: 13.40%　労務構成比: 71.46%　材料構成比: 15.14%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 499.92000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	13.40%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	37.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	33.92%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	15.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=3 グランドアンカー式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=2 障害有り		

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0046　表

土砂 標準　　グランドアンカー式 障害無し　　1　　m3　　当り

機械構成比: 12.37%　労務構成比: 73.66%　材料構成比: 13.97%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 443.18000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	12.37%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	42.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	31.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	13.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=3 グランドアンカー式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

大型土のう製作・設置(RTC設置)　　SHD10005　　単第0 -0047　表

10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.204	人			1*0.204
特殊作業員	0.204	人			1*0.204
普通作業員	0.204	人			1*0.204
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和５年改定基準適合品	10.000	枚			
真砂土（購入）	10.000	m3			ほぐした土量
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型	0.204	日			単第0-0048　表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.204	日			
諸雑費	2	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=4　耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品) D=101001　【F】土砂(m3)			B=2　土砂の計上あり		

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0048　表

C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	65.00	L			
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	1.36	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=23　C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型 C=1　運転労務数量(人/日)			B=65　軽油消費量(L/日) D=1.36　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

大型土のう撤去　　S1050057　　単第0 -0049　表

設置作業半径_6m以下　　設置面高さ_H<-3m,2m<H　　10　　袋　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.094	人			
特殊作業員	0.094	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.094	日			
諸雑費	0.4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　設置作業半径_6m以下			B=2　設置面高さ_H<-3m,2m<H		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0050　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　　コンクリートポンプ車打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.70%　労務構成比: 16.47%　材料構成比: 79.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 28,992.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.67%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	79.04%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0050　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　　コンクリートポンプ車打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.70%　労務構成比: 16.47%　材料構成比: 79.83%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 28,992.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB F=2 一般養生 J=1 -			B=1 コンクリートポンプ車打設 E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満 G=1 圧送管延長距離延長無し K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0051　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　　コンクリートポンプ車打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.83%　労務構成比: 13.43%　材料構成比: 82.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 27,970.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	3.80%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	6.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.08%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	81.92%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0051　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　　コンクリートポンプ車打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.83%　労務構成比: 13.43%　材料構成比: 82.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 27,970.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB F=1 養生工無し J=1 -			B=1 コンクリートポンプ車打設 E=1 設計日打設量10m3以上100m3未満 G=1 圧送管延長距離延長無し K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0052　表

一般型枠　　均しコンクリート　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　5,387.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.85%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=5　均しコンクリート		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0053　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 10,653.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.74%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=1　鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0054　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)　　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 14,416.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	45.31%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	32.53%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=3　鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0055　表

撤去しない埋設型枠　　床版部　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　　労務構成比:　100.00%　　材料構成比:　0.00%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,897.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	47.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	28.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=3　撤去しない埋設型枠 C=1　-(全ての費用)			B=6　床版部		

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0056　表

SD345 D13　　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 71.93%　材料構成比: 28.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4　SD345 D13			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0057　表

SD345 D16　　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 71.93%　材料構成比: 28.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16 単位質量1.56kg/m	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00056 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=6　SD345 D16			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

鉄筋　　SPK26040332　　単第0 -0058　表

SD345 D19　　1　t　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 71.93%　材料構成比: 28.07%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 414,160.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	40.95%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	19.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D19 単位質量2.25kg/m	28.07%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00057 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=7　SD345 D19			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場　　S0380　　単第0 -0059　表

手摺先行型枠組足場　　100　　掛m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	7.000	人			
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	34	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=1　手摺先行型枠組足場 C=0　潮待割増			B=1　安全ネットを設置しない		

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場　　S0380　　単第0 -0060　表

単管足場　　100　　掛m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
とび工	6.900	人			
普通作業員	1.800	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.800	日			
諸雑費	29	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=2　単管足場 C=0　潮待割増			B=1　安全ネットを設置しない		

施工単価表

支保工　　S0370　　単第0 -0061　表

くさび結合支保　　f<=40(t<=120)　　100　　空m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.400	人			
型わく工	1.300	人			
とび工	3.300	人			
普通作業員	3.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	0.500	日			
諸雑費	33	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	空m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	空m3			
A=2　　くさび結合支保			B=1　　f<=40(t<=120)		

施工単価表

止水板　　SPK26040119　　単第0 -0062　表

止水板各種(ゴム製)　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 21.25%　材料構成比: 78.75%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 9,236.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	17.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
止水板-ゴム製- CF(センターバルブ形フラット) 幅230㎜,厚10㎜	78.75%		ゴム製止水板 CF 幅230×厚さ10㎜		TTPC00393 TTPT00393
積算単価			積算単価		EP001
A=2　止水板各種(ゴム製)					

施工単価表

目地板　　SPK26040118　　単第0 -0063　表

1工事当り使用量30m2未満　　瀝青繊維質目地板t=20mm　　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 64.44%　材料構成比: 35.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 4,288.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚20mm	35.56%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPCD0150 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1　1工事当り使用量30m2未満			B=6　瀝青繊維質目地板t=20mm		

施工単価表

ポンプ運転　　S1050053　　単第0 -0064　表

排水量_0以上120未満(m3/h)　　全揚程_10m 作業時排水　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.140	人			
建設用ポンプ(水中ポンプ)運転 口径200mm,揚程10m 11.0kw	1.000	日			単第0-0065　表
機-16_発動発電機運転 ディーゼル45kVA 排出ガス対策型3次基準	1.000	日			単第0-0066　表
諸雑費	5	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　排水量_0以上120未満(m3/h) C=1　作業時排水			B=1　全揚程_10m		

施工単価表

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転　S9000045　単第0 -0065　表

口径200㎜,揚程10m　11.0kw　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<賃>建設用ポンプ(水中ポンプ) 口径200㎜,揚程10m 11.0kw	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=4　口径200㎜,揚程10m			B=1.2　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

機-16_発動発電機運転　　S9469　　単第0 -0066　表

ディーゼル45kVA　　排出ガス対策型3次基準　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	46.00	L			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量45kVA 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=8　ディーゼル45kVA C=1.2　機械賃料数量(供用日/日)			B=46　燃料消費量(L/日) D=4　排出ガス対策型3次基準		

施工単価表

ポンプ設置・撤去　　SHD10037　　単第0 -0067　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.500	人			
特殊作業員	0.100	人			
普通作業員	2.000	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.500	日			単第0-0068　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0068　表
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	45.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.47	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=12　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=45　軽油消費量(L/日) D=1.47　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

消波根固めブロック据付け　　SPK26040168　　単第0 -0069　表

2.5t以下 据付場所水中　　消波根固ブロック10個当り連結金具設置数量　　1　個　当り

機械構成比: 13.03%　労務構成比: 68.08%　材料構成比: 18.89%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 7,939.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	13.03%		ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力25t吊		KTPC00014 KTPT00014
普通作業員	15.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
潜水士	14.26%		潜水士		RTPC00014 RTPT00014
潜水連絡員	10.43%		潜水連絡員		RTPC00015 RTPT00015
潜水送気員	10.12%		潜水送気員		RTPC00016 RTPT00016
その他(労務)			その他(労務)		ER009
連結金具 φ16㎜	18.89%		連結金具(根固めブロック用) φ16 【標準数量 10個】		TTPC00193 TTPT00193
積算単価			積算単価		E9999
A=1 2.5t以下 E=13 消波根固ブロック10個当り連結金具設置数量 G=1 ラフテレーンクレーン油圧伸縮ジブ型 25t吊			B=2 据付場所水中 F=2 層積 H=1 連結金具(根固めブロック用)φ16		

施工単価表

消波根固めブロック据付け　　SPK26040168　　単第0 -0069　表

2.5t以下 据付場所水中　　消波根固ブロック10個当り連結金具設置数量　　1　　個　　当り

機械構成比: 13.03%　労務構成比: 68.08%　材料構成比: 18.89%　市場単価構成比: 0.00%　　標準単価： 7,939.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
【連結金具単価計算根拠】 地区単価(円) * 消波根固めブロック10個当り連結金具設置数量(個) 【消波根固めブロック10個当り連結金具設置数量(個)】 13.000(個)					

施工単価表

捨石投入　　SPK26040171　　単第0 -0070　表

最大作業半径7m以下設置高さ-5m以上　　1　m3　当り

機械構成比: 15.90%　労務構成比: 68.31%　材料構成比: 15.79%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,195.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	15.90%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	38.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	15.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.09%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	15.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　最大作業半径7m以下設置高さ-5m以上					

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)　SDT00031　単第0 -0071　表

機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=2　低騒音・低振動対策			B=1　機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機) D=1　時間的制約なし		

施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)　SDT00033　単第0 -0072　表

機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機)　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=2　低騒音・低振動対策			B=1　機械施工(大型ブレーカまたは、Co圧砕機) D=1　時間的制約なし		

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0073　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0073　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕　　SPK26040303　　単第0 -0074　表

アスファルト舗装版　　障害等無し 舗装版厚15cm以下　　1　　m2　　当り

機械構成比: 29.52%　労務構成比: 64.74%　材料構成比: 5.74%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 635.62000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm破砕力550～980kN	20.38%		バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm 破砕力550～980kN		MTPC00051 MTPT00051
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.14%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 バケット容量0.45m3		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	28.72%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	25.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.74%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=2 騒音振動対策必要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0075　表

Co(無筋)構造物とりこわし　　DID区間有り　運搬距離5.7km以下(3.3km超)　　1　m3　当り

機械構成比:　39.03%　労務構成比:　46.18%　材料構成比:　14.79%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　1,595.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　Co(無筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=25　運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0076　表

Co(鉄筋)構造物とりこわし　　DID区間有り　運搬距離23.2km以下(18.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　39.03%　　労務構成比:　46.18%　　材料構成比:　14.79%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　4,236.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	39.03%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	46.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=61　運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0077　表

舗装版破砕　　DID区間有り　運搬距離5.5km以下(4.0km超)　　1　m3　当り

機械構成比: 42.27%　労務構成比: 41.18%　材料構成比: 16.55%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,924.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.27%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	16.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破砕 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=23 運搬距離5.5km以下(4.0km超)		

施工単価表

暗渠排水管　　SPK26040093　　単第0 -0078　表

撤去 直管 200～400㎜　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 437.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	70.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	29.60%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		E9999
A=2　撤去 C=2　200～400㎜			B=1　直管 I=1　-(全ての費用)		

施工単価表

巨石採取　　SPK26040201　　単第0 -0079　表

1　個　当り

機械構成比: 36.28%　労務構成比: 49.20%　材料構成比: 14.52%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 4,641.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2011 バケット容量0.8m3	34.06%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2011 バケット容量0.8m3		MTPC00149 MTPT00149
バックホウ用アタッチメント 掴み装置(巨石採取工用) 開口幅2100～2500㎜爪幅450～1000㎜	2.22%		バックホウ用アタッチメント 掴み装置(巨石採取工用) 開口幅2,100～2,500㎜ 爪幅450～1,000㎜		MTPC00078 MTPT00078
運転手(特殊)	29.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	18.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.52%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

横断・転落防止柵 防護柵撤去　　SS000153　　単第0 -0080　表

コンクリート建込　　ビーム式・パネル式　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
撤去【手間のみ】 コンクリート建込 ビーム式・パネル式(支柱間隔3m)	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=3　コンクリート建込 C=1　- E=3　支柱間隔_1.5m			B=1　ビーム式・パネル式 D=1　-		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0081　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.26%　労務構成比: 37.29%　材料構成比: 59.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 39,328.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.08%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	57.72%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.64%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0081　表

小型構造物 18-8-25(20)BB　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.26%　労務構成比: 37.29%　材料構成比: 59.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 39,328.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=3 18-8-25(20)BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0082　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　9,646.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.38%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

目地板　　SPK26040118　　単第0 -0083　表

1工事当り使用量30m2未満　　瀝青繊維質目地板t=10mm　　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 64.44%　材料構成比: 35.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 4,288.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	35.56%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1　1工事当り使用量30m2未満			B=1　瀝青繊維質目地板t=10mm		

施工単価表

蓋版　　SDT00017　　単第0 -0084　表

蓋版(各種) 40≧重量　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40kg/枚以下 時間的制約なし	1.000	枚			
グレーチング蓋 桝ぶた350×600用 T-20	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　昼間施工 D=60001　【F】蓋版(枚) F=1　時間的制約なし			B=9　蓋版(各種) E=1　40≧重量 G=1　-		

施工単価表

塩化ビニル管布設工　　SG1D0006001　　単第0 -0085　表

呼び径 200mm　　1　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管設置【材工共】 管径200mm	1	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　呼び径 200mm D=1　-			B=2　[規]20m未満		

施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)　　SPK26040252　　単第0 -0086　表

基礎ブロック　　支柱間隔2m　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,677.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	90.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.81%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　基礎ブロック D=1　-(全ての費用)			C=2　支柱間隔2m		

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK26040232　単第0 -0087　表

全仕上り厚100mm 1層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 5.50%　労務構成比: 18.62%　材料構成比: 75.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,337.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.81%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.47%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.46%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	3.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.68%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)　SPK26040232　単第0 -0087　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　RC-30　1　m2　当り

機械構成比: 5.50%　労務構成比: 18.62%　材料構成比: 75.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,337.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャラン 30～0㎜	74.09%		クラッシャラン 40～0㎜ [標準数量]全仕上り厚150㎜		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100　全仕上り厚(㎜) D=1　-(全ての費用)			B=3　RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0088　表

RM-30　全仕上り厚100㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.88%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.98%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.96%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.98%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	6.21%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)　SPK26040234　単第0 -0088　表

RM-30　全仕上り厚100㎜ 1層施工　1　m2　当り

機械構成比: 11.39%　労務構成比: 38.57%　材料構成比: 50.04%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 646.43000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整砕石 30～0㎜	46.32%		再生粒度調整砕石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150㎜		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.21%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5　RM-30 H=1　-(全ての費用)			E=100　全仕上り厚(㎜)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0089　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.32%　労務構成比: 10.25%　材料構成比: 88.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,891.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.84%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.13%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0089　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.32%　労務構成比: 10.25%　材料構成比: 88.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,891.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.48%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.39%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

不陸整正　　SPK26040231　　単第0 -0090　表

補足材料有り RC-40　　補足材料平均厚さ28㎜以上34㎜未満　　う回路部　　1　　m2　　当り

機械構成比: 16.48%　労務構成比: 57.95%　材料構成比: 25.57%　市場単価構成比: 0.00%　　標準単価： 228.13000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	13.22%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.65%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	1.61%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	28.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	11.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
再生クラッシャラン 40～0mm	20.19%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.38%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

不陸整正　　SPK26040231　　単第0 -0090　表

補足材料有り RC-40　　補足材料平均厚さ28㎜以上34㎜未満　　う回路部　　1　　m2　　当り

機械構成比: 16.48%　労務構成比: 57.95%　材料構成比: 25.57%　市場単価構成比: 0.00%　　標準単価： 228.13000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2　補足材料有り C=4　RC-40			B=6　補足材料平均厚さ28㎜以上34㎜未満 E=1　-(全ての費用)		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0091　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.77%　材料構成比: 71.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 32,152.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	71.23%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

巨石張(空)　　SPK26040199　　単第0 -0092　表

石材径60cm以上80cm未満　　吸出し防止材無し 裏込材無し　　1　m2　当り

機械構成比: 20.89%　労務構成比: 74.24%　材料構成比: 4.87%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 8,346.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	14.75%		ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 最大吊上能力25t吊		KTPC00014 KTPT00014
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2011 バケット容量0.8m3	6.14%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2011 バケット容量0.8m3		MTPC00149 MTPT00149
普通作業員	28.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	20.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	18.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	5.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.62%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
再生クラッシャラン 40～0mm	2.25%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008

施工単価表

巨石張(空)　　SPK26040199　　単第0 -0092　表

石材径60cm以上80cm未満　　吸出し防止材無し 裏込材無し　　1　　m2　　当り

機械構成比:　20.89%　　労務構成比:　74.24%　　材料構成比:　4.87%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　8,346.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2　石材径60cm以上80cm未満 C=2　裏込材無し G=1　-(全ての費用)			B=2　吸出し防止材無し F=1　(胴込材)RC-40		

施工単価表

電線移設工　　V000001300　　単第0 -0093　表

住居引き込み線　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工	6	人			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			

施工単価表

ポンプ運転　　V000001100　　単第0 -0094　表

排水量 0以上40未満（m3/h）　　作業時排水　　雨天時　　1　　日　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.14	人			
建設用ポンプ(水中ポンプ)運転 口径150㎜,揚程10m 7.5kw	1	日			単第0-0095　表
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転　S9000045　単第0 -0095　表

口径150㎜,揚程10m　7.5kw　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<賃>建設用ポンプ(水中ポンプ) 口径150㎜,揚程10m 7.5kw	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=3　口径150㎜,揚程10m			B=1.2　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

ポンプ撤去　　V000001200　　単第0 -0096　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.25	人			
特殊作業員	0.05	人			
普通作業員	1	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.25	日			単第0-0068　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

重建設機械分解組立輸送　　S1000017　　単第0 -0097　表

バックホウ系　　バケット容量1.0m3以上1.5m3以下　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	2.700	人			2.7*1
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.400	日			1.4*1
運搬費等	250	%			#06
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=2　バックホウ系 C=1　-			B=3　バケット容量1.0m3以上1.5m3以下 E=1　分解・組立		

施工単価表

重建設機械分解組立輸送　　S1000017　　単第0 -0098　表
クローラクレーン系　　35t吊超え80t吊以下　　1　回　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	5.500	人			5.5*1
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.500	日			1.5*1
運搬費等	434	%			#06
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	回			
A=3　クローラクレーン系 C=1　-			B=6　35t吊超え80t吊以下 E=1　分解・組立		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　　S1000007　　単第0 -0099　表

運搬距離 10km　　製品長 12m以内　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 10km 製品長 12m以内 運搬質量 78.3t	1.000	式			単第0-0100　表
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0101　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=10　運搬距離(km) C=1　- E=78.3　運搬質量(t)			B=1　12m以内 D=1　- F=1　-		
H=1　- L=2　基地積込み,現場取卸し			J=1　-		

施工単価表

基本運賃　　S1000009　　単第0 -0100　表

運搬距離 10㎞　　製品長 12m以内 運搬質量 78.3t　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	78.300	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=10　運搬距離(km) D=78.3　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0101　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	78.300	t			
仮設材取卸し費（現場）	78.300	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=2　基地積込み,現場取卸し			D=78.3　運搬質量(t)		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0102 表

運搬距離 10km　製品長 12m以内　1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 10km 製品長 12m以内 運搬質量 70.7t	1.000	式			単第0-0103 表
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0104 表
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	式			
A=10 運搬距離(km) C=1 - E=70.7 運搬質量(t)			B=1 12m以内 D=1 - F=1 -		
H=1 - L=3 現場積込み,基地取卸し			J=1 -		

施工単価表

基本運賃　　S1000009　　単第0 -0103　表

運搬距離 10㎞　　製品長 12m以内 運搬質量 70.7t　　1　　式　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	70.700	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=10　運搬距離(km) D=70.7　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0104　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（現場）	70.700	t			
仮設材取卸し費（基地）	70.700	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=3　現場積込み,基地取卸し			D=70.7　運搬質量(t)		